

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、消火ポンプによりNo. 2淡水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。 使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要なNo. 2淡水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(i)b.(c)と同様。</p>	<p>ii. 操作手順 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水については、「1.4.2.1(1)a.(d)代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。手順の対応フローを第1.4-5図及び第1.4-6図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水開始まで15分以内で可能である。</p> <p>(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に非常用炉心冷却系、低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）及び代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位が維持できない場合において、ろ過水ポンプが使用可能な場合*。 ※：設備に異常がなく、電源及び水源（ろ過水タンク）が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水については、「1.4.2.1(1)a.(e)ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。手順の対応フローを第1.4-5図及び第1.4-6図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水開始まで20分以内で可能である。</p>	<p>(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水 発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、消火ポンプによりろ過水タンク水を原子炉容器へ注水する。 使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要なろ過水タンクの水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1)b.(c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから消火ポンプによる原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬式代替低圧注水ポンプにより海水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 恒設代替低圧注水ポンプの故障等により原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1) b. (d) と同様。</p>	<p>【比較のため、比較表 p1.4-148 より再掲】</p> <p>(b) 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に非常用炉心冷却系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を維持できない場合において、低圧代替注水系（可搬型）が使用可能な場合※。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源、燃料及び水源（淡水貯水槽（No.1）又は淡水貯水槽（No.2））が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水については、「1.4.2.1(1) a. (c) 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。手順の対応フローを第1.4-5図及び第1.4-6図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、作業開始を判断してから低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水開始までの必要な要員数及び所要時間は以下のとおり。</p> <p>【原子炉・格納容器下部注水接続口（北）又は原子炉・格納容器下部注水接続口（東）を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転員（中央制御室）1名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。 <p>【原子炉・格納容器下部注水接続口（建屋内）を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。 <p>【格納容器スプレィ接続口（建屋内）を使用する場合（故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響がある場合）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び重大事故等対応要員10名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。 <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。大容量送水ポンプ（タイプI）からのホースの接続は、汎用の結合金具であり、</p>	<p>(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 代替格納容器スプレィポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで200分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（大飯理由⑩）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料 1.4.3）</p>	<p>(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで145分以内で可能である。</p> <p>(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. 再循環運転</p> <p>(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</p> <p>運転停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転により原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>格納容器圧力及び温度が上昇した場合は、格納容器スプレイポンプを用いた格納容器スプレイ又は格納容器再循環ユニットによる格納容器自然対流冷却による格納容器冷却に期待する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.14図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉への注水準備と系統構成を指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室で高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の系統構成を実施する。</p> <p>③ 当直課長は、運転員等に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉の冷却が可能となれば、開始を</p>		<p>認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで200分以内で可能である。</p> <p>c. 再循環運転</p> <p>(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、高圧注入ポンプにより格納容器再循環サンプ水を原子炉容器へ注水し、あわせてC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内の冷却を行う。また、格納容器内自然対流冷却を使用できない場合は、格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ再循環運転を行い原子炉格納容器内の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.16図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき運転員に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉容器への注水準備と系統構成を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）△は、中央制御室で高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の系統構成を実施し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、運転員に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による発電用原子炉の冷却が可能とな</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>・いずれの記載も高圧注入ポンプによる再循環運転時において、原子炉格納容器内の冷却を格納容器スプレイポンプによる再循環運転又は格納容器内自然対流冷却にて実施することに相違なし。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>指示する。</p> <p>④ 運転員等は、中央制御室で高圧注入ポンプを起動し、原子炉へ注水されていることを高圧注入流量で確認する。</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度等の指示により、原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>iii. 操作の成立性 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転は、中央制御室で可能である。</p> <p>d. 代替再循環運転 (a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 運転停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)d.(a)と同様。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p>		<p>れば、開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で高圧注入ポンプを起動し、原子炉容器へ注水されていることを高圧注入流量等で確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等の指示値により、発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>d. 代替再循環運転 (a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 発電用原子炉停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に高圧注入ポンプの故障等により、原子炉容器への注水を高圧注入流量等にて確認できない場合に、代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転については、1.4.2.1(1)d.(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからB-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水開始まで15分以内で可能である。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水） (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプにより復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室での遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である電動主給水ポンプにより蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水が補助給水流量等で確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり、蒸気発生器へ注水するために必要な脱気器タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室での遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p>	<p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.31図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である電動主給水ポンプにより蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり、蒸気発生器へ注水するために必要な脱気器タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.32図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.31図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である電動主給水ポンプにより蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり、蒸気発生器へ注水するために必要な脱気器タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.32図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 【大飯】記載方針の相違 ・大飯3/4号炉も第1.4.35図に当該手段の概略系統を整理している。 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 【大飯】記載方針の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）により復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。 なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動主給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を蒸気発生器水張り流量等で確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p>		<p>(c) SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水 発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、補助給水ピット水を SG 直接給水用高圧ポンプにより蒸気発生器へ注水する。 なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動主給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を主給水ライン流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで60分以内で可能である。</p> <p>(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する。 なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は準備に時間を要することから、補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水ができない場合に準備を開始する。（川内1/2号炉及び玄海3/4号炉と同様。）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b. 「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>		<p>ii. 操作手順</p> <p>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで230分以内で可能である。</p> <p>(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで180分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、中央制御室にて主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認できた場合。</p>		<p>(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から蒸気発生器へ注水する。 なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで205分以内で可能である。</p> <p>f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出 発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、中央制御室にて主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認できた場合。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ii. 操作手順 主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>(b) タービンバイパス弁による蒸気放出 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるタービンバイパス弁を中央制御室にて開操作し、蒸気発生器から蒸気放出を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 主蒸気逃がし弁による蒸気放出が主蒸気圧力等にて確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり復水器真空度が維持されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 タービンバイパス弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード 主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。 蒸気発生器2次側フィードアンドブリードは、ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、蒸気発生器ブローダウンタンクに排出させ、適時放射性物質濃度等を確認し排出する。 なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>		<p>ii. 操作手順 主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.33図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(b) タービンバイパス弁による蒸気放出 発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるタービンバイパス弁を中央制御室にて開操作し、蒸気発生器から蒸気放出を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 主蒸気逃がし弁による蒸気放出が主蒸気ライン圧力等にて確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり復水器の真空が維持されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 タービンバイパス弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.34図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却 主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。 なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 ・大飯3/4号炉も第1.4.35図に当該手段の概略系統を整理している。 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【大飯】設備の相違（相違理由⑧）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(a) 手順着手の判断基準 運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順 操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」にて整備する。 空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代</p>		<p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>ii. 操作手順 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード開始まで45分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・泊は1.4.2.5にて同等の内容を整理。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>替低圧注水ポンプ用)、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>i. 優先順位</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に崩壊熱除去機能が喪失した場合は、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。</p> <p>格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却として、蒸気発生器への注水は、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプを用い、これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプ又は復水ピットを水源とした蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水を行う。蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)は使用準備に時間を要することから電動主給水ポンプを優先して使用する。</p> <p>蒸気放出については、主蒸気逃がし弁を用い、主蒸気逃がし弁が使用できない場合は、タービンバイパス弁を使用する。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p>	<p>b. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。</p> <p>外部電源、代替交流電源設備等により交流電源が確保できた場合、復水貯蔵タンクが使用可能であれば低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)により原子炉圧力容器へ注水する。</p> <p>復水貯蔵タンクが使用できない場合、代替循環冷却系、ろ過水ポンプ又は低圧代替注水系(可搬型)により原子炉圧力容器へ注水する。</p> <p>なお、低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水を実施する際の注入配管の選択は、注水流量が多いものを優先して使用する。優先順位は以下のとおり。</p> <p>優先①：残留熱除去系(A) 注入配管 優先②：残留熱除去系(B) 注入配管</p>	<p>h. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4.40図に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に崩壊熱除去機能が喪失した場合は、原子炉格納容器からの作業員の退避指示を行い、原子炉格納容器の隔離を行う。</p> <p>原子炉格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を優先する。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却として、蒸気放出は主蒸気逃がし弁を用い、主蒸気逃がし弁が使用できない場合は、タービンバイパス弁を使用する。蒸気発生器への注水には、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプを用い、これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、操作の容易性から脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水を行う。電動主給水ポンプが使用できない場合は補助給水ピットを水源としたSG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中絶が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映) 【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④) ・泊3号炉は、補助給水ポンプの代替手段のうち、常設設備は電動主給水ポンプとSG直接給水用高圧ポンプがあり、中央制御室からの操作で注水可能な電動主給水ポンプを優先する。</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④) ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能なため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(記載の明確化)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による冷却を行う。まず、中央制御室で操作可能であり早期に運転が可能となる充てんポンプ、その次に準備時間の短い高圧注入ポンプによる原子炉への注水を行う。充てんポンプ及び高圧注入ポンプが使用できない場合は、燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水を行う。燃料取替用水ピットからの重力注水ができない場合は、蓄圧タンクによる炉心注水を行う。</p> <p>上記により原子炉への注水ができない場合は、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水を行い、それができない場合は、恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。</p> <p>なお、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）と恒設代替低圧注水ポンプの優先順位は、準備時間が短いA格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）を優先する。これらの手段が使用できない場合は、消火ポンプにより代替炉心注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。</p> <p>消火ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、海水を水源とした可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。</p> <p>可搬式代替低圧注水ポンプは重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、恒設代替低圧注水ポンプによる原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ代替炉心注水を行う。</p>		<p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却ができない場合は、原子炉容器への注水による冷却を行う。まず、充てんポンプによる原子炉容器への注水を行う。充てんポンプが使用できない場合は、高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水を行う。高圧注入ポンプが使用できない場合は、中央制御室のみで実施可能である燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水を行うとともに、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を行う。それができない場合は、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を行う。</p> <p>なお、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水と代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水の優先順位は、準備時間が短いB-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を優先する。これらの手段が使用できない場合は、消火ポンプにより原子炉容器への注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。</p> <p>消火ポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、淡水又は海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ代替炉心注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水タンクを使用する。原水タンクへの補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違 ・泊3号炉も充てんポンプによる炉心注水は中央制御室から操作可能。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦） 【大飯】運用の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転により原子炉を冷却する。</p> <p>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転だけでも十分な冷却効果はあるが、余熱除去ポンプによる冷却効果を補うため、あわせてA格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉を冷却する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.41 図に示す。</p>	<p>c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</p> <p>(a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による崩壊熱除去機能が喪失した場合、非常用交流電源設備又は常設代替交流電源設備が使用可能であれば原子炉冷却材浄化系ポンプを起動して発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱ができない場合において、原子炉冷却材浄化系が使用可能な場合*。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源及び補機冷却水が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり。概要図を第 1.4-35 図に、タイムチャートを第 1.4-36 図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）A は、原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱に必要なポンプ、電動弁及び監視計器の電源、補機冷却水並びに電源容量が確保されていることを状態表示にて確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）A は、原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度の温度設定が 49℃であることを確認する。</p> <p>④運転員（中央制御室）A は、CUW 入口ライン元弁及び CUW ボトムドレンライン元弁が全開であることを確認する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）A は、系統構成として CUW 入口ライン第一隔離弁及び CUW 入口ライン第二隔離弁の全開操作並びに CUW ろ過脱塩装置バイパス弁の開操作を実施する。</p>	<p>炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、高圧注入ポンプを用いた高圧再循環運転により原子炉容器への注水操作を行う。高圧注入ポンプが使用できない場合は、B-格納容器スプレイポンプ及びB-格納容器スプレイ冷却器を用いた代替再循環運転により原子炉容器への注水操作を行う。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>⑥運転員（中央制御室）Aは、発電課長に原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱準備が完了したことを報告する。</p> <p>⑦発電課長は、運転員に原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、CUWポンプ（A）パーズライン止め弁の全開操作を実施する。</p> <p>⑨運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系ポンプ（A）を起動し、速やかにCUWろ過脱塩装置バイパス弁の調整開操作を実施し、原子炉冷却材浄化系入口流量指示値の上昇を確認する。</p> <p>⑩運転員（中央制御室）Aは、CUWポンプ（B）パーズライン止め弁の全開操作を実施する。</p> <p>⑪運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系ポンプ（B）を起動し、CUWろ過脱塩装置バイパス弁の調整開操作を実施する。</p> <p>⑫運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系ポンプ（A）及び原子炉冷却材浄化系ポンプ（B）の起動が完了したことを発電課長に報告する。</p> <p>⑬運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱が開始されたことを原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度指示値の上昇が緩和することにより確認し、発電課長に報告する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱開始まで35分以内で可能である。</p> <p>d. 重大事故等時の対応手段の選択 重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。 残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による崩壊熱除去機能が喪失した場合、非常用交流電源設備又は常設代替交流電源設備が使用可能であれば原子炉冷却材浄化系により発電用原子炉からの除熱を実施する。</p>		

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) サポート系機能喪失時の手順等</p> <p>a. 代替炉心注水 【比較のため、比較表p1.4-167より再掲】</p> <p>(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、恒設代替低圧注水ポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。 恒設代替低圧注水ポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、復水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</p>	<p>(2) サポート系故障時の対応手順 【比較のため、川内1/2号炉技術的能力1.4まとめ資料1.4.2.3(2)より引用】</p> <p>運転停止中のミッドループ運転期間中において、全交流動力電源喪失+原子炉補機冷却機能喪失事象が発生した場合の炉心注入手段については、常設電動注入ポンプによる炉心注入のほか、蓄圧タンクによる炉心注入（その後に続く常設電動注入ポンプによる炉心注入）が考えられるが、作業者の安全に配慮する必要があることから、蓄圧タンクの炉心注入は実施しない。</p> <p>(添付資料 1.4.20)</p>	<p>(2) サポート系故障時の対応手順</p> <p>a. 代替炉心注水</p> <p>(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水（その後に続く代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水）が考えられるが、作業者の安全に配慮する必要があることから、蓄圧タンクによる原子炉容器への注水は実施しない。</p> <p>(添付資料 1.4.22)</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水開始まで35分以内で可能である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦） ・代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水の次に燃料取替用水ピットの重力注水を実施し、これに並行して、B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水準備も開始する。</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</p> <p>運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水ピットからの重力注水により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットの重力注水は燃料取替用水ピットの水頭圧を利用するため、燃料取替用水ピットの水位が低下した場合には、重力注水を停止する。</p> <p>(添付資料 1.4.19)</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、燃料取替用水ピットの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>燃料取替用水ピットからの重力注水の原子炉への注水手順の概要は以下のとおり。概略系統を第 1.4.40 図に、タイムチャートを第 1.4.42 図に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉への注水の準備を指示する。 ② 運転員等は、中央制御室で燃料取替用水ピットからの重力注水に必要な系統構成と他の系統と連絡する弁の閉を確認する。 ③ 当直課長は、運転員等に原子炉への注水が可能となれば、原子炉への注水開始を指示する。 ④ 運転員等は、現場で余熱除去ポンプRWSピット及び再循環サンプ側入口弁を手動で開操作し、燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉への注水を開始する。注水開始後、中央制御室で燃料取替用水ピット水位、1次冷却系統水位^{*1}及び加圧器水位により、原子炉への注水が確保されたことを確認する。 ⑤ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度により、原子炉が継続して冷却状態であることを確認する。 <p>※10：全交流動力電源が喪失した場合は、常用系の蓄電池により約30分の監視が可能。また、空冷式非常用発電装置により電源喪失から30分後には電源が回復するため、30分以降も継続監視が可能である。</p>		<p>(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水ピットからの重力注水により燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットの重力注水は燃料取替用水ピットの水頭圧を利用するため、燃料取替用水ピットの水位が低下した場合は、重力注水を停止する。</p> <p>(添付資料 1.4.21)</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中のミッドループ運転中において、代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合に、燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水については、1.4.2.3(1)b.(a)「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】運用の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯3/4号炉は、空冷式非常用発電装置からの給電前に実施する手順であり、電動弁の現場手動操作により注水を実施する。 ・泊3号炉は、常設代替交流電源設備からの給電後に実施する手順であり、電動弁を中央制御室にて操作することから、フロントライン系機能喪失時の手順と同様。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約25分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。</p> <p>(添付資料 1.4.20)</p> <p>(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備である余熱除去ポンプの機能喪失により崩壊熱除去機能が喪失した場合、蓄圧タンクにより原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>蓄圧タンクによる代替炉心注水についてはタンク内圧力を利用するため蓄圧タンク水位が低下して圧力が下がった場合には、原子炉への注水を停止する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>燃料取替用水ビットの重力注水により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な蓄圧タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.3(1)a.(c)と同様。</p> <p>(添付資料 1.4.21)</p> <p>(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、恒設代替低圧注水ポンプにより燃料取替用水ビット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>恒設代替低圧注水ポンプの水源として燃料取替用水ビットが使用できない場合は、復水ビットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</p>		<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違 ・泊との比較は下段の「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて実施する。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水 運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時、恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(2)a.(b)と同様。</p> <p>(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B充てんポンプ（自己冷却）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>B充てんポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、復水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源が喪失時、恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時は、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）の機能喪失により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(2)a.(c)と同様。</p>		<p>(c) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B-充てんポンプ（自己冷却）により燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(2)a.(b)「B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑬）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(f) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失時、B充てんポンプ（自己冷却）の故障等により原子炉への注水を充てん水流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)a.(d)と同様。</p> <p>(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるディーゼル消火ポンプによりNo.2淡水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>また、運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合、常用設備である電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによりNo.2淡水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p>		<p>作業開始を判断してからB-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p> <p>(d) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）により燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にB-充てんポンプの故障等により原子炉容器への注水を充てん流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(2)a.(c)「B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからB-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水開始まで50分以内で可能である。</p> <p>(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるディーゼル駆動消火ポンプによりろ過水タンク水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>また、発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合、常用設備である電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによりろ過水タンク水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-C S S連絡ライン使用）の故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要なNo. 2淡水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.1(i) b. (c)と同様。</p> <p>(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬式代替低圧注水ポンプにより海水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-C S S連絡ライン使用）の故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.1(i) b. (d)と同様。</p>		<p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B格納容器スプレイポンプの故障等により原子炉容器への注水をB格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な過水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.1(i) b. (c)の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから消火ポンプによる原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p> <p>(f) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水をB格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水について、1.4.2.1(i) b. (d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで200分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(g) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B一格納容器スプレィポンプの故障等により、原子炉容器への注水をB一格納容器スプレィ流量等にて確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで145分以内で可能である。</p> <p>(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B一格納容器スプレィポンプの故障等により、原子炉容器への注水をB一格納容器スプレィ流量等にて確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 代替再循環運転</p> <p>(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</p> <p>i. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B 高压注入ポンプ（海水冷却）を用いた高压代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合に、大容量ポンプにより代替補機冷却による冷却水が確保され、高压代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</p>		<p>への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで200分以内で可能である。</p> <p>b. 代替再循環運転</p> <p>(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</p> <p>i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転により原子炉容器への注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内を冷却する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合に、可搬型大型送水ポンプ車により代替補機冷却による冷却水が確保され、高压代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転については、1.4.2.1(2)b.(a)i.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>(iii) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</p> <p>i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失を原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認した場合に、空調用冷水系が運転中で、低圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(b)i.と同様。</p> <p>ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時の対応であるA余熱除去ポンプ（空調用冷水）低圧代替再循環運転による炉心への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、大容量ポンプにより代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</p>		<p>(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</p> <p>i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA－高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中において、原子炉補機冷却機能が喪失し余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA－高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転により原子炉容器への注水を行い、あわせて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D－格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内を冷却する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に原子炉補機冷却機能喪失を原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認した場合に、可搬型大型送水ポンプ車による代替補機冷却により冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA－高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転については、1.4.2.1(2)b.(a)i.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA－高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</p> <p>(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</p>		<p>(iii) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</p> <p>(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、SG直接給水用高圧ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）により蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>	<p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水されていることを補助給水流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで60分以内で可能である。</p> <p>(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで230分以内で可能である。</p> <p>(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから蒸気発生器へ注水する。 なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで180分以内で可能である。</p> <p>(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から蒸気発生器へ注水する。 なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 操作手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</p>		<p>内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで205分以内で可能である。</p> <p>d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出については、「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1) b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</p> <p>運転停止中において、主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、蒸気発生器ブローダウンタンクに排出させ、適時放射性物質濃度等を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p>		<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器からの蒸気放出開始まで20分以内で可能である。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</p> <p>発電用原子炉停止中において、主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p> <p>(c) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード開始まで45分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由㊦）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表 p1.4-192 より再掲】</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。</p>	<p>a. 復旧</p> <p>(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱</p> <p>全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の故障により、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱ができない場合は、常設代替交流電源設備により残留熱除去系の電源を復旧し、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）又は原子炉補機代替冷却水系により冷却水を確保することで、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）にて発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順等は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>また、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系に関する手順については「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>常設代替交流電源設備により非常用高圧母線 2C 系及び 2D 系の受電が完了し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が使用可能な状態[※]に復旧された場合。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源及び補機冷却水が確保されており、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の状態。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）電源復旧後の発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第 1.4-37 図に、タイムチャートを第 1.4-38 図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）A は、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）の起動に必要なポンプ、電動弁及び監視計器の電源並びに補機冷却水が確保されていること、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを状態表示にて確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）A は、系統構成として、RHR ポン</p>	<p>f. 復旧</p> <p>(a) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水</p> <p>全交流動力電源喪失により、B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備により B-充てんポンプの電源を復旧することで、B-充てんポンプにて原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、B-充てんポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水については、「1.4.2.1(2) a. (b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】記載表現の相違</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>ブ (A) S/C 吸込弁, RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ (A) 吐出弁の全開操作並びに RHRA 系停止時冷却吸込第一隔離弁, RHRA 系停止時冷却吸込第二隔離弁, RHR ポンプ (A) 停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員 (中央制御室) A は, RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し, 残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) 運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は, 運転員に残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員 (中央制御室) A は, 残留熱除去系ポンプ (A) の起動操作を実施し, 残留熱除去系ポンプ (A) の出口圧力が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後, RHR A 系停止時冷却注入隔離弁を開操作し, 発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員 (中央制御室) A は, 発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し, 発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員 (中央制御室) A は, RHR 熱交換器 (A) 出口弁を調整し, 発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は, 運転員 (中央制御室) 1 名にて作業を実施した場合, 作業開始を判断してから残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱開始まで 30 分以内で可能である。</p>	<p>iii. 操作の成立性 上記の操作は, 運転員 (中央制御室) 1 名, 運転員 (現場) 1 名及び災害対策要員 1 名にて作業を実施した場合, 作業開始を判断してから B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水開始まで 40 分以内で可能である。</p> <p>(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 全交流動力電源喪失により, A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転による原子炉容器への注水ができない場合は, 常設代替交流電源設備により A-高圧注入ポンプの電源を復旧することで, 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転にて原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお, 常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>i. 手順着手の判断基準 常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、A-高圧注入ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転については、「1.4.2.1(2) b. (a) i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 全交流動力電源喪失により、電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備により電動補助給水ポンプの電源を復旧することで、電動補助給水ポンプにて補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、電動補助給水ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>g. 優先順位</p> <p>運転停止中にサポート系の機能喪失により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、空冷式非常用発電装置からの受電準備を行うとともに、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p>	<p>b. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。</p> <p>常設代替交流電源設備により交流電源が確保できた場合、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転が可能であれば残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施する。原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転ができない場合、原子炉補機代替冷却水系を設置し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施するが、原子炉補機代替冷却水系の設置に時間を要することから、低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）等による原子炉圧力容器への注水を並行して実施する。</p>	<p>g. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4.40図に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中にサポート系の故障により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、常設代替交流電源設備からの受電準備を行うとともに、原子炉格納容器からの作業員の退避指示を行い、原子炉格納容器の隔離を行う。原子炉格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を優先する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・泊は1.4.2.5にて同等の内容を整理。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。空冷式非常用発電装置からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による原子炉の冷却を行う。まず、燃料取替用水ピットの重力注水による代替炉心注水を行う。燃料取替用水ピット（重力注水）は多様性拡張設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。</p> <p>空冷式非常用発電装置から受電後は、蓄圧タンクによる代替炉心注水に加え、継続的に炉心に注水するために恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、高揚程であるB充てんポンプ（自己冷却）を使用する。B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水ができない場合は、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水を行う。</p>	<p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。常設代替交流電源設備からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、SG直接給水用高圧ポンプを使用する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、タービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却ができない場合は、原子炉容器への注水による発電用原子炉の冷却を行う。まず、重大事故等対処設備である代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を優先する。代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、燃料取替用水ピットの重力注水による原子炉容器への注水を行うとともに、高揚程であるB-充てんポンプを使用する。B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を行う。</p>	<p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。常設代替交流電源設備からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、SG直接給水用高圧ポンプを使用する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、タービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却ができない場合は、原子炉容器への注水による発電用原子炉の冷却を行う。まず、重大事故等対処設備である代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を優先する。代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、燃料取替用水ピットの重力注水による原子炉容器への注水を行うとともに、高揚程であるB-充てんポンプを使用する。B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を行う。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合は、消火ポンプによる代替炉心注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、海水を水源とした可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。可搬式代替低圧注水ポンプは重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、多様性拡張設備を含む他の注水手段がなければ原子炉への注水を行う。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて空調用冷水を使用したA余熱除去ポンプ及び電動消火ポンプによる原子炉への注水手段がある。A余熱除去ポンプ（空調用冷水）は恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合に使用する。電動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためA格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合に使用する。</p> <p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、大容量ポンプによる補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p>		<p>B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合は、消火ポンプによる原子炉容器への注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、淡水又は海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水を行う。可搬型大型送水ポンプ車は重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ原子炉容器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水手段がある。電動機駆動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためB格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合に使用する。</p> <p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、可搬型大型送水ポンプ車による補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転により原子炉容器へ注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車からの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより原子炉格納容器内を冷却する。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合は、代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、準備時間の短いA余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p> <p>A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転ができない場合は、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉へ注水を行う。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.43 図に示す。</p>			<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉へ注水して開放中の加圧器安全弁から格納容器内へ蒸散させることにより原子炉を冷却する。この場合は、格納容器内の雰囲気悪化から格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、運転停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は運転停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.22)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇により停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信した場合又は停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。 ② 運転員等は、中央制御室でエバケーションアラーム又はページング装置により格納容器内の作業員へ退避を指示する。 ③ 出入監視員は、現場で格納容器内入退域を管理する装置により、全作業員が退避していることを確認する。 ④ 各作業の作業責任者（又は代理人）は、現場で作業員の点呼を行い、全作業員が退避していることを確認す 		<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉容器へ注水して開放中の加圧器安全弁から原子炉格納容器内へ蒸散させることにより発電用原子炉を冷却する。この場合は、原子炉格納容器内の雰囲気悪化から原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、発電用原子炉停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は発電用原子炉停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.23)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇によりSR炉停止時中性子束高警報が発信した場合、又はSR炉停止時中性子束高警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に原子炉格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。 ② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で格納容器内退避警報又は所内通話設備により原子炉格納容器内の作業員へ退避を指示する。 ③ 格納容器出入管理員は、現場で原子炉格納容器入口付近のC/V入域退出管理簿を確認し、全作業員の退避を確認する。 	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉は社内規程類にて定めるC/V入域退出管理簿により入退域を管理。 ・大飯3/4号炉と入退域の管理が異なるが、作業員の退避を確認することに相違

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>る。</p> <p>⑤ 作業責任者（又は代理人）は、現場で出入監視員に点呼結果を連絡し、出入監視員は全作業員が退避していることを再確認する。</p> <p>⑥ 出入監視員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり出入監視員1名により作業を実施し、所要時間は約30分と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 （添付資料 1.4.22）</p>		<p>④ 格納容器出入管理員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>⑤ 運転員（現場）Bは、現場で格納容器エアロックが閉止されたことを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び格納容器出入管理員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから格納容器エアロックを閉止まで40分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。 （添付資料 1.4.23）</p>	<p>なし。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>1.4.2.3 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 残留熱除去系（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水 残留熱除去系（低圧注水モード）が健全な場合は、自動起動（原子炉水位低（レベル1）又はドライウエル圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（低圧注水モード）を起動し、サブプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順 残留熱除去系（A）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（低圧注水モード）又は残留熱除去系（C）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順も同様）。概要図を第1.4-39図に示す。</p>	<p>1.4.2.4 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水 高圧注入ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により高圧注入ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 高圧注入ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.3(1) a. (b)「高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水 余熱除去ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 余熱除去ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4-37図に示す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)により残留熱除去系ポンプ(A)が起動し、残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が残留熱除去系ポンプ(A)の出口圧力以下であることを確認後、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)及び注入隔離弁差圧低又はドライウエル圧力高及び注入隔離弁差圧低)によりRHR A系 LPCI 注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員(中央制御室)Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低(レベル3)から原子炉水位高(レベル8)の間で維持する。</p> <p>※ 原子炉圧力容器内の水位が維持され原子炉圧力容器への注水が不要となる間、原子炉格納容器内にスプレイする場合は、RHR A系 LPCI 注入隔離弁を全閉後、RHR A系格納容器スプレイ隔離弁、RHR A系格納容器スプレイ流量調整弁及びRHR A系 S/C スプレイ隔離弁を全開してスプレイを実施する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水 低圧炉心スプレイ系が健全な場合は、自動起動(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)による作動又は中央制御室からの手動操作により低圧炉心スプレイ系を起動し、サブプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p>	<p>① 発電課長(当直)は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水開始を指示する。</p> <p>② 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号により余熱除去ポンプが起動したことを確認し、発電課長(当直)に報告する。</p> <p>③ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で低圧注入流量等により原子炉容器への注水が実施できていることを確認するとともに1次冷却材温度等により発電用原子炉の冷却状態及び余熱除去ポンプの運転状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態が維持できない場合は、溢水させフィードアンドブリード運転とする。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 高圧注入ポンプが健全な場合は、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプル水を原子炉容器へ注水する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・重大事故等対処設備(設計基準拡張)による手順新規追加</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>a. 手順着手の判断基準 復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり。 概要図を第1.4-40図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）又はドライウェル圧力高）により低圧炉心スプレイ系ポンプが起動し、低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が低圧炉心スプレイ系ポンプの出口圧力以下であることを確認後、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）及び注入隔離弁差圧低又はドライウェル圧力高及び注入隔離弁差圧低）によりLPCS注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）から原子炉水位高（レベル8）の間で維持する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>a. 手順着手の判断基準 高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転については、1.4.2.1(1)c.(a)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が健全な場合は、中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）を起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の場合。</p>	<p>(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、余熱除去ポンプによる低圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプ水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>低圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる低圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.38図に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる低圧再循環運転開始を指示する。 ② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁の開操作及び余熱除去ポンプRWSP側入口弁の開操作を実施する。 ③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプにより原子炉容器へ注水されていることを低圧注入流量等で確認し、発電課長（当直）に報告する。 ④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により、発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。 <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>1次冷却材温度 177℃未満及び1次冷却材圧力 2.7MPa[gage]以下の場合。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第1.4-41図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHRポンプ（A）S/C吸込弁、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁の全開操作並びにRHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁及びRHRポンプ（A）停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR熱交換器（A）出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第1.4-41図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHRポンプ（A）S/C吸込弁、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁の全開操作並びにRHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁及びRHRポンプ（A）停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR熱交換器（A）出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4-39図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度177℃未満及び1次冷却材圧力2.7MPa[gage]以下であることを確認する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプRWSP側入口弁及び余熱除去ポンプRWSP/再循環サンブ側入口弁の全開操作並びに余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁及び余熱除去ライン入口止め弁の全開操作を実施し、余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>④ 発電課長（当直）は、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプの起動操作を実施し、1次冷却材温度等により発電用原子炉からの除熱が開始されたことを確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑥ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.2.4 復旧に係る手順等</p> <p>全交流動力電源が喪失した場合は、代替電源を設計基準対処設備に給電し、起動及び十分な期間の運転を継続させる。また、燃料取替用水ピットの枯渇、破損のおそれがある場合は、代替水源により水を供給する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。また、燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c、「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>			<p>【大阪】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の復旧に係る手順は、1.4.1.1、1.4.1.2及び1.4.1.3の復旧にて整理している。 ・代替電源に関する手順、常設代替交流電源設備への燃料補給手順及び燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順については、1.4.2.5で網羅している。 <p>【大阪】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は1.4.2.5「その他の手順項目について考慮する手順」で整理している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-99より再掲】</p> <p>e. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」及び1.13.2.2(5)「1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.4 その他の手順項目について考慮する手順 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系による補機冷却水確保手順は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。 復水貯蔵タンク、淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）への水の補給手順並びに水源から接続口までの大容量送水ポンプ（タイプI）による送水手順については、「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。</p> <p>復水移送ポンプ、直流駆動低圧注水系ポンプ、ろ過水ポンプ、残留熱除去系ポンプ、低圧炉心スプレイ系ポンプ、代替循環冷却ポンプ、原子炉冷却材浄化系ポンプ、電動弁及び監視計器への電源供給手順並びにガスタービン発電機、電源車及び大容量送水ポンプ（タイプI）への燃料補給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.5 その他の手順項目について考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順は、「1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「水源へ水を補給するための対応手順」及び1.13.2.3「水源を切り替えるための対応手順」にて整備する。</p> <p>補助給水ピットの枯渇又は破損時の対応手順等は、「1.13 重大事故時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.1「水源を利用した対応手順」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の原子炉格納容器下部への注水については、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」にて整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の冷却については、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「C、D—格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」及び1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D—格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映） 【大飯】記載方針の相違 ・大飯は個別手順のリンク先を記載しているが、泊は燃料取替用水ピットへの供給手順等の手順全般をリンクさせる記載としている。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違 ・参照先の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表 p.1.4-193 より再掲】</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>		<p>代替非常用発電機の代替電源に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「代替交流電源設備による給電」にて整備する。また、代替非常用発電機及び可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「燃料の補給の手順」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系故障時の対応手順」で対応する。また、発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系故障時の手順等」で対応する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は設備によって重油又は軽油を使用することから、補給する燃料を明確にしている。 ・泊は重大事故等時に使用する設備の燃料はすべて軽油のため識別不要であるが、燃料補給の手順を整備する技術的能力1.14にて燃料が軽油であることを記載している。 <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-113より再掲】</p> <p>d. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られる場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(2)b.(a)「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(2)a.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への給油に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯の 1.4.2.1(2)d で整理している手順項目は泊の1.4.2.5 で網羅している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表 p.1.4-140 より再掲】</p> <p>(3) その他の手順項目にて考慮する手順 空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(i)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>復水ピットが枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.1「蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表 p.1.4-160 より再掲】</p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(i)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(i)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・大飯の 1.4.2.2(3)で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・大飯の 1.4.2.3(i)h.で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-182より再掲】</p> <p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の 1.4.2.3(2)f.で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 対応手段、対処設備、手順書一覧 (1/9)
 (重大事故等対処設備 (設計基準拡張))

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系 (低圧水モード) による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系 (低圧水モード) による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※5 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水系を含む。) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」
			低圧炉心スプレイスポンプ サブプレッションチェンバ 低圧炉心スプレイス 配管・弁・ストレーナ・スパーヂャ 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水系を含む。) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイスポンプによる原子炉注水」
			残留熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁 原子炉再循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水系を含む。) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (微候ベース) 「減圧冷却」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：1.1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等；【解釈】(h) 項を満足するための代替淡水 (池原)
 ※5：残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 対応手段、対処設備、手順書一覧 (1/22)
 (重大事故等対処設備 (設計基準拡張))

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備の相違	整備する手順書	手順書の相違
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系 (低圧水モード) による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系 (低圧水モード) による発電用原子炉の冷却	高圧炉心ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器再循環ポンプ 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 1式冷却設備 原子炉再燃 非常用交流電源設備※1 非常用交流電源設備※1	一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張	事故の判別を行う設備 手順書※4	設備及び設計基準事故に 対応する運転手順書
			高圧炉心ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器再循環ポンプ 熱交換器再循環ポンプスクリーン 安全注入ポンプ再循環ヤングマンロッド付外側筒 熱交換器再循環ポンプスクリーン 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁 非常用取水設備 1式冷却設備 原子炉再燃 非常用交流電源設備※1	一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張	事故の判別を行う設備 手順書	設備及び設計基準事故に 対応する運転手順書
			高圧炉心ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器再循環ポンプ 熱交換器再循環ポンプスクリーン 安全注入ポンプ再循環ヤングマンロッド付外側筒 熱交換器再循環ポンプスクリーン 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁 非常用取水設備 1式冷却設備 原子炉再燃 非常用交流電源設備※1	一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張	事故の判別を行う設備 手順書	設備及び設計基準事故に 対応する運転手順書
			高圧炉心ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器再循環ポンプ 熱交換器再循環ポンプスクリーン 安全注入ポンプ再循環ヤングマンロッド付外側筒 熱交換器再循環ポンプスクリーン 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁 非常用取水設備 1式冷却設備 原子炉再燃 非常用交流電源設備※1	一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張	事故の判別を行う設備 手順書	設備及び設計基準事故に 対応する運転手順書
			高圧炉心ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器再循環ポンプ 熱交換器再循環ポンプスクリーン 安全注入ポンプ再循環ヤングマンロッド付外側筒 熱交換器再循環ポンプスクリーン 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁 非常用取水設備 1式冷却設備 原子炉再燃 非常用交流電源設備※1	一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張 一設計基準拡張	事故の判別を行う設備 手順書	設備及び設計基準事故に 対応する運転手順書

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：重大事故等対策において用いる設備の分類
 ※3：当該表文に適合する重大事故等対処設備 ※4：訂正に適合する重大事故等対処設備 ※5：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

泊3号炉との比較対象なし

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の
 反映)
 ・泊は設計基準事
 故対処設備による
 対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉	相違理由		
<p>第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるフロントライン系機能喪失時)</p>							
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書			
1次冷却材喪失時	フロントライン系機能喪失時	代償注水(心)	<p>燃料取扱用ホット 復水ピット ほう酸タンク 1次系補助ポンプ 1次系補給タンク</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p> <p>復水ピット出口配管接続の手順</p>	<p>心臓の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p> <p>COA所定*</p>		
			<p>A格納容器スプレイポンプ* RFRS-CSS減圧ライン使用 可搬式代替注水ポンプ 空冷式非常用発電設備* 燃料取扱用ホット 復水ピット 燃料貯蔵タンク* 直動タンク* タンクローリー* 電動ポンプ ブイセル冷却ポンプ Na₂S₂O₃2次系タンク 可搬式代替注水ポンプ*</p>	<p>A格納容器スプレイポンプを用いた代償注水により原子炉を冷却する手順</p> <p>可搬式代替注水ポンプを用いた代償注水により原子炉を冷却する手順</p> <p>復水ピット出口配管接続の手順</p> <p>空冷式非常用発電設備の運転</p> <p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p> <p>代償注水(心)</p>	<p>A格納容器スプレイポンプを用いた代償注水により原子炉を冷却する手順</p> <p>可搬式代替注水ポンプを用いた代償注水により原子炉を冷却する手順</p> <p>復水ピット出口配管接続の手順</p> <p>空冷式非常用発電設備の運転</p> <p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p> <p>代償注水(心)</p>
			<p>格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環タンク</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>
			<p>格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環タンク</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>
			<p>格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環タンク</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>
			<p>格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環タンク</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>
			<p>格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環タンク</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>
			<p>格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環タンク</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>
			<p>格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環タンク</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>
			<p>格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環タンク</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>
<p>格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環タンク</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</p>	<p>重大事象等対応設備</p>			

対応手段、対応設備、手順書一覧(2/9)
 (発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書
フロントライン系故障	代償注水(心)	代償注水(心)	<p>復水移送ポンプ 復水貯蔵タンク ※1 補助水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 高圧心スプレイ系 配管・弁 燃料プール補給水系 ※ 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 所内非常用直電式直圧電源設備 ※2 代替内電設備 ※2 非常用交流電源設備 ※2</p>	<p>非常時操作手順書(微減ベース) 「水位確保」等</p> <p>非常時操作手順書(設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」</p>
			<p>直流駆動低圧注水系ポンプ 復水貯蔵タンク ※1 補助水系 配管 直流駆動低圧注水系 配管・弁 高圧心スプレイ系 配管・弁・スパージャ 燃料プール補給水系 ※ 原子炉圧力容器 常設代替直電電源設備 ※2 所内非常用直電式直圧電源設備 ※2 常設代替交流電源設備 ※2 可搬式代替交流電源設備 ※2</p>	<p>非常時操作手順書(微減ベース) 「水位確保」等</p> <p>非常時操作手順書(設備別) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」</p>

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電線の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】40) 相を満足するための代替冷却水(冷却)
 ※5：残留熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機能に備わっており、熱交換器は流路としてのみ用いる。

対応手段、対応設備、手順書一覧(2/22)

(1次冷却材喪失事象が発生している場合のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書
フロントライン系故障	代償注水(心)	代償注水(心)	<p>定電圧ポンプ 燃料取扱用ホット 高圧注入ポンプ 又は 燃料取扱用ホット ※1</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</p>
			<p>高圧注入ポンプ 又は 燃料取扱用ホット ※1</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</p>
			<p>高圧注入ポンプ 又は 燃料取扱用ホット ※1</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</p>
			<p>高圧注入ポンプ 又は 燃料取扱用ホット ※1</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</p>
			<p>高圧注入ポンプ 又は 燃料取扱用ホット ※1</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</p>
			<p>高圧注入ポンプ 又は 燃料取扱用ホット ※1</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</p>
			<p>高圧注入ポンプ 又は 燃料取扱用ホット ※1</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</p>
			<p>高圧注入ポンプ 又は 燃料取扱用ホット ※1</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</p>
			<p>高圧注入ポンプ 又は 燃料取扱用ホット ※1</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</p>
			<p>高圧注入ポンプ 又は 燃料取扱用ホット ※1</p>	<p>冷却水の着しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</p>

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電線の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】40) 相を満足するための代替冷却水(冷却)
 ※5：残留熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機能に備わっており、熱交換器は流路としてのみ用いる。

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.1表を再掲】

第1.4.1表 機建喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生しているフロントライン系機建喪失時)

分類	機建喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材喪失事故が発生している場合	心注水(⑤) 燃料取扱用水ビット	代管心注水(⑤)	A. 補充ポンプ ^{※1} 燃料取扱用水ビット 復水ビット ほう殿ポンプ ^{※2} ほう殿タンク ^{※3} 1次系補給水ポンプ ^{※4} 1次系純水タンク	補充ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 復水ビット出口配管接続の手順 G A所達 ^{※5}	機建喪失時 機建喪失時	
			A. 格納容器スプレイポンプ ^{※6} (HRS-CSS連絡ライン使用) 恒常代替復元注水ポンプ 空冷式非常用発電機 ^{※7} 燃料取扱用水ビット 復水ビット 燃料供給配管タンク ^{※8} 重湯タンク ^{※9} タンクローリー ^{※10}	A. 格納容器スプレイポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 恒常代替復元注水ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 燃料取扱用水ビット 復水ビット出口配管接続の手順 空冷式非常用発電機 燃料供給の手順 S A所達 ^{※5}	機建喪失時 機建喪失時	
			電動機弁ポンプ ディーゼル動火ポンプ No. 2 送水タンク ^{※11} 可動式代替復元注水ポンプ ^{※12} 可動式代替復元注水ポンプ ^{※13} 恒常代替復元注水ポンプ ^{※14} 送水車 燃料供給配管タンク ^{※8} 重湯タンク ^{※9} タンクローリー ^{※10} 軽油タンク ^{※15}	補充ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 可動式代替復元注水ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 可動式代替復元注水ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 恒常代替復元注水ポンプによる代管心注水の手順 S A所達 ^{※5}	機建喪失時 機建喪失時 機建喪失時 機建喪失時	
			高圧注入ポンプ ^{※16} 格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環ポンプスタローン	高圧注入ポンプを用いた再循環運転により原子炉を冷却する手順 機建喪失時	機建喪失時	
			代管心注水(⑤) 燃料取扱用水ビット	A. 格納容器スプレイポンプ ^{※6} (HRS-CSS連絡ライン使用) A. 格納容器スプレイポンプ A. 格納容器スプレイポンプ 再循環ポンプ ^{※17} 格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環ポンプスタローン	A. 格納容器スプレイポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 機建喪失時	機建喪失時 機建喪失時
			代管心注水(⑤) 燃料取扱用水ビット	高圧注入ポンプ ^{※16} 格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環ポンプスタローン	高圧注入ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 機建喪失時	機建喪失時
			代管心注水(⑤) 燃料取扱用水ビット	高圧注入ポンプ ^{※16} 格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環ポンプスタローン	高圧注入ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 機建喪失時	機建喪失時
			代管心注水(⑤) 燃料取扱用水ビット	高圧注入ポンプ ^{※16} 格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環ポンプスタローン	高圧注入ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 機建喪失時	機建喪失時
			代管心注水(⑤) 燃料取扱用水ビット	高圧注入ポンプ ^{※16} 格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環ポンプスタローン	高圧注入ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 機建喪失時	機建喪失時
			代管心注水(⑤) 燃料取扱用水ビット	高圧注入ポンプ ^{※16} 格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環ポンプスタローン	高圧注入ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 機建喪失時	機建喪失時

※1：1次系格納容器 重大事故等発生時に原子炉格納容器の冷却のために活動に関する手順。
 ※2：手順は「1.13 重大事故等の発生に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可動式代替復元注水ポンプにより代管心注水する場合は復水を注水する。
 ※5：空冷式非常用発電機燃料供給に使用する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※6：電機弁「可動式代替復元注水ポンプ」の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※7：送水車の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※8：ディーゼル発電機により前送する。
 ※9：A. 自給式非常用発電機ユニットや非常用発電機を駆動する。手順は「1.7 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※10：重大事故等発生時に用いている設備の分類
 ※11：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b: 37 条に適合する重大事故等対応設備 c: 自主対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧(4/22)

(1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時)

分類	機建喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時	心注水(⑤) 燃料取扱用水ビット	代管心注水(⑤)	補充ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 復水ビット出口配管接続の手順 G A所達 ^{※5}	機建喪失時 機建喪失時	機建喪失時
			A. 格納容器スプレイポンプ ^{※6} (HRS-CSS連絡ライン使用) 恒常代替復元注水ポンプ 空冷式非常用発電機 ^{※7} 燃料取扱用水ビット 復水ビット 燃料供給配管タンク ^{※8} 重湯タンク ^{※9} タンクローリー ^{※10}	A. 格納容器スプレイポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 恒常代替復元注水ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 燃料取扱用水ビット 復水ビット出口配管接続の手順 空冷式非常用発電機 燃料供給の手順 S A所達 ^{※5}	機建喪失時 機建喪失時 機建喪失時 機建喪失時
1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時	心注水(⑤) 燃料取扱用水ビット	代管心注水(⑤)	高圧注入ポンプ ^{※16} 格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環ポンプスタローン	高圧注入ポンプを用いた再循環運転により原子炉を冷却する手順 機建喪失時	機建喪失時
			代管心注水(⑤) 燃料取扱用水ビット	A. 格納容器スプレイポンプ ^{※6} (HRS-CSS連絡ライン使用) A. 格納容器スプレイポンプ A. 格納容器スプレイポンプ 再循環ポンプ ^{※17} 格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環ポンプスタローン	A. 格納容器スプレイポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 機建喪失時
1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時	心注水(⑤) 燃料取扱用水ビット	代管心注水(⑤)	高圧注入ポンプ ^{※16} 格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環ポンプスタローン	高圧注入ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 機建喪失時	機建喪失時
			代管心注水(⑤) 燃料取扱用水ビット	高圧注入ポンプ ^{※16} 格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環ポンプスタローン	高圧注入ポンプを用いた代管心注水により原子炉を冷却する手順 機建喪失時

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：可動式代替復元注水ポンプにより代管心注水する場合は復水を注水する。
 ※3：送水車への燃料供給は、2次系純水タンク又は高圧純水タンクから前送することにより行う。
 ※4：C. D-格納容器再循環ポンプによる格納容器内自然冷却時には「1.7 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等発生時に用いている設備の分類
 ※6：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b: 37 条に適合する重大事故等対応設備 c: 自主対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4 号炉				女川原子力発電所 2 号炉				泊発電所 3 号炉				相違理由
<p>第 1.4.2 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転中の 1 次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (1/2)</p>												<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理</p>
<p>対応手段、対処設備、手順書一覧 (5/22) (1 次冷却材喪失事象が発生している場合のサポート系故障時)</p>												
<p>第 1.4.2 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転中の 1 次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (2/2)</p>												<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>
<p>対応手段、対処設備、手順書一覧 (4/9) (発電用原子炉運転中のサポート系故障時)</p>												

大阪 3 / 4 号炉との比較対象なし

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.2表(1/2)を再掲】

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備を整備する手順（運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるサポート系機能喪失時）（1/2）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事故が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代 替 性 注 水 機 能 喪 失 時	加圧式代替圧注水ポンプ	a,b	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式非常用発電機 ^{c)}	c	自來水ポンプ（自己冷却）	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			自來水ポンプ（自己冷却）	a,b	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順
			燃料取替用ヒート	a	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順
			復水ヒート	a	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順
			燃料油貯蔵タンク ^{d)}	a,b	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順
			重油タンク ^{e)}	a,b	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順
			タンクローリー ^{f)}	a,b	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順
			A格納容器スプレイポンプ（自己冷却） RKHサーボ3.8選別ファン使用	a	A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料取替用ヒート	a	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順
			ディーゼル消火ポンプ No. 2脱水タンク	a	ディーゼル消火ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式代替圧注水ポンプ ^{g)}	a	可搬式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			電機車 可搬式代替圧注水ポンプ用	a	可搬式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			脱酸柱式水槽 送水車	a	可搬式代替圧注水ポンプ	可搬式代替圧注水ポンプによる代替注水の準備
燃料油貯蔵タンク ^{d)}	a	可搬式代替圧注水ポンプ	可搬式代替圧注水ポンプによる代替注水の準備			
重油タンク ^{e)}	a	可搬式代替圧注水ポンプ	可搬式代替圧注水ポンプによる代替注水の準備			
タンクローリー ^{f)}	a	可搬式代替圧注水ポンプ	可搬式代替圧注水ポンプによる代替注水の準備			
軽油ドラム缶 ^{h)}	a	可搬式代替圧注水ポンプ	可搬式代替圧注水ポンプによる代替注水の準備			
大容量ポンプ ⁱ⁾	a	大容量ポンプ	大容量ポンプによる原子炉冷却材系系送水の準備			
格納容器内循環ポンプ	a,b	格納容器内循環ポンプ	格納容器内循環ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順			
格納容器内循環ポンプスクリーン	a,b	格納容器内循環ポンプスクリーン	格納容器内循環ポンプスクリーンを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順			
空冷式非常用発電機 ^{c)}	a,b	空冷式非常用発電機	空冷式非常用発電機による原子炉冷却材系系送水の準備			
燃料油貯蔵タンク ^{d)}	a,b	燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンクによる原子炉冷却材系系送水の準備			
重油タンク ^{e)}	a,b	重油タンク	重油タンクによる原子炉冷却材系系送水の準備			
タンクローリー ^{f)}	a,b	タンクローリー	タンクローリーによる原子炉冷却材系系送水の準備			

※1：大阪発電所 重大事故等発生時に原子炉冷却材の状態の監視に関する所定
 ※2：手順書「1.4 電炉の運転に関する手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順書「1.4 電炉の運転に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可搬式代替圧注水ポンプにより炉心を注水する場合は格納容器注水する。
 ※5：電機車（可搬式代替圧注水ポンプ用）の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 ※6：大容量の燃料供給に使用する設備のみのため。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 ※7：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 ※8：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※9：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該本文に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧（6/22）

（1次冷却材喪失事故が発生している場合のサポート系故障時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事故が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代 替 性 注 水 機 能 喪 失 時	可搬式代替圧注水ポンプ ^{※1}	a,b	可搬式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式非常用発電機 ^{c)}	c	自來水ポンプ（自己冷却）	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			自來水ポンプ（自己冷却）	a,b	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順
			燃料取替用ヒート	a	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順
			復水ヒート	a	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順
			燃料油貯蔵タンク ^{d)}	a,b	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順
重油タンク ^{e)}	a,b	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順			
タンクローリー ^{f)}	a,b	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順			
A格納容器スプレイポンプ（自己冷却） RKHサーボ3.8選別ファン使用	a	A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
燃料取替用ヒート	a	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順			
ディーゼル消火ポンプ No. 2脱水タンク	a	ディーゼル消火ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
可搬式代替圧注水ポンプ ^{g)}	a	可搬式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
電機車 可搬式代替圧注水ポンプ用	a	可搬式代替圧注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
脱酸柱式水槽 送水車	a	可搬式代替圧注水ポンプ	可搬式代替圧注水ポンプによる代替注水の準備			
燃料油貯蔵タンク ^{d)}	a	可搬式代替圧注水ポンプ	可搬式代替圧注水ポンプによる代替注水の準備			
重油タンク ^{e)}	a	可搬式代替圧注水ポンプ	可搬式代替圧注水ポンプによる代替注水の準備			
タンクローリー ^{f)}	a	可搬式代替圧注水ポンプ	可搬式代替圧注水ポンプによる代替注水の準備			
軽油ドラム缶 ^{h)}	a	可搬式代替圧注水ポンプ	可搬式代替圧注水ポンプによる代替注水の準備			
大容量ポンプ ⁱ⁾	a	大容量ポンプ	大容量ポンプによる原子炉冷却材系系送水の準備			
格納容器内循環ポンプ	a,b	格納容器内循環ポンプ	格納容器内循環ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順			
格納容器内循環ポンプスクリーン	a,b	格納容器内循環ポンプスクリーン	格納容器内循環ポンプスクリーンを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順			
空冷式非常用発電機 ^{c)}	a,b	空冷式非常用発電機	空冷式非常用発電機による原子炉冷却材系系送水の準備			
燃料油貯蔵タンク ^{d)}	a,b	燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンクによる原子炉冷却材系系送水の準備			
重油タンク ^{e)}	a,b	重油タンク	重油タンクによる原子炉冷却材系系送水の準備			
タンクローリー ^{f)}	a,b	タンクローリー	タンクローリーによる原子炉冷却材系系送水の準備			

※1：可搬式代替圧注水ポンプにより炉心を注水する場合は格納容器注水する。
 ※2：手順書「1.4 電炉の運転に関する手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順書「1.4 電炉の運転に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可搬式代替圧注水ポンプにより炉心を注水する場合は格納容器注水する。
 ※5：電機車（可搬式代替圧注水ポンプ用）の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 ※6：大容量の燃料供給に使用する設備のみのため。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 ※7：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 ※8：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※9：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該本文に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所 3 / 4号炉		女川原子力発電所 2号炉		泊発電所 3号炉		相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、第1.4.2表(1/2)を再掲】</p> <p style="text-align: center;">第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備を整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (1/2)</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	加圧代替用圧注水ポンプ	a,b	加圧代替用圧注水ポンプを用いた代替用注水により炉心の冷却を行う手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式非常用発電設備 ^{c)}	c	自給式ポンプ(自己冷却)による冷却を行う手順	運転手順書
			自給式ポンプ(自己冷却)	a,b	自給式ポンプを用いた代替用注水により炉心を冷却する手順	S A対応 ^{d)}
			燃料取扱用ホット	a	燃料取扱用ホットを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
			復水ドット	a	復水ドットを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
			燃料油貯蔵タンク ^{e)}	a,b	燃料油貯蔵タンクを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
			重油タンク ^{f)}	a,b	重油タンクを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
			タンクローリー ^{g)}	a,b	タンクローリーを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
			A格納容器スプレイポンプ(自己冷却) R4K1ローラーステッド(ライオン使用)	a	A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)を用いた代替用注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料取扱用ホット	a	燃料取扱用ホットを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
		ディーゼルボイラポンプ No. 2脱気タンク	a	ディーゼルボイラポンプを用いた代替用注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
		可搬式代替用圧注水ポンプ ^{h)}	a	可搬式代替用圧注水ポンプを用いた代替用注水により炉心を冷却する手順	S A対応 ^{d)}	
		電機車(可搬式代替用圧注水ポンプ用)	a	電機車(可搬式代替用圧注水ポンプ用)を用いた代替用注水により炉心を冷却する手順	S A対応 ^{d)}	
		脱酸柱立式水櫃	a	脱酸柱立式水櫃を用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}	
		送水車	a	送水車を用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}	
		燃料油貯蔵タンク ^{e)}	a	燃料油貯蔵タンクを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}	
		重油タンク ^{f)}	a	重油タンクを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}	
		タンクローリー ^{g)}	a	タンクローリーを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}	
		軽油ドラム缶 ^{h)}	a	軽油ドラム缶を用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}	
		代替 目注 表 (注)	a,b	大容量ポンプ(高水冷却)を用いた代替用注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
格納容器内循環ポンプ	a,b	格納容器内循環ポンプを用いた炉心の冷却を行う手順	運転手順書			
格納容器内循環ポンプスターリン	a,b	格納容器内循環ポンプスターリンを用いた炉心の冷却を行う手順	運転手順書			
空冷式非常用発電設備 ^{c)}	a,b	空冷式非常用発電設備を用いた炉心の冷却を行う手順	運転手順書			
燃料油貯蔵タンク ^{e)}	a,b	燃料油貯蔵タンクを用いた炉心の冷却を行う手順	運転手順書			
重油タンク ^{f)}	a,b	重油タンクを用いた炉心の冷却を行う手順	運転手順書			
タンクローリー ^{g)}	a,b	タンクローリーを用いた炉心の冷却を行う手順	運転手順書			

※1：大阪発電所 重大事象等発生時における原子炉冷却の確保のための活動に関する相違
 ※2：手順書「1.14 電炉の復旧に関する手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式非常用発電設備の燃料供給に関する手順は「1.14 電炉の復旧に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可搬式代替用圧注水ポンプにより炉心を冷却する場合は格納柱式水櫃を用いる。
 ※5：電機車(可搬式代替用圧注水ポンプ用)の燃料供給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※6：送水車の燃料供給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※7：大容量ポンプの燃料供給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※8：燃料油貯蔵タンク・重油タンク・タンクローリー・軽油ドラム缶の燃料供給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※9：重大事象等発生時において用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(7/22)

(1次冷却材喪失事象が発生している場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	加圧代替用圧注水ポンプ	a,b	加圧代替用圧注水ポンプを用いた代替用注水により炉心の冷却を行う手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式非常用発電設備 ^{c)}	c	自給式ポンプ(自己冷却)による冷却を行う手順	運転手順書
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	自給式ポンプ(自己冷却)	a,b	自給式ポンプを用いた代替用注水により炉心を冷却する手順	S A対応 ^{d)}
			燃料取扱用ホット	a	燃料取扱用ホットを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	燃料油貯蔵タンク ^{e)}	a,b	燃料油貯蔵タンクを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
			重油タンク ^{f)}	a,b	重油タンクを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	タンクローリー ^{g)}	a,b	タンクローリーを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
			軽油ドラム缶 ^{h)}	a,b	軽油ドラム缶を用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	A格納容器スプレイポンプ(自己冷却) R4K1ローラーステッド(ライオン使用)	a	A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)を用いた代替用注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料取扱用ホット	a	燃料取扱用ホットを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	ディーゼルボイラポンプ No. 2脱気タンク	a	ディーゼルボイラポンプを用いた代替用注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式代替用圧注水ポンプ ^{h)}	a	可搬式代替用圧注水ポンプを用いた代替用注水により炉心を冷却する手順	S A対応 ^{d)}
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	電機車(可搬式代替用圧注水ポンプ用)	a	電機車(可搬式代替用圧注水ポンプ用)を用いた代替用注水により炉心を冷却する手順	S A対応 ^{d)}
			脱酸柱立式水櫃	a	脱酸柱立式水櫃を用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	送水車	a	送水車を用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
			燃料油貯蔵タンク ^{e)}	a	燃料油貯蔵タンクを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	重油タンク ^{f)}	a	重油タンクを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
			タンクローリー ^{g)}	a	タンクローリーを用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	軽油ドラム缶 ^{h)}	a	軽油ドラム缶を用いた炉心の冷却を行う手順	S A対応 ^{d)}
			大容量ポンプ(高水冷却)	a,b	大容量ポンプ(高水冷却)を用いた代替用注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	格納容器内循環ポンプ	a,b	格納容器内循環ポンプを用いた炉心の冷却を行う手順	運転手順書
			格納容器内循環ポンプスターリン	a,b	格納容器内循環ポンプスターリンを用いた炉心の冷却を行う手順	運転手順書
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	空冷式非常用発電設備 ^{c)}	a,b	空冷式非常用発電設備を用いた炉心の冷却を行う手順	運転手順書
			燃料油貯蔵タンク ^{e)}	a,b	燃料油貯蔵タンクを用いた炉心の冷却を行う手順	運転手順書
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直電力電源 ^{b)}	代替 目注 表 (注)	重油タンク ^{f)}	a,b	重油タンクを用いた炉心の冷却を行う手順	運転手順書
			タンクローリー ^{g)}	a,b	タンクローリーを用いた炉心の冷却を行う手順	運転手順書

※1：手順書「1.14 電炉の復旧に関する手順等」にて整備する。
 ※2：手順書「1.14 電炉の復旧に関する手順等」にて整備する。
 ※3：C、D-格納容器内循環ポンプによる格納容器内自然冷却方法は「1.7 原子炉格納容器の破損破損を防止するための手順等」にて整備する。
 ※4：重大事象等発生時において用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用される設備に記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

Table with 6 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手順書, 手順書の分類. It lists various equipment and procedures for handling design basis accidents.

第1.4.3表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備を整備する手順 (溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合)

Main table for Osaka reactors, detailing equipment and procedures for molten core retention. It includes sub-tables for different accident categories and lists specific components like pumps and tanks.

※1：大阪発電所 重大事故等発生時ににおける原子炉施設の状態のための高圧状態に関する事項
※2：ディーゼル発電機等により給電する
※3：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※4：可搬式代替冷却圧力バウンダリにより給電する場合は給電水を注水する。
※5：空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。【手順】「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※6：燃焼室（可搬式代替冷却圧力バウンダリ用）の燃料供給に使用する。【手順】「1.8 低圧時炉心冷却材の供給のための手順等」にて整備する。
※7：送水車（燃料供給に使用する車両）のものである。【手順】「1.6 原子炉格納容器内の貯留のための手順等」にて整備する。
※8：A、D格納容器内積換ユニットで格納容器の過圧制御を行う。【手順】「1.7 原子炉格納容器の過圧制御のための手順等」にて整備する。
※9：重大事故等発生時に用いられる設備の指
a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：当該表に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対象として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (5/9) (溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合)

Table with 5 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 手順書. It details procedures for molten core retention in the pressure vessel, including equipment like pumps and tanks.

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
※4：1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
※5：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は管路としてのみ用いる。

対応手段、対応設備、手順書一覧 (6/9) (溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合)

Table with 5 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 手順書. It details procedures for molten core retention in the pressure vessel, including equipment like pumps and tanks.

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
※5：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は管路としてのみ用いる。

Table with 5 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 手順書. It details procedures for molten core retention in the pressure vessel.

対応手段、対応設備、手順書一覧 (8/22) (溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合)

Table with 5 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 手順書. It details procedures for molten core retention in the vessel, including equipment like pumps and tanks.

※1：手順は「1.3 原子炉格納容器」の過熱炉心を冷却するための手順等」にて整備する。
※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※3：可搬式代替注水ポンプにより給水する原子炉格納容器へスプレーする。
※4：管束内の積換は、2次冷却水タンク又は格納容器内自然貯留によることに移行する。
※5：C、D - 格納容器内積換ユニットによる格納容器内自然貯留処理は「1.7 原子炉格納容器の過圧制御を防止するための手順等」にて整備する。
※6：重大事故等発生時に用いられる設備の分類
a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：当該表に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対象として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
・泊は管路及び給電に使用する設備に記載
・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉		女川原子力発電所 2号炉		泊発電所 3号炉		相違理由
<p>第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 [運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合] (1/2)</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去装置	運転員による1次冷却材の冷却（注水）	電動補助給水ポンプ*	a	運転員による1次冷却材の冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			タービン駆動補助給水ポンプ			
			戻水ピット	b	運転員による1次冷却材の冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			電気駆動ポンプ			
			駆動主給水ポンプ	c	運転員による1次冷却材の冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			駆動ポンプ			
			電気駆動ポンプ	d	運転員による1次冷却材の冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			戻水ピット			
			主蒸気源のしりぞ	e	運転員による1次冷却材の冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			タービンバイパス			
ポンプ室*	f	ポンプ室を用いた運転員による1次冷却材の冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書			
戻水室						
<p>注1：「大阪発電所」重大事故等発生時に「原子炉施設の保全のための活動に関する手順」 注2：「プーゼル」発電機等により給電する。 注3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。 注4：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。 注5：重大事故等発生時に用いる設備の分類 a：当該施設に適合する重大事故等対応設備 b：27条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対象として整備する重大事故等対応設備</p>						
<p>対応手段、対応設備、手順書一覧 (9/22) (1次冷却材喪失事象が発生していない場合のフロントライン系故障時)</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
フロントライン系故障時	余熱除去ポンプ又は余熱除去装置	運転員による1次冷却材の冷却（注水）	電動補助給水ポンプ	a	運転員による1次冷却材の冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			タービン駆動補助給水ポンプ			
			戻水ピット	b	運転員による1次冷却材の冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			電気駆動ポンプ			
			駆動主給水ポンプ	c	運転員による1次冷却材の冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			駆動ポンプ			
			電気駆動ポンプ	d	運転員による1次冷却材の冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			戻水ピット			
			主蒸気源のしりぞ	e	運転員による1次冷却材の冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			タービンバイパス			
ポンプ室*	f	ポンプ室を用いた運転員による1次冷却材の冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書			
戻水室						
<p>注1：「大阪発電所」重大事故等発生時に「原子炉施設の保全のための活動に関する手順」 注2：「プーゼル」発電機等により給電する。 注3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。 注4：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。 注5：重大事故等発生時に用いる設備の分類 a：当該施設に適合する重大事故等対応設備 b：27条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対象として整備する重大事故等対応設備</p>						

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.4表 (1/2) を再掲】

第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
〔運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合〕 (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	形質分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去ポンプ駆動装置	1次冷却材喪失事象が発生していない場合	電動補助給水ポンプ ^{b)}	多様性拡張設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却 (GCR) の手順	故障及び設計基準事故に对应する運転手順書	
			タービン駆動補助給水ポンプ				
			復水ピット				
			蒸気発生器				
			電動主給水ポンプ	多様性拡張設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水) の手順	高設計設計基準事故に对应する運転手順書	S.A.形 ^{c)}
			横列給水タンク				
			蒸気発生器補助用復水器付ポンプ (電動機 ^{d)})				
			復水ピット				
			蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)	多様性拡張設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出) ^{e)} の手順	故障及び設計基準事故に对应する運転手順書	ロ.A.形 ^{c)}
			主蒸気流がし弁				
			タービンバイパス弁				
			ポンプ室 ^{f)}				
送水車	多様性拡張設備	ポンプ室による蒸気発生器への注水の手順	故障及び設計基準事故に对应する運転手順書	ロ.A.形 ^{c)}			
蒸気発生器2次側のフュードアンドブリード ^{g)}							
送水車							
送水車							

※1：「大規模電源」：重大事故等有形に及ぼす(炉)炉の稼働の促進のための活動に関する指針。
 ※2：「タービン駆動装置等」として記載する。
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等に関する指針の分類
 a)：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b)：37条に適合する重大事故等対応設備 c)：自主的対象として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (10/22)
(1次冷却材喪失事象が発生していない場合のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	形質分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去ポンプ	1次冷却材喪失事象が発生していない場合	主蒸気流がし弁 蒸気発生器 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁	多様性拡張設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水) の手順	故障及び設計基準事故に对应する運転手順書
			蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水) の手順			
			タービンバイパス弁 蒸気発生器 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁 復水ピット 蒸気発生器2次側のフュードアンドブリード	自主的対象設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水) の手順	高設計設計基準事故に对应する運転手順書
			蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水) の手順			
可搬型大別送水ポンプ車 ^{b)} 2台3台4台5台 可搬型タービン駆動装置 ポンプ室 ^{c)} 、復水器 (送水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁 復水器用取組設備 炉内復水器電式減圧電源設備 ^{d)} 燃料補助設備 ^{e)}	自主的対象設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水) の手順	高設計設計基準事故に对应する運転手順書			
蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水) の手順						

a)：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 b)：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 c)：可搬型大別送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する。
 d)：蒸気発生器2次側のフュードアンドブリードは、主蒸気流のラインを遮断する。
 e)：蒸気発生器2次側を注水する場合は蒸気発生器フュードアンドブリードにより注水を行う。
 ※5：重大事故等に関する指針の分類
 a)：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b)：37条に適合する重大事故等対応設備 c)：自主的対象として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉		女川原子力発電所 2号炉		泊発電所 3号炉		相違理由
<p>第 1.4.4 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合) (2/2)</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	全交流動力電源 ^{b)}	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			密閉式非常用発電機 ^{c)}	a		
			タービン駆動補助給水ポンプ	a,b		
			復水ピット	a,b		
			蒸気発生器	a,b		
			燃料供給減タンク ^{d)}	a		
			風扇タンク ^{e)}	a		
			タンクローリー ^{f)}	a		
			蒸気発生器補助用戻送中圧ポンプ(電動) ^{g)}	a		
			復水ピット	a		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	a,b	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
		主蒸気発生器(見張手監視) ^{h)}	a,b	主蒸気発生器(見張手監視)	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
プールの蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	プールの蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	ポンプ ⁱ⁾	a	ポンプを使用した蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
		送水車	a	ポンプ前による蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	S/A用 ^{j)}	
<p>※1：1次冷却材喪失事象発生時における原子炉冷却の保全のための活動に関する所達 ※2：手順は「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。 ※4：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを維持するための手順等」にて整備する。 ※5：手順は「1.5 最終セーフティシフトへ移行するための手順等」にて整備する。 ※6：密閉式非常用発電機等の燃料供給に使用する。手順は「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。 ※7：重大事故対応策において用いる設備の分類 a) 当該表文に適合する重大事故等対応設備 b) 37条に適合する重大事故等対応設備 c) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>						
<p>対応手段、対処設備、手順書一覧 (11/22) (1次冷却材喪失事象が発生していない場合のサポート系故障時)</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	全交流動力電源	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	タービン駆動補助給水ポンプ	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			電動補助給水ポンプ	a		
			密閉式非常用発電機 ^{c)}	a		
			タービン駆動補助給水ポンプ	a,b		
			復水ピット	a,b		
			蒸気発生器	a,b		
			燃料供給減タンク ^{d)}	a		
			風扇タンク ^{e)}	a		
			タンクローリー ^{f)}	a		
			蒸気発生器補助用戻送中圧ポンプ(電動) ^{g)}	a		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	a,b	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
		主蒸気発生器(見張手監視) ^{h)}	a,b	主蒸気発生器(見張手監視)	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
プールの蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	プールの蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	ポンプ ⁱ⁾	a	ポンプを使用した蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
		送水車	a	ポンプ前による蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	S/A用 ^{j)}	

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

※1：手順は「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※3：可動型大型送水ポンプを上り給水蒸気発生器へ送水する。
 ※4：蒸気発生器の情報は、2次側風扇タンク又は風扇タンクから転送することにより行う。
 ※5：重大事故発生時において用いる設備の分類
 a) 当該表文に適合する重大事故等対応設備 b) 37条に適合する重大事故等対応設備 c) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.4 表 (2/2) を再掲】

第 1.4.4 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類		
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全交直動炉 ^{b)}	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電熱補給給水ポンプ	重大事故等対応設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び特約設備破損を防止する運転手順書		
			空冷式非常用発電機 ^{c)}				a	
			タービン駆動給水ポンプ				a,b	
			復水ピット				a,b	
			蒸気発生器				a,b	
			燃料補給減タンク ^{d)}				a	
			風扇タンク ^{e)}				a	
			タンクローリー ^{f)}				a	
			蒸気発生器補給用促進中圧ポンプ(電動) ^{g)}				多様性供給設備	a,b
			復水ピット				a,b	
			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	a,b
			主蒸気送りがし弁(見張り手動操作) ^{h)}				重大事故等対応設備	a,b
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	a,b						
ポンプ車 ⁱ⁾	多様性供給設備	ポンプ車を用いた、蒸気発生器と冷却材のフュードアンドフュードにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び特約設備破損を防止する運転手順書					
送水車	多様性供給設備	ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	S A所定 ^{j)}					

※1：大阪発電所 重大事故等発生時に上回る原子炉施設の状態のための活動に関する手順
 ※2：手順は「1.14 電熱の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを制御するための手順等」にて整備する。
 ※5：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※6：空冷式非常用発電機の燃料補給に使用する。手順は「1.14 電熱の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故等対応に用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (12/22)
 (1次冷却材喪失事故が発生していない場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類	
サポート系故障時	全交直動炉 ^{b)}	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	主蒸気送りがし弁 ^{c)} 蒸気発生器 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁	自主的対策設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び特約設備破損を防止する運転手順書	
			可動型非常用ポンプ車 ^{d)} 2+3+4+5 可動型ボイラー・凝縮機 ボイラー風車・回収車 (送水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補給給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁 非常用給水設備 炉内電流監視装置(電圧監視装置) 4+6 燃料補給設備 4+6				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順
			電熱補給給水ポンプ 燃料補給タンク 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補給給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	

※1：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※3：可動型非常用ポンプ車により過剰な蒸気発生器へ注水する。
 ※4：蒸気発生器2次側のフュードアンドフュード時、主蒸気ドレンを使用する。
 ※5：蒸気発生器2次側を注水する場合は蒸気発生器フュードドレンにより注水を行う。
 ※6：手順は「1.14 電熱の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：自主的対策として整備する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去管理回路	代管中心注水	A、高圧注入ポンプ ³⁰²	a,b	高圧注入ポンプを用いた中心注水により原子炉の燃料冷却管に水を供給する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			高圧注入ポンプ ³⁰²			
			燃料冷却管注水ピット	a	高圧注入ポンプを用いた中心注水により原子炉の燃料冷却管に水を供給する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			復水ピット			
			蓄圧タンク	a,b	蓄圧タンクを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			ほう酸タンク ³⁰³			
			ほう酸タンク	a	ほう酸タンクを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			1次系補給水ポンプ ³⁰⁴			
			1次系補給水タンク	a	1次系補給水タンクを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却管注水ピット (重力注水)			
			A格納容器スプレイポンプ ³⁰⁵	a	A格納容器スプレイポンプを用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			(RHR S-C S S 透過ライン経由)			
			可搬式代替圧注水ポンプ (空冷式非常用発電装置 ³⁰⁶)	a,b	可搬式代替圧注水ポンプを用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却管注水ピット			
			復水ピット	a	復水ピット出口配管接続の手順	S A所産 ³⁰⁷
			燃料冷却管注水タンク ³⁰⁸			
			空冷式非常用発電装置 (燃料供給の手順)	a,b	空冷式非常用発電装置燃料供給の手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			タンクローリー ³⁰⁹			
電動圧入ポンプ	a	電動圧入ポンプを用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
ディーゼル圧入ポンプ						
N、O、注水タンク	a	可搬式代替圧注水ポンプを用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
可搬式代替圧注水ポンプ ³¹⁰						
電源車 (可搬式代替圧注水ポンプ用)	a	電源車を用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
仮設置自立水車						
送水車	a	可搬式代替圧注水ポンプによる中心注水の手順	S A所産 ³⁰⁷			
燃料冷却管注水タンク ³¹¹						
重油タンク ³¹²	a	重油タンクを用いた中心注水の手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
タンクローリー ³¹³						
精油ドラム缶 ³¹⁴	a	精油ドラム缶を用いた中心注水の手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
高圧注入ポンプ ³¹⁵						
格納容器内循環ポンプ	a	高圧注入ポンプを用いた格納容器内循環により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器内循環ポンプスクリーン						
A格納容器スプレイポンプ ³¹⁶	a,b	A格納容器スプレイポンプを用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
(RHR S、Cから透過ラインを使用)						
A格納容器スプレイ冷却器	a,b	A格納容器スプレイ冷却器を用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器内循環ポンプ						
格納容器内循環ポンプスクリーン	a	格納容器内循環ポンプスクリーンを用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器内循環ポンプスクリーン						

301 大阪発電所 重大事故等発生時に原子炉施設稼働の停止の活動に関する所産。
 302 デーゼル発電機等により駆動する。
 303 手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 304 空冷式非常用発電装置の燃料供給に使用する。手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 305 可搬式代替圧注水ポンプにより中心注水する場合も機能喪失発生する。
 306 電源車 (可搬式代替圧注水ポンプ用) の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 307 送水車の燃料供給に使用するの範囲のものである。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 308 重大事故等対応において用いる設備の分類
 309 重大事故等対応において用いる設備の分類
 a : 当該表文に適合する重大事故等対処設備 b : 27条に適合する重大事故等対処設備 c : 自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (13/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去管理回路	代管中心注水	余熱除去ポンプ	a, b	余熱除去ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却管注水ピット			
			高圧注入ポンプ	a	高圧注入ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却管注水ピット			
			蓄圧タンク	a,b	蓄圧タンクを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			ほう酸タンク ³⁰³			
			ほう酸タンク	a	ほう酸タンクを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			1次系補給水ポンプ ³⁰⁴			
			1次系補給水タンク	a	1次系補給水タンクを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却管注水ピット (重力注水)			
			A格納容器スプレイポンプ ³⁰⁵	a	A格納容器スプレイポンプを用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			(RHR S-C S S 透過ライン経由)			
			可搬式代替圧注水ポンプ (空冷式非常用発電装置 ³⁰⁶)	a,b	可搬式代替圧注水ポンプを用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却管注水ピット			
			復水ピット	a	復水ピット出口配管接続の手順	S A所産 ³⁰⁷
			燃料冷却管注水タンク ³⁰⁸			
			空冷式非常用発電装置 (燃料供給の手順)	a,b	空冷式非常用発電装置燃料供給の手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			タンクローリー ³⁰⁹			
電動圧入ポンプ	a	電動圧入ポンプを用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
ディーゼル圧入ポンプ						
N、O、注水タンク	a	可搬式代替圧注水ポンプを用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
可搬式代替圧注水ポンプ ³¹⁰						
電源車 (可搬式代替圧注水ポンプ用)	a	電源車を用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
仮設置自立水車						
送水車	a	可搬式代替圧注水ポンプによる中心注水の手順	S A所産 ³⁰⁷			
燃料冷却管注水タンク ³¹¹						
重油タンク ³¹²	a	重油タンクを用いた中心注水の手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
タンクローリー ³¹³						
精油ドラム缶 ³¹⁴	a	精油ドラム缶を用いた中心注水の手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
高圧注入ポンプ ³¹⁵						
格納容器内循環ポンプ	a	高圧注入ポンプを用いた格納容器内循環により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器内循環ポンプスクリーン						
A格納容器スプレイポンプ ³¹⁶	a,b	A格納容器スプレイポンプを用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
(RHR S、Cから透過ラインを使用)						
A格納容器スプレイ冷却器	a,b	A格納容器スプレイ冷却器を用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器内循環ポンプ						
格納容器内循環ポンプスクリーン	a	格納容器内循環ポンプスクリーンを用いた代管中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器内循環ポンプスクリーン						

* 1 : 手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 * 2 : 重大事故等対応において用いる設備の分類
 a : 当該表文に適合する重大事故等対処設備 b : 27条に適合する重大事故等対処設備 c : 自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・ 泊は流路及び給電に使用する設備に記載
 ・ 泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

【比較のため、第1.4.5表(1/2)を再掲】

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転停止中のフロントライン系故障時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順	手順の分類
運転停止中の炉内系故障時	冷却材ポンプ又は冷却材供給設備	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ

注1：大規模故障時、重大事故発生時に発生する原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注2：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注3：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注4：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注5：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注6：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注7：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注8：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注9：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注10：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注11：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注12：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (15/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順	手順の分類
運転停止中の炉内系故障時	冷却材ポンプ又は冷却材供給設備	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ

注1：大規模故障時、重大事故発生時に発生する原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注2：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注3：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注4：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注5：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注6：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注7：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注8：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注9：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注10：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注11：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。
 注12：原子炉冷却材供給設備の稼働を確保する手順。

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.5 表 (2/2) を再掲】

第 1.4.5 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類					
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去設備	蒸気発生器二次側による炉心冷却(江水)	電動補助給水ポンプ ²⁾	重大事故等対処設備	蒸気発生器二次側による炉心冷却(江水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書					
			タービン駆動給水ポンプ								
			復水ビョット								
			蒸気発生器								
			電動主給水ポンプ								
			配気器タンク								
		蒸気発生器補助用復元中圧ポンプ(電動) ³⁾	多様な制御設備	蒸気発生器補助用復元中圧ポンプ(電動) ³⁾	蒸気発生器二次側による炉心冷却(江水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	S/A所産 ⁴⁾				
				復水ビョット							
				蒸気発生器二次側による炉心冷却(江水)				重大事故等対処設備	蒸気発生器二次側による炉心冷却(蒸気放出)の手順	高圧及び設計基準事故に対する運転手順書	S/A所産 ⁴⁾
				タービンバイパス弁							
				蒸気発生器二次側による炉心冷却(江水)				多様な制御設備	ポンプ車を用いた蒸気発生器分岐のフリーフロートブローにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	S/A所産 ⁴⁾
									ポンプ車 ⁵⁾		
蒸気発生器二次側による炉心冷却(江水)	多様な制御設備	ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	S/A所産 ⁴⁾							
		送水車									

※1：大阪発電所 重大事故等発生時に係る原子炉施設の保全のための活動に関する所産。
 ※2：タービンを発電機等より給電する。
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.5 蒸気発生器二次側による炉心冷却(蒸気放出)の手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該条文に適合する重大事故等対処設備 b：訂正条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (16/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の位置				
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去設備	蒸気発生器二次側による炉心冷却(江水)	電動補助給水ポンプ ¹⁾ 可搬型ホース 補助給水ポンプ 蒸気発生器 2 次冷却設備 (炉内設備) 配管・弁 2 次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 ⁴⁾ 非常用交電機設備 ⁵⁾	自主的制御設備	蒸気発生器二次側による炉心冷却(江水)の手順	設備及び設計基準事故に対応する運転手順書				
			可搬型大型送水ポンプ ¹⁾ 可搬型ホース・接続 ホース延長・回収車(送水車用) 蒸気発生器 2 次冷却設備 (炉内設備) 配管 2 次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 ⁴⁾ 燃料補給設備 ²⁾				自主的制御設備			
			可搬型大型送水ポンプ ¹⁾ 可搬型ホース・接続 ホース延長・回収車(送水車用) 代給給水ポンプ 蒸気発生器 2 次冷却設備 (炉内設備) 配管 2 次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 ⁴⁾ 燃料補給設備 ²⁾					自主的制御設備		
			可搬型大型送水ポンプ ¹⁾ 可搬型ホース・接続 可搬型ホース延長・回収車(送水車用) 蒸気発生器 2 次冷却設備 (炉内設備) 配管 2 次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 ⁴⁾ 燃料補給設備 ²⁾						自主的制御設備	
			可搬型大型送水ポンプ ¹⁾ 可搬型ホース・接続 可搬型ホース延長・回収車(送水車用) 蒸気発生器 2 次冷却設備 (炉内設備) 配管 2 次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 ⁴⁾ 燃料補給設備 ²⁾							自主的制御設備
			可搬型大型送水ポンプ ¹⁾ 可搬型ホース・接続 可搬型ホース延長・回収車(送水車用) 蒸気発生器 2 次冷却設備 (炉内設備) 配管 2 次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 ⁴⁾ 燃料補給設備 ²⁾							

※1：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.4 電炉の運転再開する手順等」にて整備する。
 ※3：可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器に注水する。
 ※4：原水槽への補給は、2次冷却タンク又はろ過タンクから移送することにより行う。
 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該条文に適合する重大事故等対処設備 b：訂正条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉		女川原子力発電所 2号炉		泊発電所 3号炉		相違理由	
【比較のため、第 1.4.5 表 (2/2) を再掲】							
第 1.4.5 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (2/2)							
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	段階分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類		
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(往水)	a	電動補助給水ポンプ ^{※1}	炉心の著しい増温及び格納容器破損を防止する運転手順書	a	
				タービン駆動給水ポンプ			
				復水ピット			
				凝気ポンプ			
				電動主給水ポンプ			
		炉心冷却(戻水)	a	乾気器タンク	蒸気発生器2次側による炉心冷却(往水)の手順	炉心の著しい増温及び格納容器破損を防止する運転手順書	SA所産 ^{c)}
				蒸気発生器補助用復元中圧ポンプ(電動) ^{※2}			
				復水ピット			
				蒸気発生器冷却用復元中圧ポンプ			
				主蒸気減圧弁			
タービンバイパス	a	タービンバイパス弁	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)の手順	炉障及び設計基準事故に想定する運転手順書			
		ポンプ車 ^{※3}	ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフリードにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい増温及び格納容器破損を防止する運転手順書			
		送水車	ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	SA所産 ^{c)}			

※1：大阪発電所、重大事故等発生時に原子炉冷却の保全のための活動に関する所産。
 ※2：タービン発電機等により給電する。
 ※3：手順は「1.2 原子炉停炉時の圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.3 最終ヒートシンクへ熱を転送するための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等対策において用いている設備の分類
 a：当該英文に適合する重大事故等対処設備 b：別添に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (17/22)
 (発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	段階分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	主蒸気減圧弁 タービン駆動給水ポンプ タービンバイパス弁	主蒸気減圧弁 蒸気発生器 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁 炉内管設備電式減電線設備※1	a	蒸気発生器の復元時における対応手順書 ^{※4}	炉障及び設計基準事故に想定する運転手順書
			タービンバイパス弁 蒸気発生器 復水ポンプ 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁 送水車設備 炉内管設備電式減電線設備※1	b	蒸気発生器の復元時における対応手順書 ^{※4}	炉障及び設計基準事故に想定する運転手順書
			蒸気発生器 タービンバイパス弁 送水車 2次冷却設備 (送水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁 炉内管設備電式減電線設備※1 燃料補給設備※1	c	蒸気発生器の復元時における対応手順書 ^{※4}	炉障及び設計基準事故に想定する運転手順書

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を転送するための手順等」にて整備する。
 ※3：可動型復元水ポンプ車により給水する蒸気発生器-往水。
 ※4：蒸気発生器は復元時のタービンバイパス弁時は、主蒸気減圧弁を閉鎖する。
 ※5：蒸気発生器-復水を待たずする場合は蒸気発生器ブローダウンラインにより給水を行う。
 ※6：重大事故等対策において用いている設備の分類
 a：当該英文に適合する重大事故等対処設備 b：別添に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.6表 機能喪失を防止する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順書の分類
運転停止中の場合	全交流電力喪失時	重事故等対策等対応設備	燃料取扱用ホット (電力注水)	燃料取扱用ホット (電力注水) 全備 燃料取扱用ホットより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			重圧タンク	重圧タンクを用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	
			循環冷却用圧入ポンプ	循環冷却用圧入ポンプ (電力注水) 全備 B充てんポンプ (自己冷却)	
			空冷式非常用発電機等	空冷式非常用発電機等 (電力注水) 全備	
			燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホット (電力注水) 全備 燃料取扱用ホットより原子炉を冷却する手順	
			取水ポンプ	取水ポンプ (自己冷却)	S A所達 ^{※1}
			燃料補給用タンク等	燃料補給用タンク等 (電力注水) 全備	
			重圧タンク等	重圧タンク等 (電力注水) 全備	
			タンクローリー等	タンクローリー等 (電力注水) 全備	
			A格納容器スレイブポンプ (自己冷却)	A格納容器スレイブポンプ (自己冷却) を用いた、代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホット (電力注水) 全備 燃料取扱用ホットより原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}
			ディーゼル排気ポンプ	ディーゼル排気ポンプ (電力注水) 全備	
			N ₂ 、2級水タンク	N ₂ 、2級水タンク (電力注水) 全備	
			可動式代替炉心注水ポンプ等	可動式代替炉心注水ポンプ等 (電力注水) 全備	
			送水ポンプ	送水ポンプ (電力注水) 全備	
燃料補給用タンク等	燃料補給用タンク等 (電力注水) 全備				
重圧タンク等	重圧タンク等 (電力注水) 全備				
タンクローリー等	タンクローリー等 (電力注水) 全備				
軽油ドラム缶等	軽油ドラム缶等 (電力注水) 全備				
運転停止中の場合	全交流電力喪失時	重事故等対策等対応設備	B充てん注入ポンプ (海水冷却)	B充てん注入ポンプ (海水冷却) 全備	
			大容量ポンプ等	大容量ポンプ等 (電力注水) 全備	
			格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプ (電力注水) 全備	
			格納容器再循環ポンプスクリュー	格納容器再循環ポンプスクリュー (電力注水) 全備	
			空冷式非常用発電機等	空冷式非常用発電機等 (電力注水) 全備	
			燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホット (電力注水) 全備 燃料取扱用ホットより原子炉を冷却する手順	
			重圧タンク等	重圧タンク等 (電力注水) 全備	
			タンクローリー等	タンクローリー等 (電力注水) 全備	
			B充てん注入ポンプ (海水冷却)	B充てん注入ポンプ (海水冷却) 全備	
			大容量ポンプ等	大容量ポンプ等 (電力注水) 全備	
			格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプ (電力注水) 全備	
			格納容器再循環ポンプスクリュー	格納容器再循環ポンプスクリュー (電力注水) 全備	
			空冷式非常用発電機等	空冷式非常用発電機等 (電力注水) 全備	
			燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホット (電力注水) 全備 燃料取扱用ホットより原子炉を冷却する手順	
			重圧タンク等	重圧タンク等 (電力注水) 全備	
タンクローリー等	タンクローリー等 (電力注水) 全備				

※1：「大阪発電所」重事故等対策等における原子炉電源の喪失が原因の活動に関する所達
 ※2：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式非常用発電機の燃料補給に使用する。手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可動式代替炉心注水ポンプにより炉心注水する場合は格納容器内の冷却材を炉心注水する。
 ※5：電源喪失時格納容器注水ポンプ用の燃料補給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の循環」にて整備する。
 ※6：送水ポンプの燃料補給に使用する用途のものである。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の循環」にて整備する。
 ※7：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の循環」にて整備する。
 ※8：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※9：重事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該条文中に適合する重事故等対策設備 b：BT条に適合する重事故等対策設備 c：自主的対策として整備する重事故等対策設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (8/9)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
フロントライン系故障	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	代替格納容器再循環ポンプ	代替格納容器再循環ポンプ	非常時操作手順書 (プラント停止中) 「残留熱除去機能喪失」等
		残留熱除去系 配管・弁・ストレート	残留熱除去系 配管・弁・ストレート	
		原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	
自主対策設備	原子炉補給冷却系による発電用原子炉の冷却	原子炉補給冷却系 (原子炉補給冷却海水系を含む。) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用圧力容器 ※3 非常用圧力容器冷却器 ※3 非常用圧力容器冷却器冷却器 ※3 非常用圧力容器冷却器冷却器冷却器 ※3 非常用圧力容器冷却器冷却器冷却器冷却器 ※3	原子炉補給冷却系 (原子炉補給冷却海水系を含む。) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用圧力容器 ※3 非常用圧力容器冷却器 ※3 非常用圧力容器冷却器冷却器 ※3 非常用圧力容器冷却器冷却器冷却器 ※3	非常時操作手順書 (設備別) 「代替格納容器再循環ポンプによる原子炉注水」
	ろ過水ポンプ	ろ過水ポンプ	非常時操作手順書 (プラント停止中) 「残留熱除去機能喪失」等	
	ろ過水タンク	ろ過水タンク		
自主対策設備	原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	
	非常用圧力容器	非常用圧力容器		
	非常用圧力容器冷却器	非常用圧力容器冷却器		
自主対策設備	原子炉冷却材浄化系	原子炉冷却材浄化系	非常時操作手順書 (プラント停止中) 「残留熱除去機能喪失」	
	原子炉冷却材浄化系再再生熱交換器	原子炉冷却材浄化系再再生熱交換器		
	原子炉冷却材浄化系 配管・弁	原子炉冷却材浄化系 配管・弁		
自主対策設備	原子炉冷却材浄化系 配管・弁	原子炉冷却材浄化系 配管・弁	非常時操作手順書 (設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉冷却」	
	原子炉補給冷却系 (原子炉補給冷却海水系を含む。) ※3	原子炉補給冷却系 (原子炉補給冷却海水系を含む。) ※3		
	非常用取水設備 ※3	非常用取水設備 ※3		
自主対策設備	非常用圧力容器	非常用圧力容器		
	非常用圧力容器冷却器	非常用圧力容器冷却器		
	非常用圧力容器冷却器冷却器	非常用圧力容器冷却器冷却器		

※1：手順書「1.11 重事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順書「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重事故等の収束に必要な水の供給手順書【解説】15」項を満足するための代替品 (指図)
 ※5：残留熱除去系 (B充てん注水モード) は熱交換機に期待しておらず、熱交換器は直列としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (18/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順	手順書の分類
運転停止中の場合	全交流電力喪失時	重事故等対策等対応設備	代替格納容器再循環ポンプ	代替格納容器再循環ポンプ	非常時操作手順書 (プラント停止中) 「残留熱除去機能喪失」等
			燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホット (電力注水) 全備 燃料取扱用ホットより原子炉を冷却する手順	
			重圧タンク	重圧タンクを用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	
			循環冷却用圧入ポンプ	循環冷却用圧入ポンプ (電力注水) 全備 B充てんポンプ (自己冷却)	
			空冷式非常用発電機等	空冷式非常用発電機等 (電力注水) 全備	
			燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホット (電力注水) 全備 燃料取扱用ホットより原子炉を冷却する手順	
			取水ポンプ	取水ポンプ (自己冷却)	S A所達 ^{※1}
			燃料補給用タンク等	燃料補給用タンク等 (電力注水) 全備	
			重圧タンク等	重圧タンク等 (電力注水) 全備	
			タンクローリー等	タンクローリー等 (電力注水) 全備	
			A格納容器スレイブポンプ (自己冷却)	A格納容器スレイブポンプ (自己冷却) を用いた、代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホット (電力注水) 全備 燃料取扱用ホットより原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}
			ディーゼル排気ポンプ	ディーゼル排気ポンプ (電力注水) 全備	
			N ₂ 、2級水タンク	N ₂ 、2級水タンク (電力注水) 全備	
			可動式代替炉心注水ポンプ等	可動式代替炉心注水ポンプ等 (電力注水) 全備	
送水ポンプ	送水ポンプ (電力注水) 全備				
燃料補給用タンク等	燃料補給用タンク等 (電力注水) 全備				
重圧タンク等	重圧タンク等 (電力注水) 全備				
タンクローリー等	タンクローリー等 (電力注水) 全備				
軽油ドラム缶等	軽油ドラム缶等 (電力注水) 全備				
運転停止中の場合	全交流電力喪失時	重事故等対策等対応設備	B充てん注入ポンプ (海水冷却)	B充てん注入ポンプ (海水冷却) 全備	
			大容量ポンプ等	大容量ポンプ等 (電力注水) 全備	
			格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプ (電力注水) 全備	
			格納容器再循環ポンプスクリュー	格納容器再循環ポンプスクリュー (電力注水) 全備	
			空冷式非常用発電機等	空冷式非常用発電機等 (電力注水) 全備	
			燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホット (電力注水) 全備 燃料取扱用ホットより原子炉を冷却する手順	
			重圧タンク等	重圧タンク等 (電力注水) 全備	
			タンクローリー等	タンクローリー等 (電力注水) 全備	
			B充てん注入ポンプ (海水冷却)	B充てん注入ポンプ (海水冷却) 全備	
			大容量ポンプ等	大容量ポンプ等 (電力注水) 全備	
			格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプ (電力注水) 全備	
			格納容器再循環ポンプスクリュー	格納容器再循環ポンプスクリュー (電力注水) 全備	
			空冷式非常用発電機等	空冷式非常用発電機等 (電力注水) 全備	
			燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホット (電力注水) 全備 燃料取扱用ホットより原子炉を冷却する手順	
			重圧タンク等	重圧タンク等 (電力注水) 全備	
タンクローリー等	タンクローリー等 (電力注水) 全備				

※1：手順書「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：重事故等対策において用いる設備
 a：当該条文中に適合する重事故等対策設備 b：BT条に適合する重事故等対策設備 c：自主的対策として整備する重事故等対策設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.6表(1/2)を再掲】

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
(運転停止中のサポート系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合 サポート系機能喪失時	全交直電力電源	代 替 心 注 水 ①	燃料取扱用ホット (電力注入)	a, b	燃料取扱用ホット (電力注入) を用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			重圧タンク	a, b	重圧タンクを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			B充てんポンプ (自力冷却)	c	B充てんポンプ (自力冷却) を用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			燃料取扱用ホット	a, b	燃料取扱用ホットを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			復水ポンプ	a, b	復水ポンプを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			燃料貯蔵タンク	a, b	燃料貯蔵タンクを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			直直タンク	a, b	直直タンクを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			タンクローリー	a, b	タンクローリーを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			A格納容器スプレイポンプ (自力冷却)	a, b	A格納容器スプレイポンプ (自力冷却) を用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			燃料取扱用ホット	a, b	燃料取扱用ホットを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			グレーセル前注ポンプ	a, b	グレーセル前注ポンプを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			N a, 2 淡水タンク	a, b	N a, 2 淡水タンクを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			可動式冷却器注水ポンプ	a, b	可動式冷却器注水ポンプを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			電取水 (可動式冷却器注水ポンプ用)	a, b	電取水 (可動式冷却器注水ポンプ用) を用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			圧縮機式水塔	a, b	圧縮機式水塔を用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			送水車	a, b	送水車を用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
燃料貯蔵タンク	a, b	燃料貯蔵タンクを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
直直タンク	a, b	直直タンクを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
タンクローリー	a, b	タンクローリーを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
軽油ドラム	a, b	軽油ドラムを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
B前注水ポンプ (海水冷却)	a, b	B前注水ポンプ (海水冷却) を用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
格納容器前注ポンプ	a, b	格納容器前注ポンプを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
格納容器前注ポンプスクリュー	a, b	格納容器前注ポンプスクリューを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
空冷式非常用発電機	a, b	空冷式非常用発電機を用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
燃料貯蔵タンク	a, b	燃料貯蔵タンクを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
直直タンク	a, b	直直タンクを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
タンクローリー	a, b	タンクローリーを用いた代用心注水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			

※1：「大阪発電所」重大事故等発生時における原子炉電源の緊急のための取組に関する所定
 ※2：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可動式冷却器注水ポンプにより心注水する場合に適用を注す。
 ※5：電取水(可動式冷却器注水ポンプ用)の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 ※6：送水車の燃料供給に使用するの適用のものである。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 ※7：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 ※8：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※9：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該条文中に適合する重大事故等対処設備 b：97 条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (9/9)
(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
サポート系故障	全交直電力電源	代 替 心 注 水 ①	原子炉補機冷却水系統 ※3 常設代交直電源設備 ※2	非常時操作手順書 (プラント停止中) 「残留熱除去機能喪失」等
	原子炉補機冷却水系統 (原子炉補機冷却水系統を含む)		残留熱除去系ポンプ 原子炉三方容器 残留熱除去系 配管・弁 残留熱除去系熱交換器 原子炉再循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系統 (原子炉補機冷却水系統を含む) ※3 非常用取水設備 ※3	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」
	残留熱除去系		残留熱除去系ポンプ 原子炉三方容器 残留熱除去系 配管・弁 残留熱除去系熱交換器 原子炉再循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系統 (原子炉補機冷却水系統を含む) ※3 非常用取水設備 ※3	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」

※1：手順書「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替注水 (措置)
 ※5：残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機に準拠しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (19/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合 サポート系機能喪失時	全交直電力電源	代 替 心 注 水 ①	原子炉補機冷却水系統 ※3 常設代交直電源設備 ※2	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			原子炉補機冷却水系統 (原子炉補機冷却水系統を含む)	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			残留熱除去系	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			可動式冷却器注水ポンプ	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			電取水 (可動式冷却器注水ポンプ用)	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			圧縮機式水塔	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			送水車	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			燃料貯蔵タンク	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			直直タンク	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			タンクローリー	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			軽油ドラム	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			B前注水ポンプ (海水冷却)	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			格納容器前注ポンプ	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			格納容器前注ポンプスクリュー	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			空冷式非常用発電機	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
			燃料貯蔵タンク	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書
直直タンク	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書			
タンクローリー	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書			
軽油ドラム	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書			
B前注水ポンプ (海水冷却)	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書			
格納容器前注ポンプ	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書			
格納容器前注ポンプスクリュー	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書			
空冷式非常用発電機	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書			
燃料貯蔵タンク	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書			
直直タンク	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書			
タンクローリー	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書			
軽油ドラム	自主 可 動 設 備	非常時操作手順書の適用における対応手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書			

※1：可動式冷却器注水ポンプにより心注水する場合に適用を注す。
 ※2：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替注水 (措置)
 ※5：「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※6：「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替注水 (措置)
 ※7：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該条文中に適合する重大事故等対処設備 b：97 条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)
・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
・泊は設計基準事故に対する対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第 1.4.6 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類	
運転停止中の場合	全交流動力電源*	蒸気発生器2次側による炉心冷却注水	電動補助給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順 空冷式非常用発電装置 燃料冷却器の冷却	炉心の著しい増温及び格納容器破損を防止する運転手順書 S A所達**	
			空冷式非常用発電装置**				
			タービン駆動補助給水ポンプ				
			復水ピット				
			蒸気発生器				
			燃料冷却器インテック				
		全交流動力電源**	蒸気発生器2次側による炉心冷却注水	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	b	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい増温及び格納容器破損を防止する運転手順書 S A所達**
				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			
				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			
				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			
				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			
				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			
サポート系機能喪失時	蒸気発生器2次側による炉心冷却注水	主蒸気過熱器(現場手動操作) **	a	主蒸気過熱器(現場手動操作)の手順	炉心の著しい増温及び格納容器破損を防止する運転手順書 S A所達**		
		ポンプ車**					
		ポンプ車**					
		ポンプ車**					
		ポンプ車**					
		ポンプ車**					
原子炉補給冷却水系	①全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替冷却注水に関する設備と同様	A 冷却除去ポンプ (空調用冷却水) **	b	A 冷却除去ポンプ(空調用冷却水)を用いた代替冷却注水により炉心が冷却される手順 消火ポンプを用いた代替冷却注水により炉心が冷却される手順	炉心の著しい増温及び格納容器破損を防止する運転手順書		
		電動消火ポンプ					
		②全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に関する設備と同様					
		A 冷却除去ポンプ (空調用冷却水) **					
		格納容器再循環ポンプ					
		格納容器再循環ポンプ					

※1：大規模電源：重大事故等発生時における原子炉冷却材確保のための電源に関する所達
 ※2：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式非常用発電装置の燃料補給に使用する。手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.2 炉心内の燃料圧力バウンダリ漏れ時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※5：手順は「1.3 原子炉内燃料圧力バウンダリを確保するための手順等」にて整備する。
 ※6：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該事故に直接関与する重大事故等対処設備 b：対策に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (20/22)
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順書の分類	
運転停止中の場合	全交流動力電源 又は 原子炉補給冷却系設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却注水	タービン駆動補助給水ポンプ 電動補助給水ポンプ 燃料冷却器インテック 蒸気発生器 2次冷却設備 (注水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (燃料冷却器設備) 配管・弁 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁	b	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい増温及び格納容器破損を防止する運転手順書 S A所達**	
			空冷式非常用発電装置**				
			タービン駆動補助給水ポンプ				
			復水ピット				
			蒸気発生器				
			燃料冷却器インテック				
		全交流動力電源**	蒸気発生器2次側による炉心冷却注水	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	b	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい増温及び格納容器破損を防止する運転手順書 S A所達**
				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			
				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			
				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			
				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			
				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			
サポート系機能喪失時	蒸気発生器2次側による炉心冷却注水	主蒸気過熱器(現場手動操作) **	a	主蒸気過熱器(現場手動操作)の手順	炉心の著しい増温及び格納容器破損を防止する運転手順書 S A所達**		
		ポンプ車**					
		ポンプ車**					
		ポンプ車**					
		ポンプ車**					
		ポンプ車**					
原子炉補給冷却水系	①全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替冷却注水に関する設備と同様	A 冷却除去ポンプ (空調用冷却水) **	b	A 冷却除去ポンプ(空調用冷却水)を用いた代替冷却注水により炉心が冷却される手順 消火ポンプを用いた代替冷却注水により炉心が冷却される手順	炉心の著しい増温及び格納容器破損を防止する運転手順書		
		電動消火ポンプ					
		②全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に関する設備と同様					
		A 冷却除去ポンプ (空調用冷却水) **					
		格納容器再循環ポンプ					
		格納容器再循環ポンプ					

※1：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.2 炉心内の燃料圧力バウンダリ漏れ時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※3：可動型大型ポンプ車により炉心を蒸気発生器へ注水する。
 ※4：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該事故に直接関与する重大事故等対処設備 b：対策に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

【大阪】
 設備の相違 (相違理由①)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.6 表 (2/2) を再掲】

第 1.4.6 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (2 / 2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順等	手順の分類
運転停止中の場合	全交流動力電源 ^{b)}	冷却材ポンプの停止による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	重大事故等対応設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい増大及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空缶式非常用発電機装置			
			タービン駆動補助給水ポンプ			
			復水ピット			
			蒸気発生器			
			燃料供給調整タンク ^{c)}			
			重油タンク ^{c)}	多様性拡張設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい増大及び格納容器破損を防止する運転手順書
			タンクローリー ^{c)}			
			蒸気発生器用補助的冷却作元ポンプ(電動)			
			復水ピット			
サポート系機能喪失時	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の対応	主蒸気過熱器(規模予備動作) ^{b)}	対処設備等	a	主蒸気過熱器の機能回復の手順	炉心の著しい増大及び格納容器破損を防止する運転手順書
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の対応	送水車	対処設備	a	ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	S A所達 ^{d)}	
						面全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替が注水に用いる設備と同様
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の対応	代替が注水	A余熱除去ポンプ(空調用冷水) ^{b)}	多様性拡張設備	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)を用いた代替が注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい増大及び格納容器破損を防止する運転手順書	
						電動的冷却ポンプ
						面全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替が運転再開に用いる設備と同様
代替が運転再開	代替が運転再開	A余熱除去ポンプ(空調用冷水) ^{b)}	多様性拡張設備	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)を用いた代替が運転再開により炉心を冷却する手順	炉心の著しい増大及び格納容器破損を防止する運転手順書	
						格納容器再循環ポンプ
						格納容器再循環ポンプ

01：大阪発電所 重大事故等発生時に用いる原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の対応に関する手順書
 02：手順書 1.14 電機設備の修理に関する手順等)にて整備する。
 03：空缶式非常用発電機装置の燃料供給に関する手順書)にて整備する。
 04：手順書 1.12 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等)にて整備する。
 05：手順書 1.13 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等)にて整備する。
 06：手順書 1.15 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等)にて整備する。
 07：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：27条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (21/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順等	手順の分類			
運転停止中の場合	全交流動力電源 ^{b)}	冷却材ポンプの停止による炉心冷却(注水)	可搬型大型送水ポンプ ^{c)} #1 可搬型ホース・接続 ボース延長・回収車(送水車用) 基本機 ^{c)} 2 式高圧送水タンク #2 ろ過水タンク #2 蒸気発生器 2 次冷却設備 (取水設備) 配管・弁 2 次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 給水再循環設備 配管・弁 格納容器再循環設備 #3 燃料供給設備 #3	自主的対策設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい増大及び格納容器破損を防止する運転手順書			
			主蒸気過熱器 ^{c)} #4 蒸気発生器 2 次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁				自主的対策設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい増大及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬型大型送水ポンプ ^{c)} #5 #6 #7 #8 可搬型ホース・接続 ボース延長・回収車(送水車用) 蒸気発生器 2 次冷却設備 (取水設備) 配管・弁 2 次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 2 次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁 非常用給水設備 格納容器再循環設備 #3 燃料供給設備 #3						

#1：手順書 1.12 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等)にて整備する。
 #2：取水車への接続は、2 次高圧送水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。
 #3：手順書 1.14 電機設備の修理に関する手順等)にて整備する。
 #4：手順書 1.13 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等)にて整備する。
 #5：手順書 1.15 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等)にて整備する。
 #6：可搬型大型送水ポンプにより炉心を冷却するための手順等)にて整備する。
 #7：蒸気発生器2次側のフュードアンダーストリート時は、主蒸気ドレンラインを使用する。
 #8：蒸気発生器2次側の水を低圧する場合は、自主的冷却材循環ポンプドレンラインにより排水を行う。
 #9：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：27条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																													
<div data-bbox="203 756 613 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備、手順書一覧（22/22） （発電用原子炉停止中のサポート系故障時）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">分類</th> <th style="width: 15%;">機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th style="width: 10%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">対処設備</th> <th style="width: 5%;">設備分類※1</th> <th style="width: 15%;">参照する手順書</th> <th style="width: 10%;">手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">サポート系故障時</td> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">全交流電力喪失又は原子炉種別冷却水設備停止</td> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第1次電源停止</td> <td> B-冷却ポンプ 燃料取扱用ボット 再冷却装置 非常用炉心冷却設備（配管・弁） 化学系統循環設備（配管・弁） 原子炉種別冷却設備（原子炉種別冷却設備） 配管・弁 1次冷却設備 原子炉冷却 常設代替交流電源設備※1 </td> <td style="text-align: center;">電 天 機 電 機 機</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">*</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">非常時点検等の実施時における対応手順書</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">故障及び設計基準事故に発生する運転手順書</td> </tr> <tr> <td> A-高圧注入ポンプ 燃料取扱用高圧ポンプ 燃料取扱用高圧ポンプスクリーン A-安全注入ポンプ再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 非常用炉心冷却設備（高圧注入系） 配管・弁 1次冷却設備 原子炉冷却 </td> <td style="text-align: center;">電 天 機 電 機 機</td> </tr> <tr> <td> 可動型大型冷却ポンプ※2 可動型冷却ポンプ（緊急用） 冷却ポンプ（緊急用） 原子炉種別冷却設備（原子炉種別冷却設備） 配管・弁 非常用取水設備 常設代替交流電源設備※1 燃料補給設備※1 </td> <td style="text-align: center;">電 天 機 電 機 機</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">電機系統用電源喪失時の対応</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">電機系統用電源喪失時の対応</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">電機系統用電源喪失時の対応</td> <td> 電機種別冷却ポンプ 補助給水ポンプ 非常用電源 2次冷却設備（取水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助給水設備） 配管・弁 </td> <td style="text-align: center;">電 天 機 電 機 機</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">*</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">非常時点検等の実施時における対応手順書</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">故障及び設計基準事故に発生する運転手順書</td> </tr> <tr> <td> 常設代替交流電源設備※1 所内発電装置式交流電源設備※1 </td> <td style="text-align: center;">電 天 機 電 機 機</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類※1	参照する手順書	手順書の分類	サポート系故障時	全交流電力喪失又は原子炉種別冷却水設備停止	第1次電源停止	B-冷却ポンプ 燃料取扱用ボット 再冷却装置 非常用炉心冷却設備（配管・弁） 化学系統循環設備（配管・弁） 原子炉種別冷却設備（原子炉種別冷却設備） 配管・弁 1次冷却設備 原子炉冷却 常設代替交流電源設備※1	電 天 機 電 機 機	*	非常時点検等の実施時における対応手順書	故障及び設計基準事故に発生する運転手順書	A-高圧注入ポンプ 燃料取扱用高圧ポンプ 燃料取扱用高圧ポンプスクリーン A-安全注入ポンプ再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 非常用炉心冷却設備（高圧注入系） 配管・弁 1次冷却設備 原子炉冷却	電 天 機 電 機 機	可動型大型冷却ポンプ※2 可動型冷却ポンプ（緊急用） 冷却ポンプ（緊急用） 原子炉種別冷却設備（原子炉種別冷却設備） 配管・弁 非常用取水設備 常設代替交流電源設備※1 燃料補給設備※1	電 天 機 電 機 機	電機系統用電源喪失時の対応	電機系統用電源喪失時の対応	電機系統用電源喪失時の対応	電機種別冷却ポンプ 補助給水ポンプ 非常用電源 2次冷却設備（取水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助給水設備） 配管・弁	電 天 機 電 機 機	*	非常時点検等の実施時における対応手順書	故障及び設計基準事故に発生する運転手順書	常設代替交流電源設備※1 所内発電装置式交流電源設備※1	電 天 機 電 機 機	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、復旧の対応手段を整理している。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類※1	参照する手順書	手順書の分類																										
サポート系故障時	全交流電力喪失又は原子炉種別冷却水設備停止	第1次電源停止	B-冷却ポンプ 燃料取扱用ボット 再冷却装置 非常用炉心冷却設備（配管・弁） 化学系統循環設備（配管・弁） 原子炉種別冷却設備（原子炉種別冷却設備） 配管・弁 1次冷却設備 原子炉冷却 常設代替交流電源設備※1	電 天 機 電 機 機	*	非常時点検等の実施時における対応手順書	故障及び設計基準事故に発生する運転手順書																									
			A-高圧注入ポンプ 燃料取扱用高圧ポンプ 燃料取扱用高圧ポンプスクリーン A-安全注入ポンプ再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 非常用炉心冷却設備（高圧注入系） 配管・弁 1次冷却設備 原子炉冷却	電 天 機 電 機 機																												
			可動型大型冷却ポンプ※2 可動型冷却ポンプ（緊急用） 冷却ポンプ（緊急用） 原子炉種別冷却設備（原子炉種別冷却設備） 配管・弁 非常用取水設備 常設代替交流電源設備※1 燃料補給設備※1	電 天 機 電 機 機																												
電機系統用電源喪失時の対応	電機系統用電源喪失時の対応	電機系統用電源喪失時の対応	電機種別冷却ポンプ 補助給水ポンプ 非常用電源 2次冷却設備（取水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助給水設備） 配管・弁	電 天 機 電 機 機	*	非常時点検等の実施時における対応手順書	故障及び設計基準事故に発生する運転手順書																									
			常設代替交流電源設備※1 所内発電装置式交流電源設備※1	電 天 機 電 機 機																												

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第 1.4.7 表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧（1/48）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水			
(a) A、B 充てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計
		未臨界の維持又は監視	・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計
水源の確保		・ 1次系純水タンク水位計（CRT）	

第 1.4-2 表 重大事故等対処に係る監視計器

監視計器一覧（1/20）

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水 (a) 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水		
非常時操作手順書（複線ベース） 「水位確保」等	判断基準	原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）
非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」		電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧
	操作	水源の確保 復水貯蔵タンク水位
	操作	原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）
		原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力（SA） 原子炉圧力（SA）
		原子炉圧力容器への注水量 残留熱除去系洗浄ライン流量 （残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）
		捕捉監視機能 復水移送ポンプ出口圧力
		水源の確保 復水貯蔵タンク水位

第 1.4.2 表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧（1/61）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水			
(a) 充てんポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力（広域） ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位
		原子炉圧力容器への注水量	・ 充てん流量 ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位
		水源の確保	・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系純水タンク水位
捕捉監視機能		・ 充てんライン圧力	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																
<p>監視計器一覧 (2/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(I) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) A格納容器スプレイポンプ (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計	原子炉压力容器への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	補機監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計	<p>監視計器一覧 (2/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			b. 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉压力容器への注水量	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量	補機監視機能	直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (2/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-格納容器スプレイポンプ (MRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(a) B-格納容器スプレイポンプ (MRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	補機監視機能	・ 充てんライン圧力	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																			
(I) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																			
b. 代替炉心注水																																																																																																																			
(a) A格納容器スプレイポンプ (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																
	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん流量計																																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計																																																																																																																
		原子炉压力容器への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																
補機監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																																																																		
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																	
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																			
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																			
a. 低圧代替注水																																																																																																																			
b. 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水																																																																																																																			
非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																	
非常時操作手順書 (設備別) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」		電源の確保	125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧																																																																																																																
		水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																																
操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																	
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																	
	原子炉压力容器への注水量	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量																																																																																																																	
	補機監視機能	直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力																																																																																																																	
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																			
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																			
b. 代替炉心注水																																																																																																																			
(a) B-格納容器スプレイポンプ (MRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																
		原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量																																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																
	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																
		補機監視機能	・ 充てんライン圧力																																																																																																																
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																
原子炉压力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																																																																		
原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																		
水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																		

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																						
<p>監視計器一覧 (3/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束計</td> <td>・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束計</td> <td>・ 中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中間領域起動率計</td> <td>・ 中間領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>復水ビット水位計</td> <td>・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(a) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計	中性子源領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計	中間領域起動率計	・ 中間領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・ 燃料取替用水ビット水位計	復水ビット水位計	・ 復水ビット水位計	電源	空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計	<p>監視計器一覧 (3/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(c) 低圧代替注水系 (可検型) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (微視ベース) 「水位確保」等</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 炭帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(c) 低圧代替注水系 (可検型) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微視ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 炭帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)	<p>監視計器一覧 (3/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束</td> <td>・ 出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束</td> <td>・ 中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域起動率</td> <td>・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット水位</td> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>代替非常用発電機電圧、電力、周波数 6-A, B母線電圧</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束	中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束	中性子源領域起動率	・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	燃料取替用水ビット水位	・ 燃料取替用水ビット水位	補助給水ビット水位	・ 補助給水ビット水位	補機監視機能	代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	電源	代替非常用発電機電圧、電力、周波数 6-A, B母線電圧	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																																									
(a) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																									
b. 代替炉心注水																																																																																																																																									
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																																							
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																																							
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																																							
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																																							
	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計																																																																																																																																						
		中性子源領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計																																																																																																																																						
		中間領域起動率計	・ 中間領域起動率計																																																																																																																																						
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																																							
	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																																						
		復水ビット水位計	・ 復水ビット水位計																																																																																																																																						
電源	空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計																																																																																																																																								
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																							
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																																									
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																									
a. 低圧代替注水																																																																																																																																									
(c) 低圧代替注水系 (可検型) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																									
非常時操作手順書 (微視ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																							
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																							
		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																																																																																						
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 炭帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																																																							
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																																									
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																									
b. 代替炉心注水																																																																																																																																									
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																																																																																							
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																							
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																																							
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																																							
	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束																																																																																																																																						
		中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束																																																																																																																																						
		中性子源領域起動率	・ 中性子源領域起動率																																																																																																																																						
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																							
	水源の確保	燃料取替用水ビット水位	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																																						
		補助給水ビット水位	・ 補助給水ビット水位																																																																																																																																						
補機監視機能	代替格納容器スプレイポンプ出口圧力																																																																																																																																								
電源	代替非常用発電機電圧、電力、周波数 6-A, B母線電圧																																																																																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																										
<p>監視計器一覧 (4/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td>・ 中間領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計	未臨界の維持又は監視	・ 中間領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (4/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">n. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(d) 代替蓄積冷却系による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (機械ベース) 「水位確保」等</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「代替蓄積冷却ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉補種冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力動潤室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>代替蓄積冷却ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>代替蓄積冷却ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力動潤室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			n. 低圧代替注水			(d) 代替蓄積冷却系による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (機械ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「代替蓄積冷却ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		最終ヒートシンクの確保	原子炉補種冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)		水源の確保	圧力動潤室水位		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	代替蓄積冷却ポンプ出口流量		補機監視機能	代替蓄積冷却ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力動潤室水位	<p>監視計器一覧 (4/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 原用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td>・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 原用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束	未臨界の維持又は監視	・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																													
b. 代替炉心注水																																																																																																																													
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																											
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																											
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																											
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																											
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計																																																																																																																										
未臨界の維持又は監視		・ 中間領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																											
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																											
水源の確保		・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																											
手順書		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																										
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																													
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																													
n. 低圧代替注水																																																																																																																													
(d) 代替蓄積冷却系による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																													
非常時操作手順書 (機械ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																											
非常時操作手順書 (設備別) 「代替蓄積冷却ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																											
	最終ヒートシンクの確保	原子炉補種冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)																																																																																																																											
	水源の確保	圧力動潤室水位																																																																																																																											
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																											
	原子炉圧力容器への注水量	代替蓄積冷却ポンプ出口流量																																																																																																																											
	補機監視機能	代替蓄積冷却ポンプ出口圧力																																																																																																																											
	水源の確保	圧力動潤室水位																																																																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																													
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																													
b. 代替炉心注水																																																																																																																													
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																											
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																											
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																											
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																											
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	・ 原用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束																																																																																																																										
未臨界の維持又は監視		・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																																											
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																											
水源の確保		・ ろ過水タンク水位																																																																																																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																																			
<p>監視計器一覧 (5/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 中間領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 中間領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 中性子源領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 中間領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 中性子源領域起動率</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の注水量	・ 炉心出口温度計	未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 原子炉水位計	原子炉格納容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 恒設代替低圧注水積算流量計	未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 出力領域中性子束計	原子炉格納容器内の水位	・ 中間領域中性子束計	原子炉格納容器内の注水量	・ 中性子源領域中性子束計	原子炉格納容器内の水位	・ 中間領域起動率計	原子炉格納容器内の注水量	・ 中性子源領域起動率計	未臨界の維持又は監視	原子炉格納容器内の注水量	・ 出力領域中性子束	原子炉格納容器内の水位	・ 中間領域中性子束	原子炉格納容器内の注水量	・ 中性子源領域中性子束	原子炉格納容器内の水位	・ 中間領域起動率	原子炉格納容器内の注水量	・ 中性子源領域起動率	<p>監視計器一覧 (5/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (数値ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (数値ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	原子炉水位 (広帯域)	電源の確保	操作	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	水源の確保	操作	原子炉水位 (SA 燃料域)	ろ過水タンク水位	補機監視機能	操作	4-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	水源の確保	操作	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	補機監視機能	操作	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B 1 電圧	水源の確保	操作	ろ過水ポンプ出口圧力	ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧 (5/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 中性子源領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 中間領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の注水量	・ 炉心出口温度	未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉格納容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の注水量	・ 原子炉水位	原子炉格納容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 出力領域中性子束	未臨界の維持又は監視	原子炉格納容器内の注水量	・ 中間領域中性子束	原子炉格納容器内の水位	・ 中性子源領域中性子束	原子炉格納容器内の注水量	・ 中間領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																																				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																																																																						
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																																						
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																																						
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)																																																																																																																																																																				
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																																				
		・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																																																				
操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																																				
未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 原子炉水位計																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																																																																				
未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 出力領域中性子束計																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 中間領域中性子束計																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の注水量	・ 中性子源領域中性子束計																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 中間領域起動率計																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の注水量	・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																																																																				
未臨界の維持又は監視	原子炉格納容器内の注水量	・ 出力領域中性子束																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 中間領域中性子束																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の注水量	・ 中性子源領域中性子束																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 中間領域起動率																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の注水量	・ 中性子源領域起動率																																																																																																																																																																				
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																																																				
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																																																																						
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																																						
a. 低圧代替注水																																																																																																																																																																						
(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																																																						
非常時操作手順書 (数値ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																																																																				
非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																																																																				
電源の確保	操作	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																																																				
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																																																																				
水源の確保	操作	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																																				
		ろ過水タンク水位																																																																																																																																																																				
補機監視機能	操作	4-2C 母線電圧																																																																																																																																																																				
		4-2D 母線電圧																																																																																																																																																																				
水源の確保	操作	125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																																																																				
		125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																																																																																																				
補機監視機能	操作	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																																																																				
		125V 直流主母線 2B 1 電圧																																																																																																																																																																				
水源の確保	操作	ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																																																																				
		ろ過水タンク水位																																																																																																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																																				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																																																																						
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																																						
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																																						
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																																																																				
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																																																																																																				
		・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																																																				
操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 炉心出口温度																																																																																																																																																																				
未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の注水量	・ 原子炉水位																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 出力領域中性子束																																																																																																																																																																				
未臨界の維持又は監視	原子炉格納容器内の注水量	・ 中間領域中性子束																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 中性子源領域中性子束																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の注水量	・ 中間領域起動率																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 中性子源領域起動率																																																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)																																																																																																																																																																				

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																															
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>		<p>監視計器一覧 (6/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> b. 代替初心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） </td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 初心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 </td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">未臨界の維持又は監視</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(6) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） </td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 初心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 </td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">未臨界の維持又は監視</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(7) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">水源の確保</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位 </td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (7/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> b. 代替初心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） </td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 初心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 </td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">未臨界の維持又は監視</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(7) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">水源の確保</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替初心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） 	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 初心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 	未臨界の維持又は監視		<ul style="list-style-type: none"> ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） 	(6) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水		判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） 	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 初心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 	未臨界の維持又は監視		<ul style="list-style-type: none"> ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） 	(7) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水		水源の確保		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位 	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替初心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） 	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 初心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 	未臨界の維持又は監視		<ul style="list-style-type: none"> ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） 	(7) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水		水源の確保		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位 	<p>【大阪】 設備の相違 （相違理由③）</p> <p>【大阪】 設備の相違 （相違理由③）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																																																																		
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																		
b. 代替初心注水																																																																																																																		
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																																																																																																																
	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 																																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） 																																																																																																																
	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 初心出口温度 																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 																																																																																																															
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 																																																																																																															
		未臨界の維持又は監視		<ul style="list-style-type: none"> ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率 																																																																																																														
原子炉格納容器内の水位			<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） 																																																																																																															
(6) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水																																																																																																																		
判断基準			原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 																																																																																																														
			原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																																																																																																															
	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 																																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） 																																																																																																																
	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 初心出口温度 																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 																																																																																																															
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 																																																																																																															
		未臨界の維持又は監視		<ul style="list-style-type: none"> ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率 																																																																																																														
原子炉格納容器内の水位			<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） 																																																																																																															
(7) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水																																																																																																																		
水源の確保				<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位 																																																																																																														
			対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																													
		1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																																																																
	(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																	
b. 代替初心注水																																																																																																																		
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																																																																																																																
	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 																																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） 																																																																																																																
	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 初心出口温度 																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 																																																																																																															
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 																																																																																																															
		未臨界の維持又は監視		<ul style="list-style-type: none"> ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率 																																																																																																														
原子炉格納容器内の水位			<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） 																																																																																																															
(7) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水																																																																																																																		
水源の確保				<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位 																																																																																																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																										
<p>監視計器一覧（6/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（8/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																										
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																													
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																										
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧（7/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>格納監視機能</td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	格納監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（9/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>格納監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）	格納監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																									
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																									
d. 代替再循環運転																																																																									
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																						
		原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																						
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																						
		原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																						
		格納監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																									
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																									
d. 代替再循環運転																																																																									
(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																						
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																						
		原子炉压力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
		格納監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																											
<p>監視計器一覧（8/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 475 712 1125"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計	補機監視機能	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力		<p>監視計器一覧（10/61）</p> <table border="1" data-bbox="1382 491 2002 1129"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンブ水位（広域） ・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 売てん流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	補機監視機能	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位（広域） ・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 売てん流量 ・ 低圧注入流量	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																														
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																														
d. 代替再循環運転																																																																														
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																											
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																											
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計																																																																											
		原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器スプレイ流量計																																																																											
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																											
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																											
	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計																																																																											
		補機監視機能	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																										
				・ 高圧注入ポンプ吐出圧力																																																																										
				・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																										
				・ 高圧注入ポンプ吐出圧力																																																																										
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																														
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																														
d. 代替再循環運転																																																																														
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																											
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																											
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																											
		原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量																																																																											
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																											
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																											
	補機監視機能	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位（広域） ・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																										
			操作	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																								
					原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																								
					原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 売てん流量 ・ 低圧注入流量																																																																								
					原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																														
<p>監視計器一覧 (9/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器圧力計 (広域) ・ AM用格納容器圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・ 原子炉格納容器水位計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="5">操作</td> <td>・ A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">水源の確保</td> <td rowspan="6">操作</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 復水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸タンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 体積制御タンク水位計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計 	原子炉格納容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量計 	原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計 	原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度計 	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器圧力計 (広域) ・ AM用格納容器圧力計 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・ 原子炉格納容器水位計 	最終ヒートシンクの確保	操作	・ A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計		・ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計		・ 主蒸気圧力計		・ 蒸気発生器水位計 (狭域)		・ 蒸気発生器補助給水流量計		水源の確保	操作	・ 燃料取替用水ビット水位計		・ 復水ビット水位計		・ ほう酸タンク水位計		・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)		・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)		・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)		・ 体積制御タンク水位計 (CRT)		補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計			<p>監視計器一覧 (11/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (適用) </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器水位 </td> </tr> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="5">操作</td> <td>・ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (適用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">水源の確保</td> <td rowspan="10">操作</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 2次系純水タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 使用済燃料ビット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 体積制御タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸補給ライン流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸補給ライン流量積算制御</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水補給ライン流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水補給ライン流量積算制御</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ろ過水タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td rowspan="3">操作</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉格納容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量計 	原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (適用) 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器水位 	最終ヒートシンクの確保	操作	・ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (適用)		・ C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計		・ 主蒸気ライン圧力		・ 蒸気発生器水位 (狭域)		・ 補助給水流量計		水源の確保	操作	・ 燃料取替用水ビット水位		・ 1次系純水タンク水位		・ 2次系純水タンク水位		・ 使用済燃料ビット水位		・ ほう酸タンク水位		・ 体積制御タンク水位		・ ほう酸補給ライン流量		・ ほう酸補給ライン流量積算制御		・ 1次系純水補給ライン流量		・ 1次系純水補給ライン流量積算制御		・ ろ過水タンク水位		補機監視機能	操作	・ 高圧注入ポンプ出口圧力		・ 余熱除去ポンプ出口圧力		・ 余熱除去ポンプ電流		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																																	
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																	
d. 代替再循環運転																																																																																																																																	
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 																																																																																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計 																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量計 																																																																																																																														
		原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計 																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度計 																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器圧力計 (広域) ・ AM用格納容器圧力計 																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・ 原子炉格納容器水位計 																																																																																																																														
		最終ヒートシンクの確保	操作	・ A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計																																																																																																																													
				・ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計																																																																																																																													
				・ 主蒸気圧力計																																																																																																																													
				・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																																																																																													
				・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																																																													
		水源の確保	操作	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																													
				・ 復水ビット水位計																																																																																																																													
・ ほう酸タンク水位計																																																																																																																																	
・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																																	
・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																																	
・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																																	
・ 体積制御タンク水位計 (CRT)																																																																																																																																	
補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																																	
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																	
d. 代替再循環運転																																																																																																																																	
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉格納容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量計 																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (適用) 																																																																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器水位 																																																																																																																														
		最終ヒートシンクの確保	操作	・ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (適用)																																																																																																																													
				・ C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計																																																																																																																													
				・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																																													
				・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																																																																													
				・ 補助給水流量計																																																																																																																													
		水源の確保	操作	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																													
				・ 1次系純水タンク水位																																																																																																																													
				・ 2次系純水タンク水位																																																																																																																													
				・ 使用済燃料ビット水位																																																																																																																													
				・ ほう酸タンク水位																																																																																																																													
・ 体積制御タンク水位																																																																																																																																	
・ ほう酸補給ライン流量																																																																																																																																	
・ ほう酸補給ライン流量積算制御																																																																																																																																	
・ 1次系純水補給ライン流量																																																																																																																																	
・ 1次系純水補給ライン流量積算制御																																																																																																																																	
・ ろ過水タンク水位																																																																																																																																	
補機監視機能	操作	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																															
		・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																															
		・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																																															

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																														
<p>監視計器一覧 (10/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計	電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。		(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	補機監視機能	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計		・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (12/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・消幹線1L電圧、2L電圧 ・後志巻線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位	電源	・消幹線1L電圧、2L電圧 ・後志巻線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																	
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																	
a. 代替炉心注水																																																																																	
(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計																																																																														
		電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																														
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																														
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																														
操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																																																
(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																														
		原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																														
	補機監視機能	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																														
			・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																														
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。																																																																															
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																	
a. 代替炉心注水																																																																																	
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																														
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位																																																																														
		電源	・消幹線1L電圧、2L電圧 ・後志巻線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																														
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																																																														
			・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																														
		操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																														
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯 3 / 4号炉との比較対象なし</div>																																																																															

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由				
監視計器一覧（11/48）										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水										
(c) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	相違基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度				
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計			原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）			
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計			原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位			
		原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計			原子炉压力容器への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）			原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）			
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計			水源の確保	・燃料取替用水ビット水位			
		電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計			電源	・高幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧			
		相機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）			相機監視機能	・原子炉格納容器再循環サンプ水位（広域）			
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）				・原子炉格納容器再循環サンプ水位（広域）			
		監視計器一覧（12/48）								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水										
(c) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度				
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計			原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）			
		原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計			原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位			
		原子炉压力容器内の注水量	・充てん水流量計			原子炉压力容器への注水量	・充てん流量			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計			原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）			
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計			水源の確保	・燃料取替用水ビット水位			
		相機冷却	・B充てんポンプ封水油冷却器冷却水流量計			相機冷却	・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）			
			・B充てんポンプ電動機冷却水流量計				・B-充てんポンプ油冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量 ・B-充てんポンプ電動機補機冷却水流量			
		監視計器一覧（13/61）								
		1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水								
(b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	相違基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	相違基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度				
			原子炉压力容器内の圧力			・1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）		
						原子炉压力容器内の水位		・加圧器水位	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位
		原子炉压力容器への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）				
			・格納容器再循環サンプ水位（広域）			水源の確保	・燃料取替用水ビット水位			
		電源	・高幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧		電源		・高幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧			
			相機監視機能			・原子炉格納容器再循環サンプ水位（広域）	相機監視機能	・原子炉格納容器再循環サンプ水位（広域）		
						・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）		・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）		
		操作	原子炉压力容器内の温度		・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度		
			原子炉压力容器内の圧力		・1次冷却材圧力（広域）		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）		
原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位						
相機冷却	原子炉压力容器への注水量	・充てん流量	相機冷却	原子炉压力容器への注水量	・充てん流量					
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）					
相機冷却	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	相機冷却	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位					
	・B-充てんポンプ油冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量 ・B-充てんポンプ電動機補機冷却水流量	・B-充てんポンプ油冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量 ・B-充てんポンプ電動機補機冷却水流量								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉		女川原子力発電所 2号炉		泊発電所 3号炉		相違理由		
監視計器一覧（13/48）								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器						
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水								
(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計					
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計					
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計					
		原子炉圧力容器内の注水量	・充てん水流量計					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンパ水位計（広域）					
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計					
		補機監視機能	・充てん水圧力計					
		電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計					
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）					
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）					
監視計器一覧（14/48）								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器						
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水								
(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計					
		原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計					
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計					
		原子炉圧力容器内の注水量	・A余熱除去流量計					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンパ水位計（広域）					
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計					
		補機冷却	・A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計					
			・A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計					
		監視計器一覧（14/61）						
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水								
(c) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度					
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）					
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位					
		原子炉圧力容器への注水量	・充てん流量					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンパ水位（広域）					
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位					
		電源	・前幹線1L電圧、2L電圧					
			・後幹線1L電圧、2L電圧					
			・甲母線電圧、乙母線電圧					
			・6-A、B、C1、C2、D母線電圧					
補機監視機能	・充てんライン圧力							
	・原子炉補機冷却水供給母管流量							
	・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）							
	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）							
操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度						
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）						
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位						
	原子炉圧力容器への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）						
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンパ水位（広域）						
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位						
	補機冷却	・B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量						
		・B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧 (15 / 48)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d) b. (c) と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	電源	・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	1.4.2.1(d) b. (c) と同様。			<p>監視計器一覧 (15/61)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 泊幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1 (1) b. (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量	・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	原子炉格納容器内水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	操作	1.4.2.1 (1) b. (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																		
(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)																																																																
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																
		・ 1次冷却材圧力計																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																
	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																
	電源	・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計																																																																
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																
・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																		
操作	1.4.2.1(d) b. (c) と同様。																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																		
(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																
		・ 炉心出口温度																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																
	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量																																																																
		・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																
	原子炉格納容器内水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																
	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																
・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																		
・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																		
・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧																																																																		
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																	
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																																																	
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																	
操作	1.4.2.1 (1) b. (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																					
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; vertical-align: top;">(f) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 20%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">泊3号炉との比較対象なし</td> </tr> </table>	(f) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	補機監視機能	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	泊3号炉との比較対象なし					<p style="text-align: center;">監視計器一覧（16/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">電源</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 後志幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">操作 1.4.2.1(1) b、(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">電源</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">操作 1.4.2.1(1) b、(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	電源	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	・ 泊幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 後志幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	操作 1.4.2.1(1) b、(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。			(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	電源	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	操作 1.4.2.1(1) b、(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。			<p>【大阪】 設備の相違 （相違理由③）</p>
(f) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																			
				原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																			
		原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位計																																																																				
		補機監視機能	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																				
	原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																					
操作	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																						
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																						
泊3号炉との比較対象なし																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																								
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																					
	電源	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																					
		電源	・ 泊幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 後志幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																					
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																					
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																					
	操作 1.4.2.1(1) b、(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																							
	(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																				
原子炉圧力容器内の圧力			・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																					
原子炉圧力容器内の水位			・ 加圧器水位																																																																					
電源		原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																					
		電源	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																					
操作 1.4.2.1(1) b、(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (17/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>・ B-格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A9用）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替心注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	・ B-格納容器スプレイ流量	・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A9用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	1.4.2.1(d) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替心注水																									
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																							
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																							
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																							
		・ 加圧器水位																							
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																							
		・ B-格納容器スプレイ流量																							
・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A9用）																									
原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																								
操作	1.4.2.1(d) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																								

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																						
<p>監視計器一覧（16/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ B 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ B 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	操作	補機冷却	・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器への注水量	・ B 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ B 高圧注入ポンプ吐出圧力計	大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。				<p>監視計器一覧（18/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 高幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 低幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="3">可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車による A-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	・ 高幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 低幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	操作	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車による A-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																									
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																																									
(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																																									
i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																						
		電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																																						
	操作	補機冷却	・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																																						
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																																						
		原子炉压力容器への注水量	・ B 高圧注入流量計																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																						
補機監視機能	・ B 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																																								
大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																									
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																																									
(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																																									
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																						
		電源	・ 高幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 低幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧																																																																																						
	操作	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)																																																																																						
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																						
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																						
補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																								
可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車による A-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。																																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																
<p>監視計器一覧（17/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 462 712 1133"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 462 347 534">対応手段</th> <th data-bbox="347 462 481 534">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 462 712 534">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 534 712 558">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 558 712 582">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 582 712 606">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 606 712 630">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 630 313 1133" rowspan="7">i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="313 630 347 1133" rowspan="3">判断基準</td> <td data-bbox="347 630 481 710">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 630 712 710"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 710 481 758">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 710 712 758">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 758 481 805">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="481 758 712 805">・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 805 481 853">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="481 805 712 853">・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 853 347 1133" rowspan="3">操作</td> <td data-bbox="347 853 481 901">相機監視機能</td> <td data-bbox="481 853 712 901">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 901 481 949">相機冷却</td> <td data-bbox="481 901 712 949">・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 949 481 1133">空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b. 「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。</td> <td data-bbox="481 949 712 1133">・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	相機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	相機冷却	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b. 「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。	・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯 3 / 4号炉との比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																			
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																			
b. 代替再循環運転																																			
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																			
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																	
	操作	相機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																
		相機冷却	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																
		空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b. 「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。	・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計																																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																						
<p>監視計器一覧（18/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 454 712 1145"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B 高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・ A 余熱除去流量計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		補機冷却	B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計		B 高圧注入ポンプ冷却水流量計		操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。			<p>監視計器一覧（19/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 486 1998 1157"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機冷却</td> <td>A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)1.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量		原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）		補機冷却	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）		A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）		A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）		操作	1.4.2.1(2)b.(a)1.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																									
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																																									
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																																									
ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																						
		原子炉格納容器内への注水量	・ A 余熱除去流量計																																																																																						
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																						
			原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																						
		補機冷却	B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計																																																																																						
			B 高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																																						
		操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																									
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																																									
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																																									
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																						
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																						
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																						
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																																						
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																																						
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																																						
		補機冷却	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																																						
A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																																									
A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																																																									
操作	1.4.2.1(2)b.(a)1.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																														
<p>監視計器一覧 (6/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉压力容器への注水</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等</td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉压力容器への注水	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	圧力抑制室水位		原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量		補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力抑制室水位	<p>監視計器一覧 (7/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉压力容器への注水</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等</td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉压力容器への注水	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧		水源の確保	圧力抑制室水位		原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉压力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量		補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力抑制室水位	<p>監視計器一覧 (20/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止</td> <td>電源</td> <td>・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>d. 復旧</td> <td>電源</td> <td>・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉压力容器内の温度 原子炉压力容器内の圧力 原子炉压力容器内の水位 原子炉格納容器内の水位 水源の確保 電源 補機監視機能</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力 (広域) ・ 加圧器水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 格納容器内循環サンプ水位 (広域) ・ 燃料取扱用レベル水位 ・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧 ・ 原子炉補機冷却水供給管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給管補機冷却水流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>→ 操作に伴う監視計器がないため記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順			c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	電源	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧	d. 復旧	電源	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧	(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	原子炉压力容器内の温度 原子炉压力容器内の圧力 原子炉压力容器内の水位 原子炉格納容器内の水位 水源の確保 電源 補機監視機能	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力 (広域) ・ 加圧器水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 格納容器内循環サンプ水位 (広域) ・ 燃料取扱用レベル水位 ・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧 ・ 原子炉補機冷却水供給管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給管補機冷却水流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)		操作	1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・泊3号炉は、手順着手の判断基準の監視計器を整理している。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映) ・泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																															
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉压力容器への注水	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																															
非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																																															
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																															
	水源の確保	圧力抑制室水位																																																																															
	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																															
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																															
	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量																																																																															
	補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力																																																																															
	水源の確保	圧力抑制室水位																																																																															
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																															
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉压力容器への注水	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																															
非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)																																																																															
非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																															
	水源の確保	圧力抑制室水位																																																																															
	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																															
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																															
	原子炉压力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量																																																																															
	補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力																																																																															
	水源の確保	圧力抑制室水位																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順																																																																																	
c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	電源	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧																																																																															
d. 復旧	電源	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧																																																																															
(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	原子炉压力容器内の温度 原子炉压力容器内の圧力 原子炉压力容器内の水位 原子炉格納容器内の水位 水源の確保 電源 補機監視機能	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力 (広域) ・ 加圧器水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 格納容器内循環サンプ水位 (広域) ・ 燃料取扱用レベル水位 ・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧 ・ 原子炉補機冷却水供給管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給管補機冷却水流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																																																															
	操作	1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																															
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (21/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(b) 可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td>原子炉压力容器内の温度 原子炉压力容器内の圧力 原子炉压力容器内の水位 原子炉格納容器内の水位 電源 補機冷却</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力 (広域) ・ 加圧器水位 ・ A-格納容器内循環サンプ水位 (広域) ・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2) b. (a) 1. 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧			(b) 可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	原子炉压力容器内の温度 原子炉压力容器内の圧力 原子炉压力容器内の水位 原子炉格納容器内の水位 電源 補機冷却	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力 (広域) ・ 加圧器水位 ・ A-格納容器内循環サンプ水位 (広域) ・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)		操作	1.4.2.1(2) b. (a) 1. 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映) ・泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧																																																																																	
(b) 可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	原子炉压力容器内の温度 原子炉压力容器内の圧力 原子炉压力容器内の水位 原子炉格納容器内の水位 電源 補機冷却	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力 (広域) ・ 加圧器水位 ・ A-格納容器内循環サンプ水位 (広域) ・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)																																																																															
	操作	1.4.2.1(2) b. (a) 1. 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																															

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																								
<p>監視計器一覧 (19/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器の温度</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 (SA) 用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>・格納容器圧力計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 格納容器スプレー及び代替格納容器スプレーの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち 1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレーポンプによる格納容器スプレー」及び 1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレー」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			判断基準	原子炉圧力容器の温度	・炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 (SA) 用)		・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT)		・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	・格納容器圧力計 (広域)	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	・原子炉格納容器水位計	格納容器スプレー及び代替格納容器スプレーの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち 1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレーポンプによる格納容器スプレー」及び 1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレー」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (8/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系 (廃設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部空筒気温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内空筒気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>4-9C 母線電圧 4-2D 母線電圧</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系 (廃設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力	判断基準	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部空筒気温度	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空筒気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)	電源の確保	4-9C 母線電圧 4-2D 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域)	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)	水源の確保	復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (22/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の冷却手順 a. 原子炉格納容器注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 手順内の格納容器スプレー及び代替格納容器スプレーについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち 1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の冷却手順 a. 原子炉格納容器注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度		・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度		・格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)	操作	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器水位	手順内の格納容器スプレー及び代替格納容器スプレーについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち 1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																											
判断基準	原子炉圧力容器の温度	・炉心出口温度計																																																																																																									
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)																																																																																																									
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																									
	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 (SA) 用)																																																																																																									
		・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT)																																																																																																									
		・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)																																																																																																									
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																																									
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																									
		・格納容器圧力計 (広域)																																																																																																									
	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																																									
原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																										
原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																										
	・原子炉格納容器水位計																																																																																																										
格納容器スプレー及び代替格納容器スプレーの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち 1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレーポンプによる格納容器スプレー」及び 1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレー」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。																																																																																																											
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																									
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系 (廃設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却																																																																																																											
非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																									
非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																									
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力																																																																																																									
判断基準	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部空筒気温度																																																																																																									
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空筒気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)																																																																																																									
電源の確保	4-9C 母線電圧 4-2D 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																									
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域)																																																																																																									
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																									
補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																									
	水源の確保	復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位																																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の冷却手順 a. 原子炉格納容器注水																																																																																																											
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																																																									
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)																																																																																																									
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																									
	最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度																																																																																																									
		・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度																																																																																																									
		・格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度																																																																																																									
	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)																																																																																																									
	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)																																																																																																								
	操作	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																								
原子炉格納容器内の水位		・格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器水位																																																																																																									
手順内の格納容器スプレー及び代替格納容器スプレーについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち 1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。																																																																																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧 (20/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計
		水源の確保 補機監視機能	・ 復水ピット水位計 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計
	電源	電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計
		水源の確保	・ 脱気器タンク水位計（CRT）
	操作	—	—

監視計器一覧 (9/20)

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			
(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順			
a. 低圧代替注水			
b. 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却			
非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジ-4」	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）	
非常時操作手順書（設備別） 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」		原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の水位
		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）
原子炉格納容器内の圧力		ドライウェル圧力	原子炉圧力
原子炉格納容器内の温度		原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度	原子炉格納容器下部温度
原子炉格納容器内の水素濃度		格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）	格納容器内水素濃度
電源の確保		4-2C母線電圧 125V直流主母線2A電圧 125V直流主母線2B電圧 125V直流主母線2A-1電圧 125V直流主母線2B-1電圧	4-2C母線電圧 125V直流主母線2A電圧 125V直流主母線2B電圧 125V直流主母線2A-1電圧 125V直流主母線2B-1電圧
水源の確保		圧力抑制室水位	圧力抑制室水位
操作		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）
		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）
	原子炉圧力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量	
補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力	代替循環冷却ポンプ出口圧力	
水源の確保	圧力抑制室水位	圧力抑制室水位	

監視計器一覧 (23/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			
(1) フロントライン系故障時の対応手順			
a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
	補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量
		水源の確保	・ 補助給水ピット水位 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量
	電源	電源	・ 母線電圧 1 L電圧, 2 L電圧 ・ 機志巻線 1 L電圧, 2 L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-C1, C2, D母線電圧
		水源の確保	・ 脱気器タンク水位
	操作	—	—

—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																														
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%; text-align: center;">(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="4" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計(広域) ・1次冷却材低温側温度計(広域) ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計(広域) </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計(狭域) ・蒸気発生器主給水流量計(CRT) ・蒸気発生器水張り流量計(CRT) </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計(広域) ・1次冷却材低温側温度計(広域) ・炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計(広域) 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計(狭域) ・蒸気発生器主給水流量計(CRT) ・蒸気発生器水張り流量計(CRT) 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 		操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p style="text-align: center;">監視計器一覧(10/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">手順書</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視パラメータ(計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (e) 低圧代替注水系(可搬型)による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> 原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA 広帯域) 原子炉水位(SA 燃料域) </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力(SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td> 原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部空間気温度 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td> 格納容器内空気水素濃度 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C) </td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td> 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td> 淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2) </td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> 原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(SA 燃料域) 原子炉水位(SA 燃料域) </td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力(SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水</td> <td> 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td> 淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2) </td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (e) 低圧代替注水系(可搬型)による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA 広帯域) 原子炉水位(SA 燃料域)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力		原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部空間気温度		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空気水素濃度 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C)		電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(SA 燃料域) 原子炉水位(SA 燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)		原子炉圧力容器への注水	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(24/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの終熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) ・炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力(広域) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 水源の確保 ・補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの終熱による発電用原子炉の冷却(注水)			(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) ・炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力(広域) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 水源の確保 ・補助給水ピット水位	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	<p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>
(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計(広域) ・1次冷却材低温側温度計(広域) ・炉心出口温度計 																																																																												
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計(広域) 																																																																												
				最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計(狭域) ・蒸気発生器主給水流量計(CRT) ・蒸気発生器水張り流量計(CRT) 																																																																												
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 																																																																															
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																															
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)																																																																															
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (e) 低圧代替注水系(可搬型)による残存溶融炉心の冷却																																																																																	
非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA 広帯域) 原子炉水位(SA 燃料域)																																																																															
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)																																																																															
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力																																																																															
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部空間気温度																																																																															
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空気水素濃度 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C)																																																																															
	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																															
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																															
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(SA 燃料域) 原子炉水位(SA 燃料域)																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)																																																																															
	原子炉圧力容器への注水	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																															
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの終熱による発電用原子炉の冷却(注水)																																																																																	
(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) ・炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力(広域) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 水源の確保 ・補助給水ピット水位																																																																															
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																															
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・補助給水流量																																																																															
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																															
(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・補助給水流量																																																																															
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																															
(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(狭域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・補助給水流量																																																																															
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																															

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																								
<p>監視計器一覧 (21/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>蒸気発生器水位計 (広域)</td> <td>・ 蒸気発生器水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位計 (狭域)</td> <td>・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器補助給水流量計</td> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器主給水流量計 (CRT)</td> <td>・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水張り流量計 (CRT)</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気圧力計 ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT) ・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 復水器真空度計 (広域) ・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位計 (広域)	・ 蒸気発生器水位計 (広域)	蒸気発生器水位計 (狭域)	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器補助給水流量計	蒸気発生器主給水流量計 (CRT)	・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT)	蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	—	—	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計 ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT) ・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	電源	・ 復水器真空度計 (広域) ・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計	操作	—	—	<p>監視計器一覧 (11/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順			a. 低圧代替注水			(4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力		原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)		原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力		原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)		電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	ろ過水タンク水位		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量		補機監視機能	ろ過水ポンプ出口圧力		水源の確保	ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧 (25/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>・ 蒸気発生器水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>主給水ライン流量</td> <td>・ 主給水ライン流量</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水張り流量</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 補助給水流量 ・ 復水器真空 (広域)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 総合幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位 (広域)	・ 蒸気発生器水位 (広域)	蒸気発生器水位 (狭域)	・ 蒸気発生器水位 (狭域)	主給水ライン流量	・ 主給水ライン流量	蒸気発生器水張り流量	・ 蒸気発生器水張り流量	補助給水流量	・ 補助給水流量	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	—	—	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 補助給水流量 ・ 復水器真空 (広域)	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 総合幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D 母線電圧	操作	—	—	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																									
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																																																																																																											
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																																											
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)																																																																																																																																																											
(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																								
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																																																								
	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位計 (広域)	・ 蒸気発生器水位計 (広域)																																																																																																																																																								
		蒸気発生器水位計 (狭域)	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																																																																																																																								
		蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																																																																																								
		蒸気発生器主給水流量計 (CRT)	・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT)																																																																																																																																																								
	蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)																																																																																																																																																									
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																																																									
	操作	—	—																																																																																																																																																								
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																								
		最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計 ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT) ・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)																																																																																																																																																								
	電源	・ 復水器真空度計 (広域) ・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																																																																																																									
	操作	—	—																																																																																																																																																								
	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																																								
	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																																																										
	(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順																																																																																																																																																										
	a. 低圧代替注水																																																																																																																																																										
	(4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却																																																																																																																																																										
非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																									
非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力																																																																																																																																																									
	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																									
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力																																																																																																																																																									
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度																																																																																																																																																									
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)																																																																																																																																																									
	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																																									
	水源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																									
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																																																																									
	補機監視機能	ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																																																									
	水源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																									
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																																																																																																											
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																											
b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)																																																																																																																																																											
(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																								
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																																																																								
	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位 (広域)	・ 蒸気発生器水位 (広域)																																																																																																																																																								
		蒸気発生器水位 (狭域)	・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																																																																																																								
		主給水ライン流量	・ 主給水ライン流量																																																																																																																																																								
		蒸気発生器水張り流量	・ 蒸気発生器水張り流量																																																																																																																																																								
	補助給水流量	・ 補助給水流量																																																																																																																																																									
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																																																																									
	操作	—	—																																																																																																																																																								
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																								
		最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 補助給水流量 ・ 復水器真空 (広域)																																																																																																																																																								
	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 総合幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D 母線電圧																																																																																																																																																									
	操作	—	—																																																																																																																																																								

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>監視計器一覧（22/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 574 716 1021"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(I) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧（26/61）</p> <table border="1" data-bbox="1388 598 2004 981"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型逆水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型逆水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																			
(I) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																			
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																
		原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 																																																
	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） 																																																
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																			
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																			
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																
		原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 																																																
	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 																																																
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 																																																
		操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型逆水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																					
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧 (23/48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 復水ビット水位計	電源	・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2母線電圧計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。		<p>監視計器一覧 (27/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.2(1) a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (28/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量 ・ 補助給水ビット水位	水源の確保	・ 復水ビット水位	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）	操作	1.4.2.2(1) a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	水源の確保	・ 補助給水ビット水位	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	<p style="text-align: center; color: red;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																								
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																					
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																					
	水源の確保	・ 復水ビット水位計																																																																						
	電源	・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2母線電圧計																																																																						
補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																						
	操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																								
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																					
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量 ・ 補助給水ビット水位																																																																					
	水源の確保	・ 復水ビット水位																																																																						
	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧																																																																						
補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																						
	操作	1.4.2.2(1) a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																						
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																								
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																					
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																																					
	水源の確保	・ 補助給水ビット水位																																																																						
	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧																																																																						
補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																						
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																						
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; vertical-align: top;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="5" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 		操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p style="text-align: center;">監視計器一覧（29/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系統即時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高範囲側） ・ 1次冷却材温度（広域-低範囲側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高範囲側） ・ 1次冷却材温度（広域-低範囲側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高範囲側） ・ 1次冷却材温度（広域-低範囲側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系統即時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高範囲側） ・ 1次冷却材温度（広域-低範囲側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高範囲側） ・ 1次冷却材温度（広域-低範囲側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高範囲側） ・ 1次冷却材温度（広域-低範囲側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																				
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																				
				最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 																																				
				水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 																																				
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																							
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																							
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																							
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系統即時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																									
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高範囲側） ・ 1次冷却材温度（広域-低範囲側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 																																							
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																							
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高範囲側） ・ 1次冷却材温度（広域-低範囲側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 																																							
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																							
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高範囲側） ・ 1次冷却材温度（広域-低範囲側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 																																							
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																							

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
<p>監視計器一覧（24/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 478 716 1125"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。				<p>監視計器一覧（30/61）</p> <table border="1" data-bbox="1388 510 1993 1109"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 最志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却液流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却液流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	電源	・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 最志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却液流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却液流量（AM用）	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																					
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																					
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																					
(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																		
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																		
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																		
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																		
		操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																																		
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																				
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																					
b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																					
(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																		
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																		
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																																		
		電源	・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 最志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																		
	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却液流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却液流量（AM用）																																																																		
		操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																																		

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																					
<p>監視計器一覧 (25/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="98 501 344 576">対応手段</th> <th data-bbox="344 501 479 576">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="479 501 719 576">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="98 576 719 600">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="98 600 719 624">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="98 624 315 1098" rowspan="6">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td data-bbox="315 624 479 699" rowspan="3">判断基準 原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="479 624 719 699"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 699 479 746">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="479 699 719 746"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 746 479 821">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td data-bbox="479 746 719 821"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 821 479 869">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="479 821 719 869"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 869 479 944">電源</td> <td data-bbox="479 869 719 944"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 944 479 1098">補機監視機能</td> <td data-bbox="479 944 719 1098"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 1098 479 1444">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="479 1098 719 1444"> 「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a. 「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a. 「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (31/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1386 523 1626 571">対応手段</th> <th data-bbox="1626 523 1760 571">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1760 523 1998 571">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1386 571 1998 595">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1386 595 1998 619">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1386 619 1626 1098" rowspan="10">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td data-bbox="1626 619 1760 667" rowspan="3">判断基準 原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="1760 619 1998 667"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 667 1760 715">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1760 667 1998 715"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 715 1760 762">原子炉圧力容器への注水量</td> <td data-bbox="1760 715 1998 762"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 762 1760 837" rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="1760 762 1998 810"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1760 810 1998 858"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 858 1760 933" rowspan="4">電源</td> <td data-bbox="1760 858 1998 906"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 933 1760 981" rowspan="3">補機監視機能</td> <td data-bbox="1760 933 1998 981"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1760 981 1998 1029"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1760 1029 1998 1098"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (緑用) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 1098 1760 1444">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="1760 1098 1998 1444"> 「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ電流 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (緑用) 	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																						
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																								
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																								
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																					
		原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 																																																					
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) 																																																						
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計 																																																						
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																						
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a. 「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																						
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																								
(2) サポート系故障時の対応手順																																																								
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) 																																																					
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 																																																					
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) 																																																						
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 																																																						
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 																																																						
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 																																																					
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ電流 																																																					
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (緑用) 																																																					
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																						

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (32/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td>・ 汽幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.2(1)a、(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(a) サポート系故障時の対応手順			d. 復旧			(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側）	・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	電源	・ 汽幹線1L電圧、2L電圧	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	操作	1.4.2.2(1)a、(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・泊は、女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																							
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																									
(a) サポート系故障時の対応手順																																									
d. 復旧																																									
(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側）																																							
		・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																							
		・ 炉心出口温度																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																							
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																							
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																							
	電源	・ 汽幹線1L電圧、2L電圧																																							
		・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																							
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																							
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																							
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																							
		・ 余熱除去ポンプ電流																																							
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																							
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																							
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量																																							
水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																								
	操作	1.4.2.2(1)a、(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																							

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																									
<p>監視計器一覧 (27/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) 蓄圧タンクによる炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系統機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	操作	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (13/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 低圧代替注水 (可動型) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (フロント停止中) 「前線熱除去機喪失」等</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系統故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			b. 低圧代替注水 (可動型) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (フロント停止中) 「前線熱除去機喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)		原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)		原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄量		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)	<p>監視計器一覧 (34/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 高圧注入ポンプによる原子炉压力容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系統故障時の対応手順			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる原子炉压力容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力	補機監視機能	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																										
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																												
(1) フロントライン系統機能喪失時の手順等																																																																																																																												
a. 炉心注水																																																																																																																												
(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計																																																																																																																									
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																									
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計																																																																																																																									
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																									
(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																									
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																									
	操作	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																									
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)																																																																																																																									
		手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																								
		1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																										
		(1) フロントライン系統故障時の対応手順																																																																																																																										
a. 低圧代替注水																																																																																																																												
b. 低圧代替注水 (可動型) による原子炉压力容器への注水																																																																																																																												
非常時操作手順書 (フロント停止中) 「前線熱除去機喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)																																																																																																																										
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																										
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																																																																										
	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)																																																																																																																										
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																										
	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄量																																																																																																																										
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																										
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																												
(1) フロントライン系統故障時の対応手順																																																																																																																												
a. 炉心注水																																																																																																																												
(b) 高圧注入ポンプによる原子炉压力容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																									
		原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量																																																																																																																									
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力																																																																																																																									
		補機監視機能	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																									
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																									
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																									
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																									
		補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																									
		<p>大阪 3 / 4号炉との比較対象なし</p>																																																																																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																														
<p>監視計器一覧（28 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) A格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計（CRT） ・ 蓄圧タンク圧力計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	(b) A格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉压力容器内の注水量	・ 蓄圧タンク水位計（CRT） ・ 蓄圧タンク圧力計（CRT）	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	操作	1.4.2.1(1)b.(a)と同様。		<p>監視計器一覧（14/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(c) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（プラント停止中） 「高熱除去機能喪失」等</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（設備別） 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉補機冷却水系系統流量（A系のみ） 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量（A系のみ）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(c) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書（プラント停止中） 「高熱除去機能喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）	非常時操作手順書（設備別） 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		最終ヒートシンクの確保	原子炉補機冷却水系系統流量（A系のみ） 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量（A系のみ）		水源の確保	圧力抑制室水位		原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）		原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）		原子炉压力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量		補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力抑制室水位	<p>監視計器一覧（35/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	(b) B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力	操作	1.4.2.1(1)b.(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																																																	
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																																	
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																	
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計																																																																																																																																														
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																														
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位計																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																																														
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																														
(b) A格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の注水量	・ 蓄圧タンク水位計（CRT） ・ 蓄圧タンク圧力計（CRT）																																																																																																																																														
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																														
	操作	1.4.2.1(1)b.(a)と同様。																																																																																																																																															
	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																																																														
	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																																
	(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																
	a. 低圧代替注水																																																																																																																																																
(c) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水																																																																																																																																																	
非常時操作手順書（プラント停止中） 「高熱除去機能喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）																																																																																																																																															
非常時操作手順書（設備別） 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																															
	最終ヒートシンクの確保	原子炉補機冷却水系系統流量（A系のみ） 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量（A系のみ）																																																																																																																																															
	水源の確保	圧力抑制室水位																																																																																																																																															
	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）																																																																																																																																															
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																																																															
	原子炉压力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量																																																																																																																																															
	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力																																																																																																																																															
	水源の確保	圧力抑制室水位																																																																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																																	
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																	
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																	
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																														
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																																														
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																														
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																														
		原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																																																														
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																																														
		補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																														
(b) B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																														
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																																														
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																														
	操作	1.4.2.1(1)b.(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																																															

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																				
<p>監視計器一覧 (29/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(D)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(D)b.(c)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計	操作	1.4.2.1(D)b.(b)と同様。		(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	操作	1.4.2.1(D)b.(c)と同様。		<p>監視計器一覧 (15/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (プラント停止中) 「前燃熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td></td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td>捕集機機能</td> <td></td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td></td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「前燃熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	操作	ろ過水タンク水位	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力容器への注水量		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)	捕集機機能		ろ過水ポンプ出口圧力	水源の確保		ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧 (36/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(c) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注入量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (A用)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注入量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(c) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器への注入量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (A用)	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位	操作	1.4.2.1(1)b.(b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器への注入量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	1.4.2.1(1)b.(c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																							
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																				
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計																																																																																																																				
		操作	1.4.2.1(D)b.(b)と同様。																																																																																																																				
(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																				
		水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																				
		操作	1.4.2.1(D)b.(c)と同様。																																																																																																																				
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																					
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																							
a. 低圧代替注水																																																																																																																							
(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水																																																																																																																							
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「前燃熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																																					
		電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																					
非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	操作	ろ過水タンク水位																																																																																																																					
		原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																																					
原子炉圧力容器への注水量		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																																					
捕集機機能		ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																					
水源の確保		ろ過水タンク水位																																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																							
(c) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																				
		原子炉圧力容器への注入量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (A用)																																																																																																																				
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位																																																																																																																				
		操作	1.4.2.1(1)b.(b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																				
(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																				
		原子炉圧力容器への注入量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																				
		水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																				
		操作	1.4.2.1(1)b.(c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																						
<p>監視計器一覧 (30/48)</p> <table border="1" data-bbox="100 367 716 446"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の注水量 ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.4.2.1(1)b.(d)と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計		(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計		原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)			原子炉圧力容器内の注水量 ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計			1.4.2.1(1)b.(d)と同様。		<p>監視計器一覧 (16/20)</p> <table border="1" data-bbox="739 494 1355 1069"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流上母線 2A 電圧 125V 直流上母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系系統流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)	非常時操作手順書 (設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度		電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流上母線 2A 電圧 125V 直流上母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		補機監視機能	原子炉補機冷却水系系統流量		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度		補機監視機能	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度	<p>監視計器一覧 (37/61)</p> <table border="1" data-bbox="1377 454 2004 1165"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.4.2.1(1)b.(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.4.2.1(1)b.(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.4.2.1(1)b.(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度		原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)			原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量			1.4.2.1(1)b.(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度		原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量			1.4.2.1(1)b.(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度		原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量			1.4.2.1(1)b.(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																								
(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計																																																																																								
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																								
	原子炉圧力容器内の注水量 ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																								
	1.4.2.1(1)b.(d)と同様。																																																																																								
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																							
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱																																																																																									
非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)																																																																																							
非常時操作手順書 (設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																																																							
	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流上母線 2A 電圧 125V 直流上母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																							
	補機監視機能	原子炉補機冷却水系系統流量																																																																																							
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)																																																																																							
	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																																																							
	補機監視機能	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度																																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水																																																																																									
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																								
	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																								
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																								
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量																																																																																								
	1.4.2.1(1)b.(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																								
(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																								
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																								
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量																																																																																								
	1.4.2.1(1)b.(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																								
(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																								
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																								
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量																																																																																								
	1.4.2.1(1)b.(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由
監視計器一覧 (31/48)						監視計器一覧 (38/61)			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 c. 再循環運転						1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 e. 再循環運転			
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）			
		原子炉圧力容器内の注水量	・余熱除去流量計		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・補機監視機能 ・余熱除去ポンプ吐出圧力計		原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量			
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・補機監視機能 ・高圧注入ポンプ吐出圧力計		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・燃料取替用水ベジット水位 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流			
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	操作	原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の注水量	・高圧注入流量計		原子炉圧力容器内の圧力	・加圧器水位 ・原子炉容器水位			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）		原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量			
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・補機監視機能 ・高圧注入ポンプ吐出圧力計		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・高圧注入ポンプ出口圧力			
		補機監視機能	・高圧注入ポンプ吐出圧力計		補機監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力			
監視計器一覧 (32/48)						d. 代替再循環運転			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				監視計器一覧 (38/61)			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転						1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 e. 再循環運転			
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）			
		原子炉圧力容器内の注水量	・余熱除去流量計		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・補機監視機能 ・余熱除去ポンプ吐出圧力計		原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量			
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・補機監視機能 ・高圧注入ポンプ吐出圧力計		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・高圧注入ポンプ出口圧力			
		補機監視機能	・高圧注入ポンプ吐出圧力計		補機監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力			
	操作	1.4.2.1(d)(a)と同様。	操作	1.4.2.1(d)(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」の操作手順と同様である。					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																				
<p>監視計器一覧（33/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 復水ピット水位計	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	—	—	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計	水源の確保	・ 脱気器タンク水位計（CRT）	操作	—	—		<p>監視計器一覧（39/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 機志幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	—	—	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	電源	・ 泊幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 機志幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧	水源の確保	・ 脱気器タンク水位	操作	—	—	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																							
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																							
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																				
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																					
	水源の確保	・ 復水ピット水位計																																																																																					
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																					
操作	—	—																																																																																					
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																				
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																					
	電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																					
	水源の確保	・ 脱気器タンク水位計（CRT）																																																																																					
操作	—	—																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																							
e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																							
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																				
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																					
	水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																																																					
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																					
操作	—	—																																																																																					
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																				
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																																																					
	電源	・ 泊幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 機志幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧																																																																																					
	水源の確保	・ 脱気器タンク水位																																																																																					
操作	—	—																																																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧(34/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.3 運転停止中の場合			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			
(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・主蒸気圧力計 ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT）
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 	
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。	
	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		
	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		
	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		

泊3号炉との比較対象なし

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧(40/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			
(1) フロントライン系故障時の対応手順			
e. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）			
(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域－高圧側） ・1次冷却材温度（広域－低圧側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域）
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・主蒸気ライン圧力 ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・補助給水ビット水位 	
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	
	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域－高圧側） ・1次冷却材温度（広域－低圧側）
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量
		操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。
	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域－高圧側） ・1次冷却材温度（広域－低圧側）
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域－高圧側） ・1次冷却材温度（広域－低圧側） 	
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 	
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	

【大飯】
設備の相違
(相違理由④)

【大飯】
設備の相違
(相違理由④)

【大飯】
設備の相違
(相違理由④)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																				
<p>監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載</p> <p>1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	判断基準	監視項目	監視計器	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計		・ 蒸気発生器水位計（広域）		・ 蒸気発生器水位計（狭域）		・ 蒸気発生器補助給水流量計		・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計		水源の確保	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計		操作	—	—		<p>監視計器一覧（41/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気速がし弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 主給水ライン流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水張り流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 復水器真空（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 前降線 1.7kV電圧、2.1kV電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 後降線 1.7kV電圧、2.1kV電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 6-C1、C2、D母線電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気速がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）		・ 蒸気発生器水位（狭域）		・ 補助給水流量		・ 主給水ライン流量		・ 蒸気発生器水張り流量		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流		操作	—	—	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 復水器真空（広域）	電源	・ 前降線 1.7kV電圧、2.1kV電圧		・ 後降線 1.7kV電圧、2.1kV電圧		・ 甲母線電圧、乙母線電圧		・ 6-C1、C2、D母線電圧		操作	—	—	
判断基準	監視項目	監視計器																																																																																					
原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																					
	・ 炉心出口温度計																																																																																						
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																						
原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																						
	・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																																						
	・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																																						
	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																						
	・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																																																						
最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																																						
	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																						
水源の確保	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																						
操作	—	—																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																																							
(a) 主蒸気速がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																				
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																				
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																																					
		・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																					
		・ 補助給水流量																																																																																					
		・ 主給水ライン流量																																																																																					
		・ 蒸気発生器水張り流量																																																																																					
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																					
	操作	—	—																																																																																				
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																				
		最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 復水器真空（広域）																																																																																				
	電源	・ 前降線 1.7kV電圧、2.1kV電圧																																																																																					
		・ 後降線 1.7kV電圧、2.1kV電圧																																																																																					
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																					
		・ 6-C1、C2、D母線電圧																																																																																					
	操作	—	—																																																																																				
	<p>監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧（35/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 復水器真空度計（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計		・ 蒸気発生器水位計（広域）		・ 蒸気発生器水位計（狭域）		・ 蒸気発生器補助給水流量計		・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）		蒸気発生器水張り流量計（CRT）	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）		・ 復水器真空度計（広域）		電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計		操作	—	—																																																		
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																				
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																																							
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																					
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																					
	・ 炉心出口温度計																																																																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																					
	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計																																																																																					
		・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																																					
		・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																																					
		・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																					
		・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																																																					
	蒸気発生器水張り流量計（CRT）	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																																					
・ 復水器真空度計（広域）																																																																																							
電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																						
操作	—	—																																																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																			
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="6" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </table>	g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 	原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p style="text-align: center;">監視計器一覧（42/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中に對ける対応手順 (1) フロントライン系統同時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力 ・余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中に對ける対応手順 (1) フロントライン系統同時の対応手順			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧注入流量 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力 ・余熱除去ポンプ電流 	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																	
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 																																	
		原子炉圧力容器内の注水量		<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 																																		
		操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） 																																		
			補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																		
	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																				
1.4.2.3 発電用原子炉停止中に對ける対応手順 (1) フロントライン系統同時の対応手順																																						
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度計 																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 																																				
	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧注入流量 																																				
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 																																				
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力 ・余熱除去ポンプ電流 																																				
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																				

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																									
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（43/61）</p> <table border="1" data-bbox="1379 507 2002 1129"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系統故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域・高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域・低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td>・ 炉幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 凝結管線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C、1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系統故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域・高温側）	・ 1次冷却材温度（広域・低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	電源	・ 炉幹線1L電圧、2L電圧	・ 凝結管線1L電圧、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C、1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量（AM用）	水源の確保	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	操作	・ 燃料取替用水ビット水位	・ 補助給水ビット水位	<p>【大飯】運用の相違（相違理由⑤）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																										
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																												
(2) サポート系統故障時の対応手順																																												
a. 代替炉心注水																																												
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域・高温側）																																										
		・ 1次冷却材温度（広域・低温側）																																										
		・ 炉心出口温度																																										
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																										
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																										
	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位																																										
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																										
	電源	・ 炉幹線1L電圧、2L電圧																																										
		・ 凝結管線1L電圧、2L電圧																																										
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																										
		・ 6-A、B、C、1、C2、D母線電圧																																										
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																										
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																										
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量																																										
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量（AM用）																																												
水源の確保	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																											
	・ 余熱除去ポンプ電流																																											
操作	・ 燃料取替用水ビット水位																																											
	・ 補助給水ビット水位																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																	
<p>監視計器一覧（36/48）</p> <table border="1" data-bbox="98 411 716 1185"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	操作	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計		<p>監視計器一覧（44/61）</p> <table border="1" data-bbox="1379 657 2002 991"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.3(1) b. (a)「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 燃料取替用水ピット水位	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	操作	1.4.2.3(1) b. (a)「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																				
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																				
a. 代替炉心注水																																																																				
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																	
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																	
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																	
	操作	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																	
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																
			原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																	
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																	
水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																				
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																				
a. 代替炉心注水																																																																				
(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																	
		原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 燃料取替用水ピット水位																																																																	
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																	
操作	1.4.2.3(1) b. (a)「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。																																																																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																															
<p>監視計器一覧（37 / 48）</p> <table border="1" data-bbox="100 494 716 1101"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 494 347 566">対応手段</th> <th data-bbox="347 494 481 566">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 494 716 566">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 566 716 598">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 598 716 622">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 622 716 646">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 646 313 1101" rowspan="7">(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水</td> <td data-bbox="313 646 347 1101" rowspan="7">判断基準</td> <td data-bbox="347 646 481 718">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 646 716 718"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 718 481 774">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 718 716 774">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 774 481 813">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="481 774 716 813">・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 813 481 845">水源の確保</td> <td data-bbox="481 813 716 845">・ 蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 845 481 893">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="481 845 716 893">・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 893 481 941">電源</td> <td data-bbox="481 893 716 941">・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 941 481 1037">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 941 716 1037"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 1037 347 1101">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="347 1037 716 1101">1.4.2.3(1)a.(c)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.3(1)a.(c)と同様。			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3 / 4号炉との比較対象なし</div>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																
1.4.2.3 運転停止中の場合																																		
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																		
a. 代替炉心注水																																		
(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																															
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																															
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																															
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）																															
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																															
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																															
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																															
操作	1.4.2.3(1)a.(c)と同様。																																	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉	相違理由			
監視計器一覧（38/48）								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器						
1.4.2.3 運転停止中の場合								
(2) サポート系機能喪失時の手順等								
a. 代替炉心注水								
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計		【大飯】 運用の相違（相違理由⑤）			
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計					
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計					
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）					
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計					
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）					
			・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）					
		操作	1.4.2.1(1)(b.⑤)と同様。					
		(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度		・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計		【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計							
原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）							
原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計							
水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計							
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）							
	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）							
操作	1.4.2.1(2)(a.⑤)と同様。							
大飯3/4号炉との比較対象なし								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由		
監視計器一覧 (39/48)											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器									
1.4.2.3 運転停止中の場合											
(2) サポート系機能喪失時の手順等											
a. 代替炉心注水											
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）								
		原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計								
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計								
		電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計								
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）								
		操作	1.4.2.1(2)a.(c)と同様。								
		監視計器一覧 (40/48)									
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器							
1.4.2.3 運転停止中の場合											
(2) サポート系機能喪失時の手順等											
a. 代替炉心注水											
(f) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）(RHS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）								
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量計								
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計								
		電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計								
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）								
		操作	1.4.2.1(2)a.(d)と同様。								
		監視計器一覧 (45/61)									
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器							
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順											
(2) サポート系故障時の対応手順											
a. 代替炉心注水											
(c) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位								
		原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量計								
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位								
		電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計								
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）								
		操作	1.4.2.1(2)a.(b)「B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。								
		(d) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）(RHS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度						
				原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）						
原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位										
原子炉圧力容器への注水量	・ 充てん流量計										
水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位										
電源	・ 1号幹線 1L電圧、2L電圧 ・ 2号幹線 1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧										
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（AW用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却後水流量計（AW用） ・ 充てんライン圧力										
操作	1.4.2.1(2)a.(c)「B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）(RHS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
<p style="background-color: yellow; text-align: center; font-weight: bold;">監視計器一覧(41/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧(41/48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="vertical-align: top;">(g) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ No. 2淡水タンク水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(g)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(g) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） 	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ No. 2淡水タンク水位計（CRT） 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	操作	1.4.2.1(1)b.(g)と同様。			<p>監視計器一覧(46/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ B-1格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消弁線1L電圧、2L電圧 ・ 液志弁線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ ろ過水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 	原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-1格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消弁線1L電圧、2L電圧 ・ 液志弁線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ ろ過水タンク水位 	操作	1.4.2.1(1)b.(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																					
(g) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																		
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） 																																																		
	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 																																																			
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ No. 2淡水タンク水位計（CRT） 																																																			
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																			
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																																			
操作	1.4.2.1(1)b.(g)と同様。																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																			
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																					
(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																		
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 																																																		
		原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-1格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 																																																		
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消弁線1L電圧、2L電圧 ・ 液志弁線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 																																																			
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 																																																			
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ ろ過水タンク水位 																																																			
	操作	1.4.2.1(1)b.(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

監視計器一覧(41/48)より抜粋して掲載

(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計
補機監視機能	操作	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）
		1.4.2.1(d)と同様。	

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧（47/61）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.3 発電用原子炉停止における対応手順 (2) サポート系統同時の対応手順 a. 代替炉心注水					
(f) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 		
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 		
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 		
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 		
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 油母線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 後志母線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 母-A、B、C1、C2、D母線電圧 		
	補機監視機能	操作	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 	
			1.4.2.1(f) b. (d)「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
	(g) 代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	
			原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 	
			原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 	
補機監視機能			操作	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）
				1.4.2.1(f) b. (e)「代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	

【大飯】
 設備の相違
 (相違理由③)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																		
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（48/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止可<small style="background-color: yellow;">における対応手順</small></td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">相違基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止可 <small style="background-color: yellow;">における対応手順</small>			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	相違基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	操作	1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																			
1.4.2.3 発電用原子炉停止可 <small style="background-color: yellow;">における対応手順</small>																					
(2) サポート系故障時の対応手順																					
a. 代替炉心注水																					
(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	相違基準	原子炉圧力容器内の温度																			
		原子炉圧力容器内の水位																			
	操作	1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧（42/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 513 716 1088"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">i. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	電源	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計 	操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。			<p>監視計器一覧（49/61）</p> <table border="1" data-bbox="1382 513 2000 1139"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">j. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 油幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 機志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲注線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機冷却</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） </td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） </td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)i.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			j. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 油幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 機志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲注線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 	補機冷却	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） 	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） 	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） 	操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																									
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																									
(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																									
i. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																						
	電源	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																						
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計 																																																																						
	操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																									
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																									
(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																									
j. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																						
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 油幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 機志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲注線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 																																																																						
	補機冷却	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） 																																																																						
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） 																																																																						
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） 																																																																						
		操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																						

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
<p>監視計器一覧（43/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 491 712 1104"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 491 347 566">対応手段</th> <th data-bbox="347 491 481 566">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 491 712 566">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 566 712 598">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 598 712 630">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 630 712 662">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 662 712 694">(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 694 313 1104" rowspan="7">i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="313 694 347 1104" rowspan="7">判断基準</td> <td data-bbox="347 694 481 742">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 694 712 742"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 742 481 790">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 742 712 790"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 790 481 821">原子炉压力容器内の水位</td> <td data-bbox="481 790 712 821"> <ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 821 481 885">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="481 821 712 885"> <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器再循環サンプ水位計（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 885 481 981">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 885 712 981"> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 981 481 1061">補機冷却</td> <td data-bbox="481 981 712 1061"> <ul style="list-style-type: none"> ・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1061 481 1104">操作</td> <td data-bbox="481 1061 712 1104">1.4.2.1(2)b.(b)lと同様。</td> <td data-bbox="481 1061 712 1104"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器再循環サンプ水位計（広域） 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計 	操作	1.4.2.1(2)b.(b)lと同様。			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>大飯3/4号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由⑥）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																	
1.4.2.3 運転停止中の場合																																			
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																			
b. 代替再循環運転																																			
(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																			
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 																																
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） 																																
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器再循環サンプ水位計（広域） 																																
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計 																																
		操作	1.4.2.1(2)b.(b)lと同様。																																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																	
<p>監視計器一覧（44/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 454 347 526">対応手段</th> <th data-bbox="347 454 481 526">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 454 716 526">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 526 716 614"> 1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 614 324 1141" rowspan="7"> ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転 </td> <td data-bbox="324 614 347 1141" rowspan="7"> 判断基準 </td> <td data-bbox="347 614 481 694"> 原子炉压力容器内の温度 </td> <td data-bbox="481 614 716 694"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 694 481 742"> 原子炉压力容器内の圧力 </td> <td data-bbox="481 694 716 742"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 742 481 790"> 原子炉压力容器内の水位 </td> <td data-bbox="481 742 716 790"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 790 481 837"> 原子炉格納容器内の水位 </td> <td data-bbox="481 790 716 837"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 837 481 885"> 原子炉压力容器内の注水量 </td> <td data-bbox="481 837 716 885"> <ul style="list-style-type: none"> ・ A 余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 885 481 1013"> 補機監視機能 </td> <td data-bbox="481 885 716 1013"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1013 481 1141"> 補機冷却 </td> <td data-bbox="481 1013 716 1141"> <ul style="list-style-type: none"> ・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 1093 481 1141"> 操作 </td> <td data-bbox="481 1093 716 1141"> 1.4.2.1(2)b.(a)i. と同様。 </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 余熱除去流量計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計 	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計 	操作	1.4.2.1(2)b.(a)i. と同様。				<p>監視計器一覧（50/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1388 494 1635 534">対応手段</th> <th data-bbox="1635 494 1769 534">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1769 494 2004 534">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1388 534 2004 606"> 1.4.2.3 発電用原子炉停止中（における対応手順） (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1388 606 1624 1141" rowspan="7"> i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 </td> <td data-bbox="1624 606 1646 1141" rowspan="7"> 判断基準 </td> <td data-bbox="1646 606 1769 662"> 原子炉压力容器内の温度 </td> <td data-bbox="1769 606 2004 662"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1646 662 1769 710"> 原子炉压力容器内の圧力 </td> <td data-bbox="1769 662 2004 710"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1646 710 1769 758"> 原子炉压力容器内の水位 </td> <td data-bbox="1769 710 2004 758"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1646 758 1769 837"> 原子炉格納容器内の水位 </td> <td data-bbox="1769 758 2004 837"> <ul style="list-style-type: none"> ・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1646 837 1769 1013"> 補機監視機能 </td> <td data-bbox="1769 837 2004 1013"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1646 1013 1769 1141"> 補機冷却 </td> <td data-bbox="1769 1013 2004 1141"> <ul style="list-style-type: none"> ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1646 1061 1769 1141"> 操作 </td> <td data-bbox="1769 1061 2004 1141"> 1.4.2.1(2) b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中（における対応手順） (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域） 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） 	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 	操作	1.4.2.1(2) b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																		
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																				
ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																	
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																	
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） 																																																	
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 																																																	
		原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 余熱除去流量計 																																																	
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																	
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計 																																																	
操作	1.4.2.1(2)b.(a)i. と同様。																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																		
1.4.2.3 発電用原子炉停止中（における対応手順） (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																				
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																	
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																	
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 																																																	
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域） 																																																	
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） 																																																	
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 																																																	
		操作	1.4.2.1(2) b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																													
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧 (45/48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計(広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の炉心出口温度計</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ピット水位計</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量計(CRT)</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域)	・ 1次冷却材低温側温度計(広域)	原子炉圧力容器内の炉心出口温度計	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 復水ピット水位計	・ 4-3(4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計	電源	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量計(CRT)	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量計(CRT)	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。			<p>監視計器一覧 (51/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度(広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度(広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AH用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量(AH用)</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (52/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度(広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度(広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位(広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AH用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量(AH用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)	・ 1次冷却材温度(広域-低温側)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	電源	・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AH用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量(AH用)	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	操作	1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)	・ 1次冷却材温度(広域-低温側)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位(狭域)	・ 蒸気発生器水位(広域)	・ 補助給水流量	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	電源	・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AH用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量(AH用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)																																																																																																
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域)																																																																																														
		・ 1次冷却材低温側温度計(広域)																																																																																														
	原子炉圧力容器内の炉心出口温度計	・ 炉心出口温度計																																																																																														
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																														
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																														
水源の確保	・ 復水ピット水位計	・ 4-3(4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計																																																																																														
電源	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量計(CRT)																																																																																														
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量計(CRT)	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																														
操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)																																																																																																
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)																																																																																														
		・ 1次冷却材温度(広域-低温側)																																																																																														
		・ 炉心出口温度																																																																																														
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																														
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																														
	水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																																																														
	電源	・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																														
		・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																														
		・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																														
		・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																														
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																															
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AH用)																																																																																															
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量																																																																																															
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量(AH用)																																																																																															
	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																															
・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																
操作	1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)																																																																																																
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)																																																																																														
		・ 1次冷却材温度(広域-低温側)																																																																																														
		・ 炉心出口温度																																																																																														
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																														
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位(狭域)																																																																																														
	・ 蒸気発生器水位(広域)																																																																																															
	・ 補助給水流量																																																																																															
	水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																																																														
	電源	・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																														
		・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																														
・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																																
・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																																
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																															
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AH用)																																																																																															
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量																																																																																															
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量(AH用)																																																																																															
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量																																																																																															
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																											
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" data-bbox="100 351 716 821"> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 加心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 加心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	操作	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。			<p style="text-align: center;">監視計器一覧（53/61）</p> <table border="1" data-bbox="1377 502 2004 1141"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 	(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 	(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 加心出口温度計 																																									
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																									
		最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 																																										
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 																																											
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																												
操作	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																												
	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																												
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																														
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 																																											
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																											
(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 																																											
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																											
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 																																											
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																											
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																												

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																										
<p>監視計器一覧（46/48）</p> <table border="1" data-bbox="96 475 716 1120"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>相機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	相機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。			<p>監視計器一覧（54/61）</p> <table border="1" data-bbox="1382 523 2002 1120"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 前幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">相機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(2)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量	電源	・ 前幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	相機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(2)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																											
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																													
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																													
d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																													
(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																										
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																										
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																										
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																										
	操作	相機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																										
		「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																											
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																									
		1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																											
		(2) サポート系故障時の対応手順																																																											
d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																													
(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																										
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量																																																										
		電源	・ 前幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																										
	相機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																										
		「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(2)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																											

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
<p>監視計器一覧（47/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="98 502 349 576">対応手段</th> <th data-bbox="349 502 479 576">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="479 502 716 576">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="98 576 716 624">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="98 624 716 639">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="98 639 315 1094" rowspan="7">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td data-bbox="315 639 349 1094" rowspan="7">判断基準</td> <td data-bbox="349 639 479 703">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="479 639 716 703"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 703 479 751">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="479 703 716 751"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 751 479 799">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td data-bbox="479 751 716 799"> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 799 479 847">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="479 799 716 847"> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 847 479 895">電源</td> <td data-bbox="479 847 716 895"> <ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 895 479 1023">補機監視機能</td> <td data-bbox="479 895 716 1023"> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1023 479 1094">操作</td> <td data-bbox="479 1023 716 1094"> <p>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 	原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 	操作	<p>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p>		<p>監視計器一覧（55/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1384 534 1626 576">対応手段</th> <th data-bbox="1626 534 1756 576">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1756 534 2002 576">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 576 2002 624">1.4.2.3 発電用原子炉停止中に¹⁾おこなふ対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 624 2002 639">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1384 639 1626 1062" rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td data-bbox="1626 639 1756 687" rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="1756 639 2002 655"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1756 655 2002 671"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1756 671 2002 687"> <ul style="list-style-type: none"> ・炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 687 1756 719">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1756 687 2002 719"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 719 1756 751">原子炉圧力容器への注水量</td> <td data-bbox="1756 719 2002 751"> <ul style="list-style-type: none"> ・低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 751 1756 799" rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="1756 751 2002 767"> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1756 767 2002 799"> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 799 1756 895" rowspan="4">電源</td> <td data-bbox="1756 799 2002 815"> <ul style="list-style-type: none"> ・泊幹線1L電圧、2L電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1756 815 2002 831"> <ul style="list-style-type: none"> ・機志幹線1L電圧、2L電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1756 831 2002 847"> <ul style="list-style-type: none"> ・甲母線電圧、乙母線電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1756 847 2002 863"> <ul style="list-style-type: none"> ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 895 1756 1062" rowspan="5">補機監視機能</td> <td data-bbox="1756 895 2002 911"> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1756 911 2002 927"> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1756 927 2002 943"> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1756 943 2002 959"> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1756 959 2002 975"> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力 ・余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 1062 1756 1110">操作</td> <td data-bbox="1756 1062 2002 1110"> <p>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中に ¹⁾ おこなふ対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-低温側） 	<ul style="list-style-type: none"> ・炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧注入流量 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） 	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・泊幹線1L電圧、2L電圧 	<ul style="list-style-type: none"> ・機志幹線1L電圧、2L電圧 	<ul style="list-style-type: none"> ・甲母線電圧、乙母線電圧 	<ul style="list-style-type: none"> ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力 ・余熱除去ポンプ電流 	操作	<p>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p>	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																												
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																														
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																														
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 																																																											
		原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 																																																											
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） 																																																											
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																											
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																											
		操作	<p>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p>																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																												
1.4.2.3 発電用原子炉停止中に ¹⁾ おこなふ対応手順																																																														
(2) サポート系故障時の対応手順																																																														
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） 																																																												
		<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																												
		<ul style="list-style-type: none"> ・炉心出口温度 																																																												
	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 																																																												
	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧注入流量 																																																												
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） 																																																												
		<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 																																																												
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・泊幹線1L電圧、2L電圧 																																																												
		<ul style="list-style-type: none"> ・機志幹線1L電圧、2L電圧 																																																												
		<ul style="list-style-type: none"> ・甲母線電圧、乙母線電圧 																																																												
<ul style="list-style-type: none"> ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 																																																														
補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量 																																																													
	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） 																																																													
	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 																																																													
	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 																																																													
	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力 ・余熱除去ポンプ電流 																																																													
操作	<p>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p>																																																													

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																					
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (17/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(9) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 復旧</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 (停止域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (定検時水取用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電源の確保</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> </tr> <tr> <td>6-20 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-20 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-20 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 (停止域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (定検時水取用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(9) サポート系故障時の対応手順			a. 復旧			(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (停止域)	原子炉水位 (定検時水取用)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	原子炉圧力容器温度	残留熱除去系熱交換器入口温度	電源の確保	原子炉補機冷却水系統流量	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	6-20 母線電圧	6-20 母線電圧	4-20 母線電圧	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (停止域)	原子炉水位 (定検時水取用)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度		残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)	<p>監視計器一覧 (56/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">相違基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 代替格納容器スレイボンプ出口積算への注水量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器内循環サンブ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料代替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 機志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2) a, (b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			1. 復旧			(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	相違基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ 代替格納容器スレイボンプ出口積算への注水量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内循環サンブ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料代替用水ビット水位	電源	・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 機志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)	操作	1.4.2.1(2) a, (b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																						
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																								
(9) サポート系故障時の対応手順																																																																																																								
a. 復旧																																																																																																								
(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱																																																																																																								
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																						
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																						
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																																						
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																						
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (停止域)																																																																																																						
		原子炉水位 (定検時水取用)																																																																																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力																																																																																																						
	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力 (SA)																																																																																																						
	補機監視機能	原子炉圧力容器温度																																																																																																						
残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																								
電源の確保	原子炉補機冷却水系統流量																																																																																																							
	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量																																																																																																							
	6-20 母線電圧																																																																																																							
	6-20 母線電圧																																																																																																							
	4-20 母線電圧																																																																																																							
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																							
	原子炉水位 (広帯域)																																																																																																							
	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																							
	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																							
	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																							
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (停止域)																																																																																																							
	原子炉水位 (定検時水取用)																																																																																																							
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力																																																																																																							
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力 (SA)																																																																																																							
補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)																																																																																																							
	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																																																																							
最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																							
	残留熱除去系熱交換器出口温度																																																																																																							
	残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)																																																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																						
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																								
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																								
1. 復旧																																																																																																								
(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	相違基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																						
		・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																						
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																						
		・ 炉心出口温度																																																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																						
	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																						
	原子炉格納容器内の水位	・ 代替格納容器スレイボンプ出口積算への注水量																																																																																																						
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内循環サンブ水位 (広域)																																																																																																						
	水源の確保	・ 燃料代替用水ビット水位																																																																																																						
電源	・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																																							
	・ 機志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																																							
	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																																							
	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																																							
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																							
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)																																																																																																							
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																																							
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)																																																																																																								
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)																																																																																																								
操作	1.4.2.1(2) a, (b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																							
		<p>監視計器一覧 (57/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">相違基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器内循環サンブ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 機志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2) b, (a) 1, 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			1. 復旧			(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	相違基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器内循環サンブ水位 (広域)	電源	・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 機志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM 用)	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)	操作	1.4.2.1(2) b, (a) 1, 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																						
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																								
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																								
1. 復旧																																																																																																								
(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	相違基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																						
		・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																						
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																						
		・ 炉心出口温度																																																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																						
	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																						
	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器内循環サンブ水位 (広域)																																																																																																						
	電源	・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																																						
		・ 機志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																																						
・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																																								
・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																																								
補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量																																																																																																							
	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM 用)																																																																																																							
	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																																																																							
	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)																																																																																																							
操作	1.4.2.1(2) b, (a) 1, 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																							

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（58/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">上、復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">相 関 基 準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線1 L電圧、2 L電圧 ・ 後志幹線1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			上、復旧			(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	相 関 基 準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 			原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 			原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 			電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線1 L電圧、2 L電圧 ・ 後志幹線1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 			補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） 			水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 			操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。	<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																											
1.4.2.3 発電用原子炉停止における対応手順																																													
(2) サポート系故障時の対応手順																																													
上、復旧																																													
(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	相 関 基 準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） ・ 炉心出口温度 																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																										
			原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																																									
			原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 																																									
			電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線1 L電圧、2 L電圧 ・ 後志幹線1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 																																									
			補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） 																																									
			水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 																																									
			操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																									

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由				
監視計器一覧 (48/48)						監視計器一覧 (59/61)							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器					
1.4.2.3 運転停止中の場合 (3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等						1.4.2.3 発電用原子炉停止中に於ける対応手順							
—	判断基準	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束計 ・中性子源領域起動率計 ・原子炉補給水補給流量積算制御器積算カウンタ			—	判断基準	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束 ・中性子源領域起動率 ・1次系純水補給ライン流量制御 ・1次系純水補給ライン流量積算制御				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次系冷却材圧力計					原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)				
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計 (CRT)					原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位				
		原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計					原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量				
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計					原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度				
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計					原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力 (AM用) ・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・格納容器ガスモニタ				
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器じんあいモニタ ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ					原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器じんあいモニタ ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ				
		信号	・停止時SR中性子束高退避警報作動警報					信号	・SR停止時中性子束高 (S31) 警報 ・SR停止時中性子束高 (S32) 警報				
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)					補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)				
		電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計					電源	・消灯線 1 L電圧、2 L電圧 ・復志線 1 L電圧、2 L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧				
		LOCAの監視	・格納容器サンブ水位計 ・格納容器サンブ水位増加率計					LOCAの監視	・格納容器サンブ水位 ・格納容器サンブ水位上昇率				
		操作	—	—				操作	—	—			
		—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。						—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p>監視計器一覧 (18/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狹帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源の確保</td> <td rowspan="4">原子炉補機冷却水系系統流量</td> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td rowspan="4">圧力抑制室水位</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td rowspan="2">原子炉水位 (狹帯域)</td> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">原子炉圧力 (SA)</td> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (19/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狹帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源の確保</td> <td rowspan="4">原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ)</td> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td rowspan="4">圧力抑制室水位</td> <td>原子炉水位 (狹帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">原子炉圧力 (SA)</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狹帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量	6-2C 母線電圧	6-2D 母線電圧	4-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	水源の確保	圧力抑制室水位	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狹帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量		補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力抑制室水位		手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狹帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ)	6-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	水源の確保	圧力抑制室水位	原子炉水位 (狹帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量		補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力抑制室水位		<p>監視計器一覧 (60/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)と、(2)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順			(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	操作	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器への注水量	水源の確保	補機監視機能	(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	操作	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器への注水量	水源の確保	補機監視機能	(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	水源の確保	操作	1.4.2.1(1)と、(2)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																								
1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																										
非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狹帯域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																								
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																								
電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量	6-2C 母線電圧																																																																																																																								
		6-2D 母線電圧																																																																																																																								
		4-2C 母線電圧																																																																																																																								
		4-2D 母線電圧																																																																																																																								
水源の確保	圧力抑制室水位	125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																								
		125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																																																								
		125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																								
		125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																								
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狹帯域)	原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																								
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA)	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																								
原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量																																																																																																																									
補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力																																																																																																																									
水源の確保	圧力抑制室水位																																																																																																																									
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																								
1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																										
非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狹帯域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																								
非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																								
電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ)	6-2C 母線電圧																																																																																																																								
		4-2C 母線電圧																																																																																																																								
		125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																								
		125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																								
水源の確保	圧力抑制室水位	原子炉水位 (狹帯域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																								
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA)	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																								
		原子炉圧力 (SA)																																																																																																																								
原子炉圧力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量																																																																																																																									
補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力																																																																																																																									
水源の確保	圧力抑制室水位																																																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																								
1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																																																																																										
(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号																																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力																																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力																																																																																																																								
	操作	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																								
		原子炉圧力容器への注水量																																																																																																																								
		水源の確保																																																																																																																								
		補機監視機能																																																																																																																								
(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号																																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力																																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力																																																																																																																								
	操作	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																								
		原子炉圧力容器への注水量																																																																																																																								
		水源の確保																																																																																																																								
		補機監視機能																																																																																																																								
(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	水源の確保																																																																																																																								
	操作	1.4.2.1(1)と、(2)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																						
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (20/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (数値ベース) 「減圧冷却」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> </tr> <tr> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>6-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (数値ベース) 「減圧冷却」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (停止域)	補機監視機能	補機監視機能	原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力	電源の確保	補機監視機能	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器温度	操作	原子炉圧力容器内の水位	残留熱除去系熱交換器入口温度	原子炉補機冷却水系統流量	最終ヒートシンクの確保	補機監視機能	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	6-2C 母線電圧			6-2D 母線電圧			4-2C 母線電圧			4-2D 母線電圧			125V 直流主母線 2A 電圧			125V 直流主母線 2B 電圧			125V 直流主母線 2A-1 電圧			125V 直流主母線 2B-1 電圧	<p>監視計器一覧 (61/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>補機監視機能</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順			(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	判断基準	水源の確保	原子炉圧力容器内の温度	操作	補機監視機能	水源の確保	原子炉圧力容器内の圧力	(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	補機監視機能	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の温度			原子炉圧力容器への注水量			水源の確保			補機監視機能	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																							
1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱																																																																																									
非常時操作手順書 (数値ベース) 「減圧冷却」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																							
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																							
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)																																																																																							
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																							
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																							
		原子炉水位 (停止域)																																																																																							
補機監視機能	補機監視機能	原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																							
		原子炉圧力																																																																																							
電源の確保	補機監視機能	原子炉圧力 (SA)																																																																																							
		原子炉圧力容器温度																																																																																							
操作	原子炉圧力容器内の水位	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																							
		原子炉補機冷却水系統流量																																																																																							
最終ヒートシンクの確保	補機監視機能	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量																																																																																							
		6-2C 母線電圧																																																																																							
		6-2D 母線電圧																																																																																							
		4-2C 母線電圧																																																																																							
		4-2D 母線電圧																																																																																							
		125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																							
		125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																							
		125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																							
		125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																																																									
(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	判断基準	水源の確保																																																																																							
		原子炉圧力容器内の温度																																																																																							
操作	補機監視機能	水源の確保																																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																							
(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																							
		原子炉圧力容器内の温度																																																																																							
補機監視機能	操作	原子炉圧力容器内の水位																																																																																							
		原子炉圧力容器内の温度																																																																																							
		原子炉圧力容器への注水量																																																																																							
		水源の確保																																																																																							
		補機監視機能																																																																																							

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第1.4.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	給電元
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	A格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B格納容器スプレイポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置
	A格納容器スプレイポンプ再循環サンパ側入口格納容器隔離弁	A1原子炉コントロールセンタ
	A充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B充てんポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B電動補助給水ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤
	B主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤
	C主蒸気逃がし弁	B1ソレノイド分電盤
	D主蒸気逃がし弁	B1ソレノイド分電盤

第1.4-3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	供給元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	復水移送ポンプ 補給水系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系 非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2G系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
		可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
	燃料プール補給水系 弁	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
		可機型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
	直流駆動低圧注水系ポンプ	所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
		常設代替交流電源設備	250V 直流主母線
	直流駆動低圧注水系 弁	可機型代替交流電源設備	250V 直流主母線
		常設代替交流電源設備	250V 直流主母線
	残留熱除去系ポンプ	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
		可機型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
	残留熱除去系 弁	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
		可機型代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系 非常用高圧母線 2D系 非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系 非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
	代替循環冷却ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系
		可機型代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系
低圧炉心スプレイ系ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系	
	可機型代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系	
原子炉再循環系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系	
	可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系	
計測用電源*	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系	
	可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系	
	所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2A 125V 直流主母線 2B	

※：供給負荷は監視計器

第1.4.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備 (1/2)

対象条文	供給対象設備	給電元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	化学体積制御設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
	原子炉格納容器スプレイ設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A非常用高圧母線 A2-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A2-原子炉コントロールセンタ A1-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
	残留熱除去設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ A-直流母線 B-直流母線

【大阪】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
		<p>第1.4.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備（2/2）</p> <table border="1" data-bbox="1377 223 2004 654"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象全文</th> <th rowspan="2">供給対象設備</th> <th colspan="2">給電元</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>母線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</td> <td rowspan="5">2次冷却設備（補助給水設備）ポンプ・弁</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>B-1A非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B-1B非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>B-1A非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B-1B非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>管内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>A-1直流母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2次冷却設備（主蒸気設備）弁</td> <td>管内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>A-1直流母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B-1直流母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ電源系統</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ電源系統</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ電源系統</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">非常用電源*</td> <td rowspan="5">非常用交流電源設備 管内常設蓄電式直流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>代替管内電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ電源系統</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A2-1非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B2-1非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C2-1非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td></td> <td>D2-1非常用交流分電盤</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：供給母線は従来仕様</p>	対象全文	供給対象設備	給電元		設備	母線	【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2次冷却設備（補助給水設備）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-1A非常用高圧母線		B-1B非常用高圧母線	常設代替交流電源設備	B-1A非常用高圧母線		B-1B非常用高圧母線	管内常設蓄電式直流電源設備	A-1直流母線	2次冷却設備（主蒸気設備）弁	管内常設蓄電式直流電源設備	A-1直流母線		B-1直流母線	代替格納容器スプレイポンプ	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統	常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統	可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統	非常用電源*	非常用交流電源設備 管内常設蓄電式直流電源設備 常設代替交流電源設備	代替管内電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統		A2-1非常用交流分電盤		B2-1非常用交流分電盤		C2-1非常用交流分電盤		D2-1非常用交流分電盤	
対象全文	供給対象設備	給電元																																											
		設備	母線																																										
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2次冷却設備（補助給水設備）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-1A非常用高圧母線																																										
			B-1B非常用高圧母線																																										
		常設代替交流電源設備	B-1A非常用高圧母線																																										
			B-1B非常用高圧母線																																										
		管内常設蓄電式直流電源設備	A-1直流母線																																										
	2次冷却設備（主蒸気設備）弁	管内常設蓄電式直流電源設備	A-1直流母線																																										
			B-1直流母線																																										
	代替格納容器スプレイポンプ	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統																																										
		常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統																																										
		可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統																																										
	非常用電源*	非常用交流電源設備 管内常設蓄電式直流電源設備 常設代替交流電源設備	代替管内電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統																																									
				A2-1非常用交流分電盤																																									
				B2-1非常用交流分電盤																																									
				C2-1非常用交流分電盤																																									
				D2-1非常用交流分電盤																																									

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

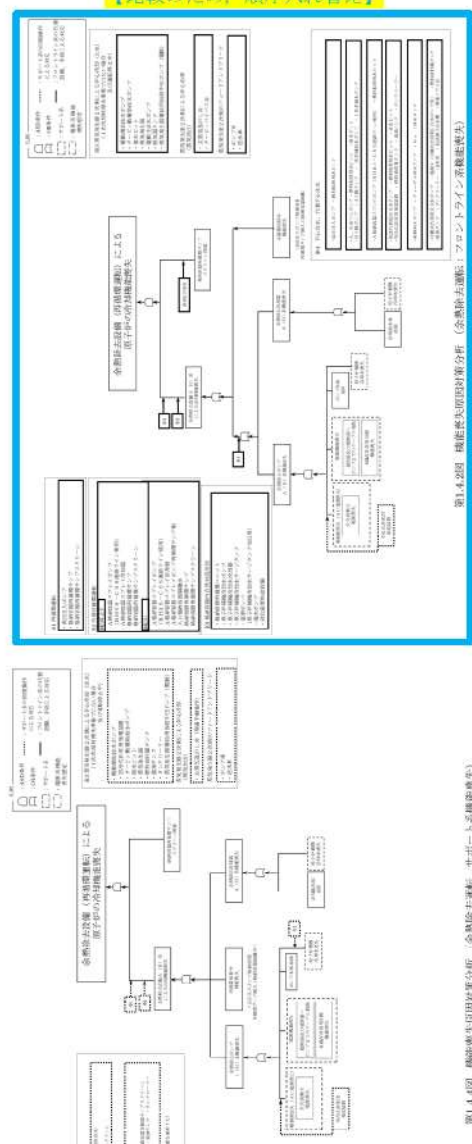

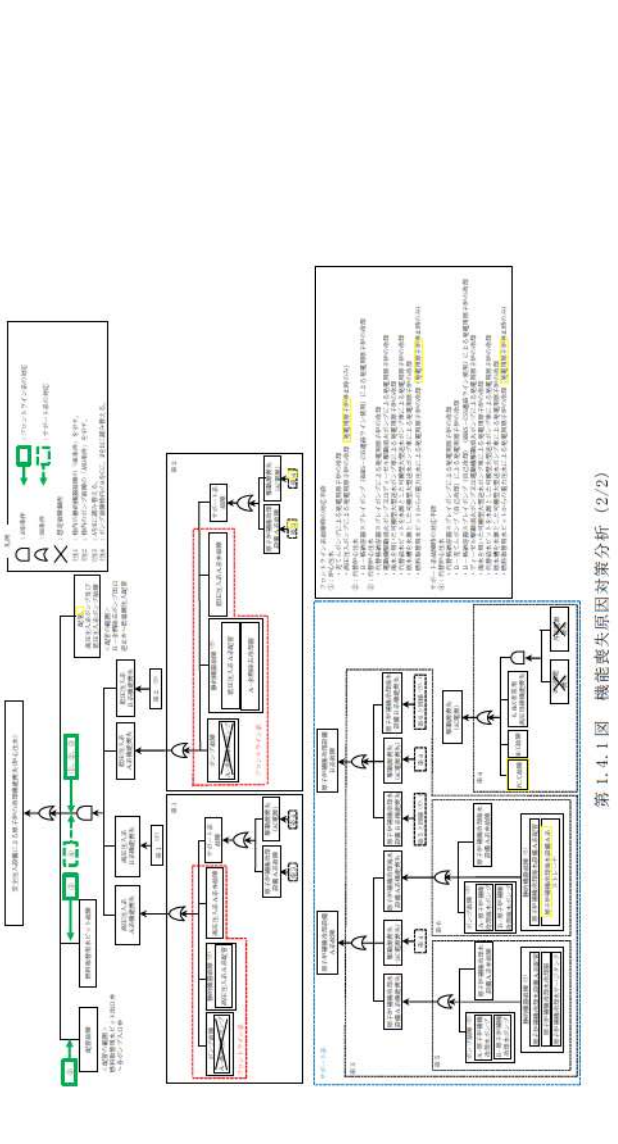
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第14.1.1図 機能喪失原因対策分析（炉心注水：フロントライン系機能喪失）</p> <p>【比較のため、順序入れ替え】</p> <p>第14.2.3図 機能喪失原因対策分析（炉心注水：中央系機能喪失）</p>	<p>第14.1.2図 機能喪失原因対策分析</p>	<p>第14.1-1図 機能喪失原因対策分析</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・フロントライン系の故障等を赤点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。 ・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。 ・故障想定箇所を×印で記載。 ・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため、順序入れ替え】</p>  <p>図1.4.42 機能喪失原因対策分析（サポート系機能喪失）</p> <p>図1.4.43 機能喪失原因対策分析（余熱除去機能）</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>  <p>図1.4.42 機能喪失原因対策分析（サポート系機能喪失）</p> <p>図1.4.43 機能喪失原因対策分析（余熱除去機能）</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>図1.4.42 機能喪失原因対策分析（サポート系機能喪失）</p> <p>図1.4.43 機能喪失原因対策分析（余熱除去機能）</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロントライン系の故障等を赤点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。 ・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。 ・故障想定箇所を×印で記載。 ・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="743 316 1357 943" style="border: 1px solid black; height: 393px; width: 274px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="757 967 1341 991">第 1.4-2 図 非常時操作手順書（巻戻ベース）「水位確保」における対応フロー</p> <div data-bbox="943 1241 1357 1265" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1469 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川 2号炉との比較対象なし </div>	<p data-bbox="2024 667 2170 890">【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 （大飯と同様）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="743 316 1357 922" style="border: 1px solid black; height: 380px; width: 100%;"></div> <p data-bbox="757 954 1344 973">第1.4-3図 非常時操作手順書（撤換ベース）「減圧冷却」における対応フロー</p> <div data-bbox="943 1241 1357 1267" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1469 743 1912 785" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2027 667 2168 890">【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 (大飯と同様)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="741 323 1350 1062" style="border: 1px solid black; height: 463px; width: 272px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="757 1091 1335 1114">第1.4-4図 非常時操作手順書（徴候ベース）「水位回復」における対応フロー</p> <div data-bbox="938 1236 1350 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 184px;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 196px; margin: 0 auto;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2024 667 2085 689">【女川】</p> <p data-bbox="2024 699 2145 721">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="2024 727 2168 890" style="list-style-type: none"> ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="741 320 1357 1118" style="border: 1px solid black; height: 500px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="779 1145 1317 1187" style="text-align: center;"> 第1.4-5図 非常時操作手順書（プラント停止中）「崩壊熱除去機能喪失」における対応フロー </div> <div data-bbox="943 1246 1357 1270" style="border: 1px solid black; text-align: center; margin-top: 10px;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="2024 667 2172 890" style="color: blue;"> 【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 （大飯と同様） </div>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="748 376 1357 1139" style="border: 1px solid black; height: 478px; width: 272px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="786 1166 1308 1214" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 第 1.4-6 図 非常時操作手順書（プラント停止中）「原子炉冷却材喪失」における対応フロー </div>	<div data-bbox="1469 743 1912 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川 2号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="2024 667 2172 890" style="font-size: small;"> <p>【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 （大飯と同様）</p> </div>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

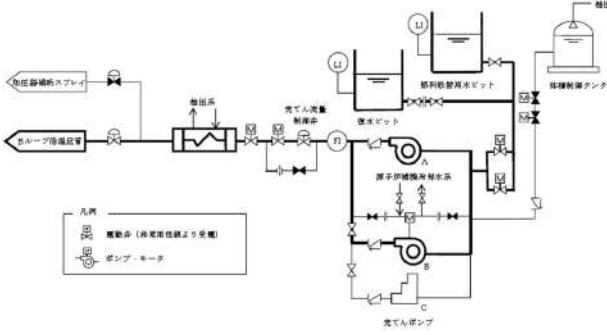
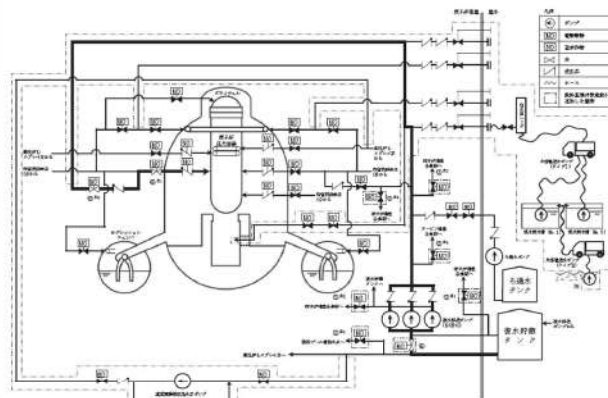
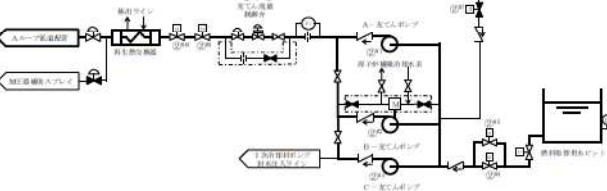
大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="757 325 1361 868" style="border: 1px solid black; height: 340px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="779 896 1330 943" style="text-align: center;"> 第 1.4-7 図 非常時操作手順書（シビアアクシデント）「注水ストラテジー4」における対応フロー </div> <div data-bbox="954 1238 1361 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 20px; text-align: center;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川 2号炉との比較対象なし </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
 <p>第1.4.5図 充てんポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-8図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉压力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="851 909 1265 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>CRD 復水入口弁</td> </tr> <tr> <td>②#1</td> <td>MRBC サプリング取出止め弁</td> </tr> <tr> <td>③#1</td> <td>FRBW ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>④#1</td> <td>T/B 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#1</td> <td>R/B R1F 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#1</td> <td>R/B R2F 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑧#1</td> <td>R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑨#1</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-8図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉压力容器への注水 概要図（2/3）</p>	操作手順	弁名称	①#1	CRD 復水入口弁	②#1	MRBC サプリング取出止め弁	③#1	FRBW ポンプ吸込弁	④#1	T/B 緊急閉鎖弁	⑤#1	R/B R1F 緊急閉鎖弁	⑥#1	R/B R2F 緊急閉鎖弁	⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁	⑧#1	R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁	⑨#1	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.2図 充てんポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 965 1960 1181"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>A-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>②#1</td> <td>B-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>③#1</td> <td>C-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>④#1</td> <td>充てんポンプ入口燃料取扱用水ビット投入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤#1</td> <td>充てんポンプ入口燃料取扱用水ビット投入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥#1</td> <td>体積制御タンク出口第1止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦#1</td> <td>体積制御タンク出口第2止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑧#1</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>調整開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨#1</td> <td>充てんラインC3外側止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩#1</td> <td>充てんラインC4外側閉鎖弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#1	A-充てんポンプ	起動確認	②#1	B-充てんポンプ	起動確認	③#1	C-充てんポンプ	起動確認	④#1	充てんポンプ入口燃料取扱用水ビット投入口弁A	全閉→全開	⑤#1	充てんポンプ入口燃料取扱用水ビット投入口弁B	全閉→全開	⑥#1	体積制御タンク出口第1止め弁	全開→全閉	⑦#1	体積制御タンク出口第2止め弁	全開→全閉	⑧#1	充てん流量制御弁	調整開→全開	⑨#1	充てんラインC3外側止め弁	全閉→全開	⑩#1	充てんラインC4外側閉鎖弁	全閉→全開	⑪	充てん流量制御弁	全開→調整開	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	弁名称																																																										
①#1	CRD 復水入口弁																																																										
②#1	MRBC サプリング取出止め弁																																																										
③#1	FRBW ポンプ吸込弁																																																										
④#1	T/B 緊急閉鎖弁																																																										
⑤#1	R/B R1F 緊急閉鎖弁																																																										
⑥#1	R/B R2F 緊急閉鎖弁																																																										
⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																										
⑧#1	R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁																																																										
⑨#1	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																										
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																									
①#1	A-充てんポンプ	起動確認																																																									
②#1	B-充てんポンプ	起動確認																																																									
③#1	C-充てんポンプ	起動確認																																																									
④#1	充てんポンプ入口燃料取扱用水ビット投入口弁A	全閉→全開																																																									
⑤#1	充てんポンプ入口燃料取扱用水ビット投入口弁B	全閉→全開																																																									
⑥#1	体積制御タンク出口第1止め弁	全開→全閉																																																									
⑦#1	体積制御タンク出口第2止め弁	全開→全閉																																																									
⑧#1	充てん流量制御弁	調整開→全開																																																									
⑨#1	充てんラインC3外側止め弁	全閉→全開																																																									
⑩#1	充てんラインC4外側閉鎖弁	全閉→全開																																																									
⑪	充てん流量制御弁	全開→調整開																																																									

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

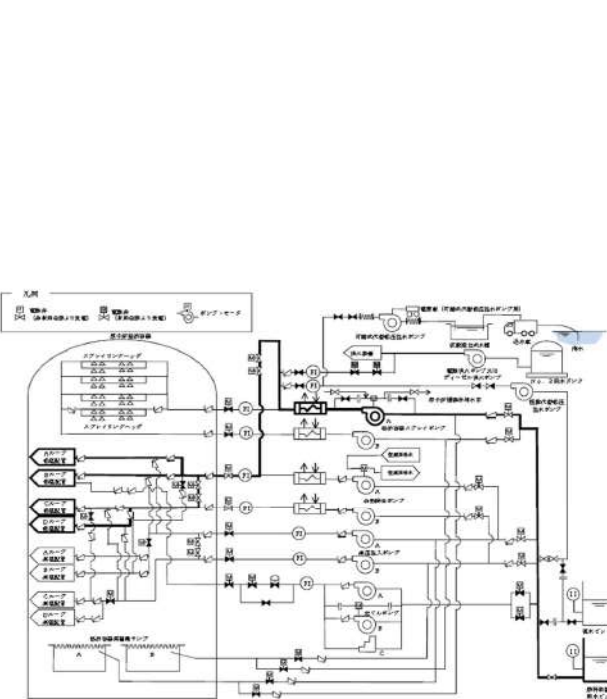
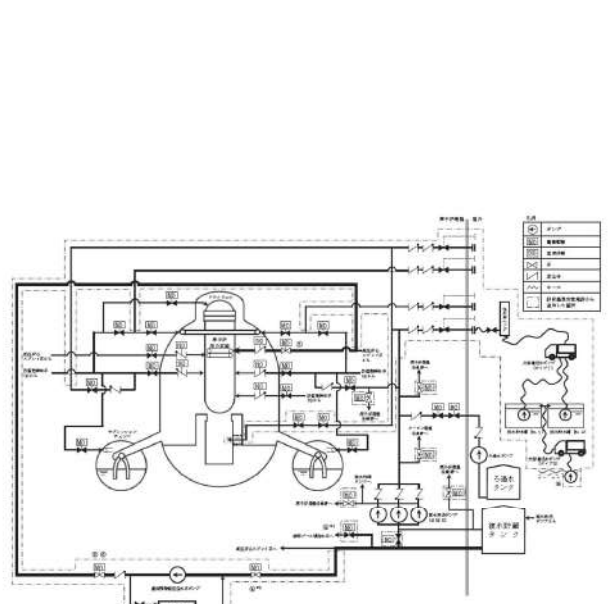
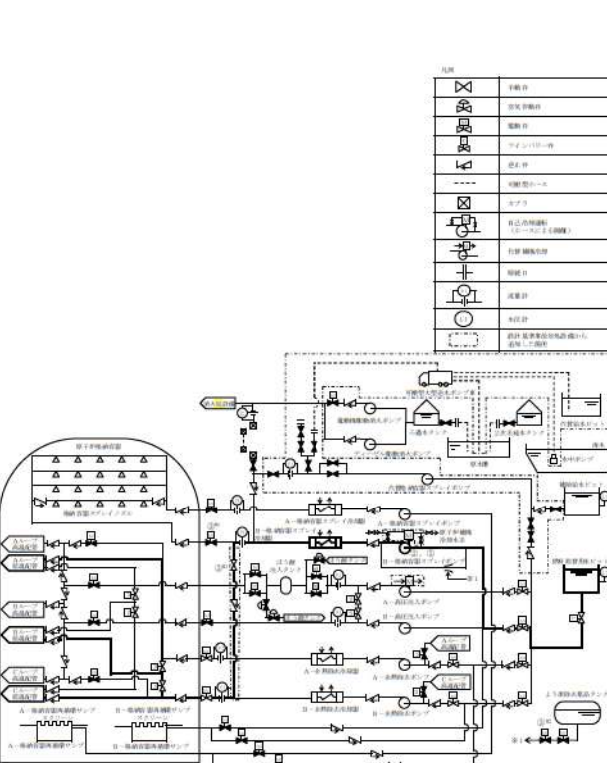
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">第 1.4-9 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な滞在時間 ※2：機器の動作時間及び輸送時間に余裕を足した時間</p>		<p>【女川】 設備の相違(BWR 固有の対応手段)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
 <p>第1.4.6図 A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉压力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="862 957 1243 1053"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>注名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>RPCS注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>控水ポンプ遮断弁</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>DCIポンプ後込弁</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>DCI注入流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨があることを示す。</p> <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉压力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	注名称	①	RPCS注入隔離弁	②	控水ポンプ遮断弁	③	DCIポンプ後込弁	④	DCI注入流量調整弁	 <p>第1.4.3図 B格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 1061 1971 1173"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②</td> <td>B格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>B格納容器スプレイ冷却器出口CV外側隔離弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>よう素除去装置タンク注入ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>B-全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>B格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	②	B格納容器スプレイポンプ	起動→停止	③	B格納容器スプレイ冷却器出口CV外側隔離弁	全開確認	④	よう素除去装置タンク注入ライン止め弁	全開→全閉	⑤	B-全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉	⑥	B格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	注名称																														
①	RPCS注入隔離弁																														
②	控水ポンプ遮断弁																														
③	DCIポンプ後込弁																														
④	DCI注入流量調整弁																														
操作手順	操作対象機器	状態の変化																													
②	B格納容器スプレイポンプ	起動→停止																													
③	B格納容器スプレイ冷却器出口CV外側隔離弁	全開確認																													
④	よう素除去装置タンク注入ライン止め弁	全開→全閉																													
⑤	B-全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉																													
⑥	B格納容器スプレイポンプ	停止→起動																													

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

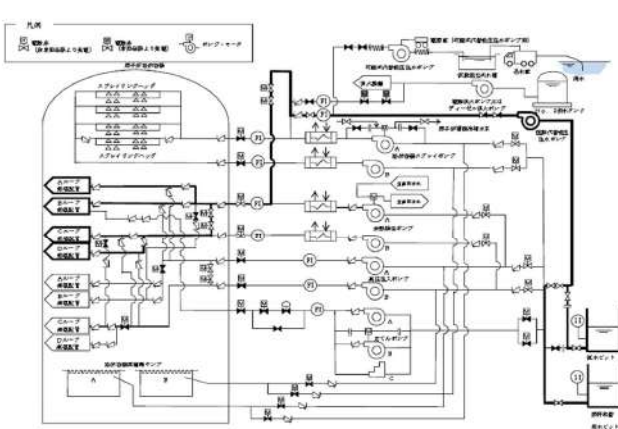
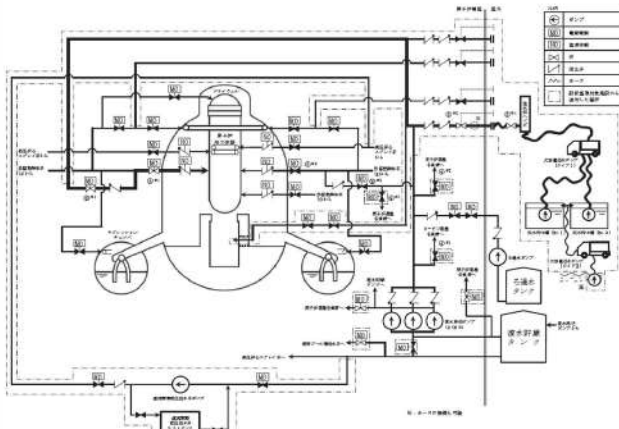
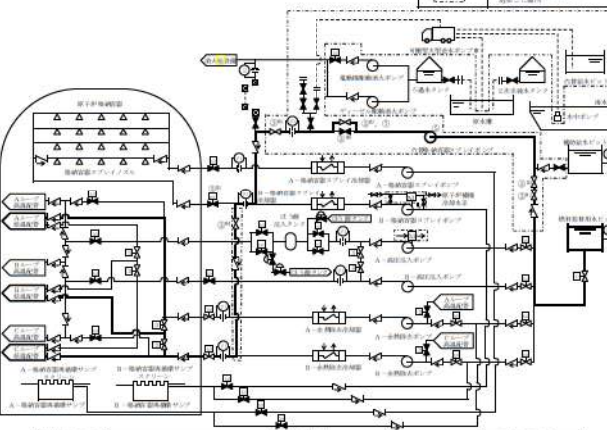
大阪発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由		
<p>経過時間 (分)</p> <p>5 10 15 20 25 30 35 40 45</p> <p>7分20分A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水開始</p> <p>系統構成</p> <p>ポンプ起動確認</p> <p>原子炉への注水確認</p> <p>移動</p> <p>RHRS-CSS連絡ライン弁電源入</p>	<p>要員 (数)</p> <p>運転員等 (中央制御室) 1</p> <p>運転員等 (現場) 1</p>	<p>経過時間 (分)</p> <p>10 20 30 40 50 60 70</p> <p>35分 原子炉圧力容器への注水</p> <p>電源確認^{※1}</p> <p>系統構成、ポンプ起動^{※2}</p> <p>島内移動、系統構成^{※3}</p>	<p>要員 (数)</p> <p>運転員 (中央制御室) A 1</p> <p>運転員 (現場) B, C 2</p>	<p>経過時間 (分)</p> <p>10 20 30</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水開始 25分</p> <p>系統構成^{※1}</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ起動^{※2}</p> <p>移動、系統構成、RHRS-CSS連絡ライン弁電源操作^{※3}</p>	<p>要員 (数)</p> <p>運転員 (中央制御室) A 1</p> <p>運転員 (現場) B 1</p>	<p>備考</p> <p>②</p> <p>④、⑤、⑩</p> <p>③</p>	<p>備考</p> <p>②③</p> <p>⑤</p> <p>④</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 設備の相違 (BWR固有の対応手段)</p>
<p>※ 現業移動時間には防振装置着脱時間を含む。</p> <p>第1.4.7図 A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水 タイムチャート</p>		<p>第1.4-11図 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な測定時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※3：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p>		<p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間 ※3：機器の操作時間に見込んだ時間</p>		<p>第1.4.4図 B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水 タイムチャート</p>		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
 <p>図 1.4.4 図 運転代替格納水ポンプによる代替炉心注水 概略図</p>	 <p>第 1.4-12 図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="806 877 1299 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④ #1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④ #2</td> <td>R/B BIF 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④ #3</td> <td>R/B IF 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #2</td> <td>R/R B系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥ #1</td> <td>原子炉・格納容器下部注水井</td> </tr> <tr> <td>⑥ #2</td> <td>緊急時原子炉室側外部注水入口弁</td> </tr> <tr> <td>⑩ #1</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑩ #2</td> <td>R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-12 図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	④ #1	T/B 緊急時隔離弁	④ #2	R/B BIF 緊急時隔離弁	④ #3	R/B IF 緊急時隔離弁	⑤ #1	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ #2	R/R B系 LPCI 注入隔離弁	⑥ #1	原子炉・格納容器下部注水井	⑥ #2	緊急時原子炉室側外部注水入口弁	⑩ #1	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	⑩ #2	R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4.5 図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 1037 1971 1197"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① #1</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ出口C/A外側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #1</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>② #2</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③ #1</td> <td>B-全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③ #2</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④ #1</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④ #2</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁</td> <td>全開→調整</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁</td> <td>調整</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① #1	B-格納容器スプレイポンプ出口C/A外側隔離弁	全閉→全開	② #1	代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁	全開→全閉	② #2	代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁	全開→全閉	③ #1	B-全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉	③ #2	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全閉	④ #1	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全開→全閉	④ #2	代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁	全開→調整	⑤	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	⑥	代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁	調整	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	弁名称																																																				
④ #1	T/B 緊急時隔離弁																																																				
④ #2	R/B BIF 緊急時隔離弁																																																				
④ #3	R/B IF 緊急時隔離弁																																																				
⑤ #1	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																																				
⑤ #2	R/R B系 LPCI 注入隔離弁																																																				
⑥ #1	原子炉・格納容器下部注水井																																																				
⑥ #2	緊急時原子炉室側外部注水入口弁																																																				
⑩ #1	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																				
⑩ #2	R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁																																																				
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																			
① #1	B-格納容器スプレイポンプ出口C/A外側隔離弁	全閉→全開																																																			
② #1	代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁	全開→全閉																																																			
② #2	代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁	全開→全閉																																																			
③ #1	B-全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉																																																			
③ #2	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全閉																																																			
④ #1	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全開→全閉																																																			
④ #2	代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁	全開→調整																																																			
⑤	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																																			
⑥	代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁	調整																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第1.4-13図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>第1.4-14図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4-13図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>第1.4-14図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>フロントライン系故障時</p> <p>サポート系故障時</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 設備の相違 (相違理由②)</p>
<p>第1.4-13図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>第1.4-14図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4-13図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>第1.4-14図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4.6図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 タイムチャート</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 設備の相違 (相違理由②)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

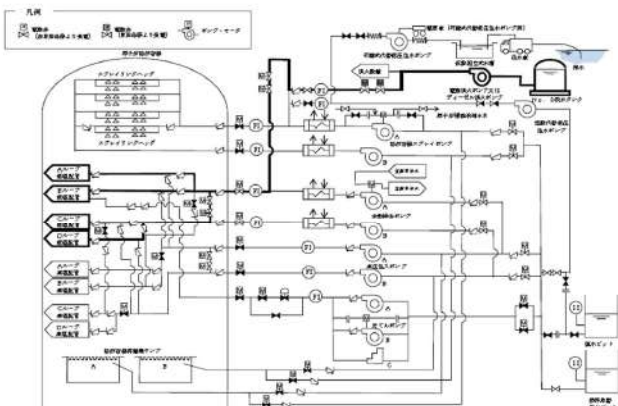
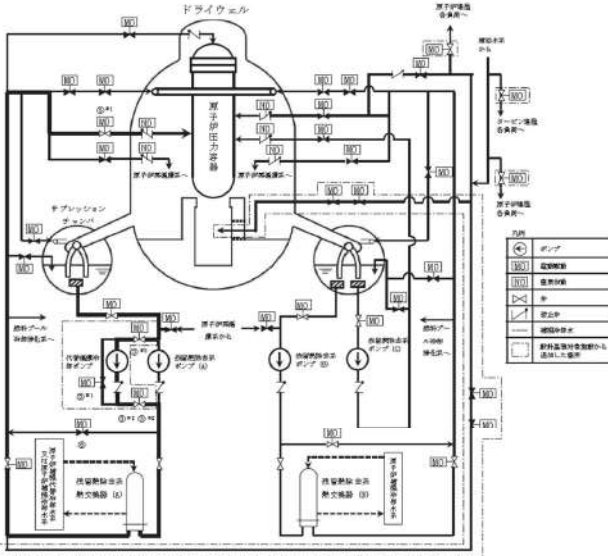
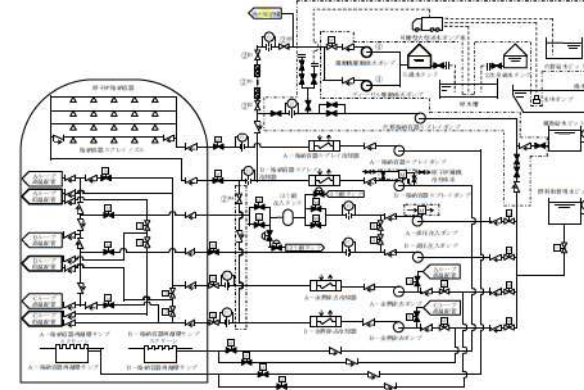
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div style="text-align: center;"> <p>第 1.4.7 図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水 (原子炉格納容器注水から原子炉格納容器への注水切替え) タイムチャート</p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由①)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
 <p>図 1.4.10 図 電動機駆動ポンプ又はディーゼル機駆動ポンプによる代替伊心注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4-16 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="772 981 1332 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ #1</td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>③ #1 ⑤ #2</td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>③ #3</td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-16 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③ #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁	③ #1 ⑤ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	③ #3	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	 <p>図 1.4.8 図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 1061 1960 1197"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>② #</td> <td>可動用パイプ</td> <td>パイプ接続</td> </tr> <tr> <td>② #</td> <td>1000消火水注入ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>② #</td> <td>1000消火水供給ライン第2止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>② #</td> <td>1000消火水供給ライン第1止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>② #</td> <td>1000熱除去冷却器出口格納容器スプレッド水注入ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>② #</td> <td>1000消火水供給ライン第1止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>電動機駆動消火ポンプ ディーゼル駆動消火ポンプ</td> <td>停止→起動 停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。 ※：どちらかの1段を起動する。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② #	可動用パイプ	パイプ接続	② #	1000消火水注入ライン止め弁	全開→全閉	② #	1000消火水供給ライン第2止め弁	全開→全閉	② #	1000消火水供給ライン第1止め弁	全開→全閉	② #	1000熱除去冷却器出口格納容器スプレッド水注入ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	② #	1000消火水供給ライン第1止め弁	全開→全閉	④	電動機駆動消火ポンプ ディーゼル駆動消火ポンプ	停止→起動 停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違(BWR固有の対応手段)</p>
操作手順	弁名称																																						
③ #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																						
③ #1 ⑤ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																						
③ #3	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																						
⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																						
⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁																																						
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																					
② #	可動用パイプ	パイプ接続																																					
② #	1000消火水注入ライン止め弁	全開→全閉																																					
② #	1000消火水供給ライン第2止め弁	全開→全閉																																					
② #	1000消火水供給ライン第1止め弁	全開→全閉																																					
② #	1000熱除去冷却器出口格納容器スプレッド水注入ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																																					
② #	1000消火水供給ライン第1止め弁	全開→全閉																																					
④	電動機駆動消火ポンプ ディーゼル駆動消火ポンプ	停止→起動 停止→起動																																					

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉

第1.4.11図 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 タイムチャート

※：両機移動時間には既設保護員専用時間を含む。

女川原子力発電所2号炉

第 1.4-17 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

※1：中央制御室での状況確認に必要な滞在時間
 ※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間

泊発電所3号炉

第 1.4.9 図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水 タイムチャート

※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間
 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間
 ※3：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間

相違理由

【大阪】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉

設備	要員(数)	経過時間(時間)	備考
可搬式代替低圧注水ポンプによる代替低圧注水	5	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替低圧注水	
	4	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替低圧注水	
	2	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替低圧注水	
	1	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替低圧注水	
		可搬式代替低圧注水ポンプによる代替低圧注水	

※ 業務更新期間には設備構築準備期間を含む。

第1.4.18回 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替低圧注水 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉

手順の項目	要員(名)	経過時間(分)		備考
		準備時間	作業時間	
ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水	運転員(中央制御室A) 1	10	70	

※1：中央制御室での公共領域に必要の測定時間
 ※2：機器の動作時間及び操作時間にも算入した時間

第1.4-19図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

泊発電所3号炉

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)		備考
		準備時間	作業時間	
ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水	運転員(中央制御室A) 1	10	70	

第1.4.11図 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート

相違理由

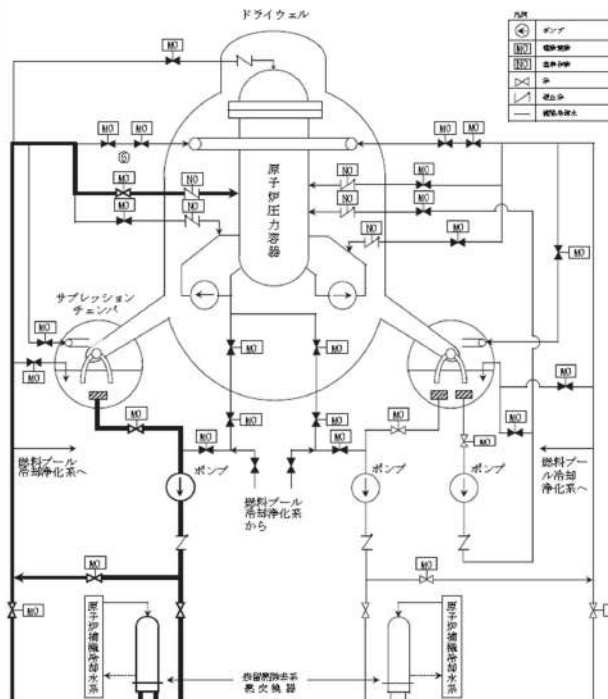
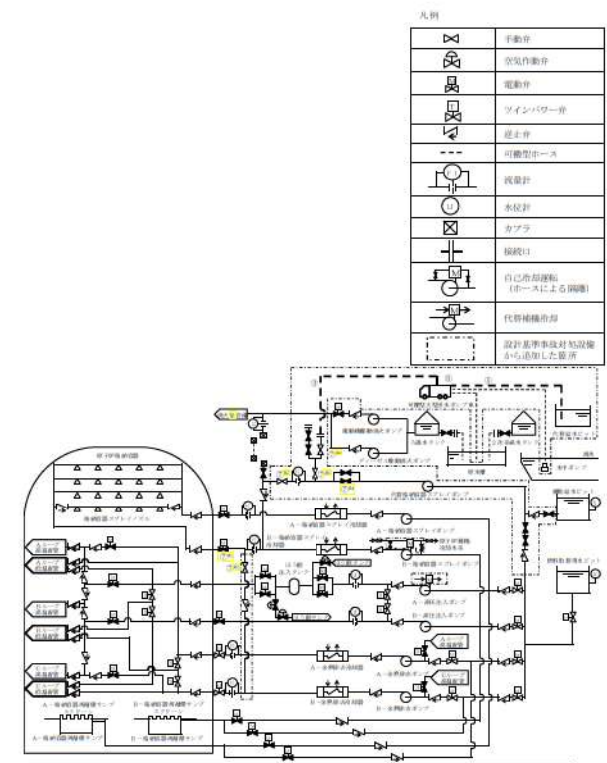
【大阪】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																		
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>操作手順</th><th>弁名称</th></tr> <tr><td>⑤</td><td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td></tr> </table> </p> <p style="text-align: center;">第 1.4-20 図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	操作手順	弁名称	⑤	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	 <p style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr><th>操作手順</th><th>操作対象機器</th><th>状態の変化</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>可搬型ホース</td><td>ホース接続</td></tr> <tr><td>②</td><td>可搬型ホース</td><td>ホース接続</td></tr> <tr><td>③</td><td>1号格納容器スプレッドアウト出口外循環ポンプ</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>④</td><td>1号格納容器スプレッドアウト出口格納容器スプレッドアウト水注入ライン止め弁(SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>1号全熱除去所冷却出口格納容器スプレッドアウト水注入ライン止め弁(SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>1号格納容器スプレッドアウト出口格納容器スプレッドアウト水注入ライン止め弁(SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>1号格納容器スプレッドアウト出口可搬型ポンプ車接続ライン止め弁(SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>1号格納容器スプレッドアウト出口可搬型ポンプ車接続ライン止め弁(SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑨</td><td>可搬型大型送水ポンプ車</td><td>停止→起動</td></tr> </tbody> </table> </p> <p style="text-align: center;">第 1.4.12 図 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③	1号格納容器スプレッドアウト出口外循環ポンプ	全閉→全開	④	1号格納容器スプレッドアウト出口格納容器スプレッドアウト水注入ライン止め弁(SA対策)	全開→全閉	⑤	1号全熱除去所冷却出口格納容器スプレッドアウト水注入ライン止め弁(SA対策)	全開→全閉	⑥	1号格納容器スプレッドアウト出口格納容器スプレッドアウト水注入ライン止め弁(SA対策)	全開→全閉	⑦	1号格納容器スプレッドアウト出口可搬型ポンプ車接続ライン止め弁(SA対策)	全開→全閉	⑧	1号格納容器スプレッドアウト出口可搬型ポンプ車接続ライン止め弁(SA対策)	全開→全閉	⑨	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
操作手順	弁名称																																				
⑤	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																				
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																			
①	可搬型ホース	ホース接続																																			
②	可搬型ホース	ホース接続																																			
③	1号格納容器スプレッドアウト出口外循環ポンプ	全閉→全開																																			
④	1号格納容器スプレッドアウト出口格納容器スプレッドアウト水注入ライン止め弁(SA対策)	全開→全閉																																			
⑤	1号全熱除去所冷却出口格納容器スプレッドアウト水注入ライン止め弁(SA対策)	全開→全閉																																			
⑥	1号格納容器スプレッドアウト出口格納容器スプレッドアウト水注入ライン止め弁(SA対策)	全開→全閉																																			
⑦	1号格納容器スプレッドアウト出口可搬型ポンプ車接続ライン止め弁(SA対策)	全開→全閉																																			
⑧	1号格納容器スプレッドアウト出口可搬型ポンプ車接続ライン止め弁(SA対策)	全開→全閉																																			
⑨	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																																			

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

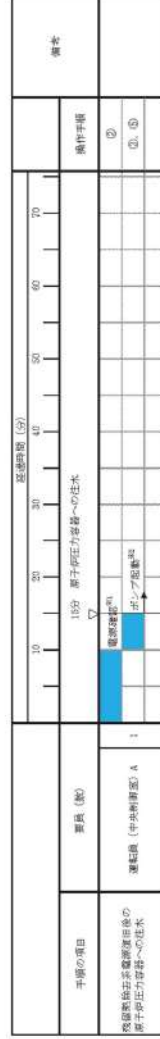
泊3号炉との比較対象なし

大飯発電所3/4号炉

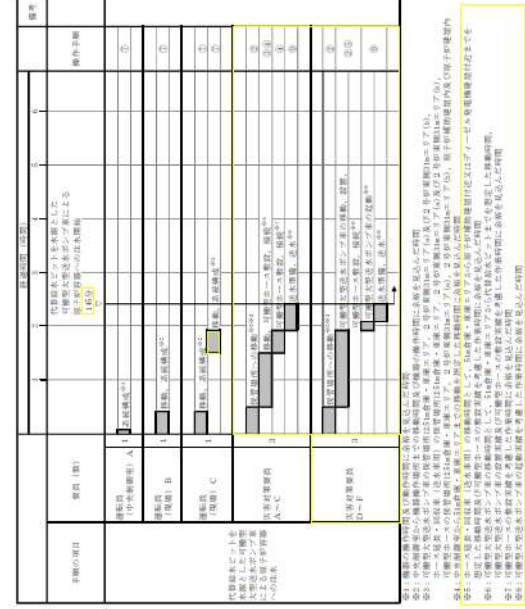
女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由



第 1.4-21 図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート



第 1.4.13 図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート

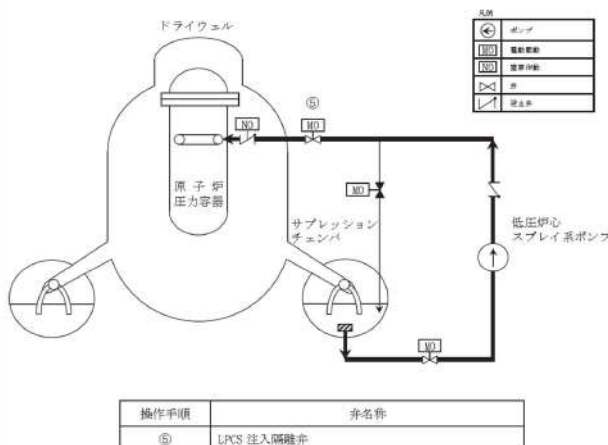
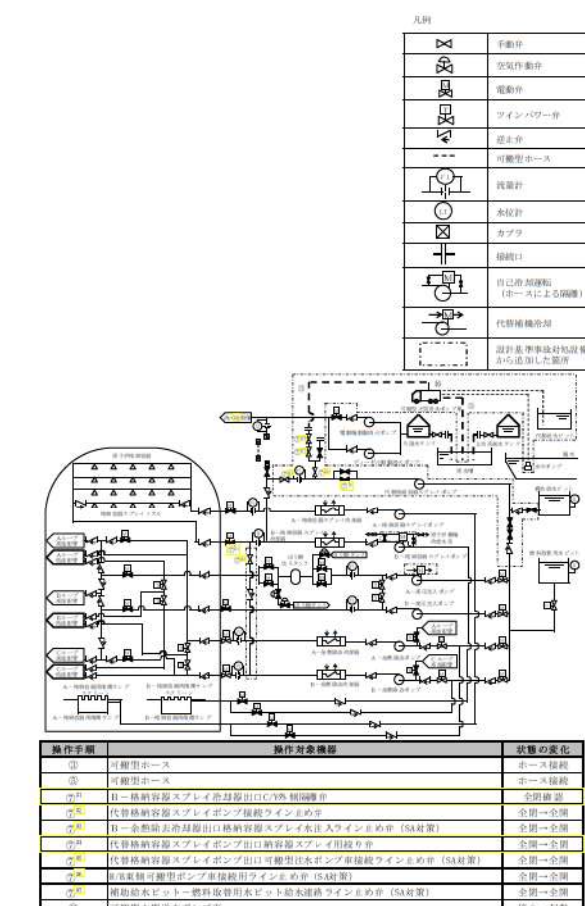
【大飯】
 設備の相違
 (相違理由③)

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.4-22 図 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.4.14 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による 原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	<p style="text-align: center;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

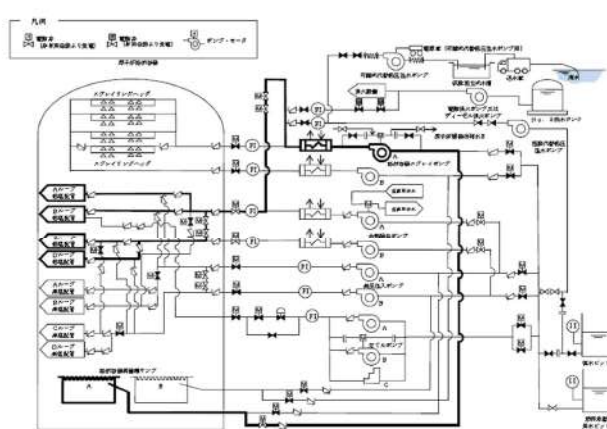
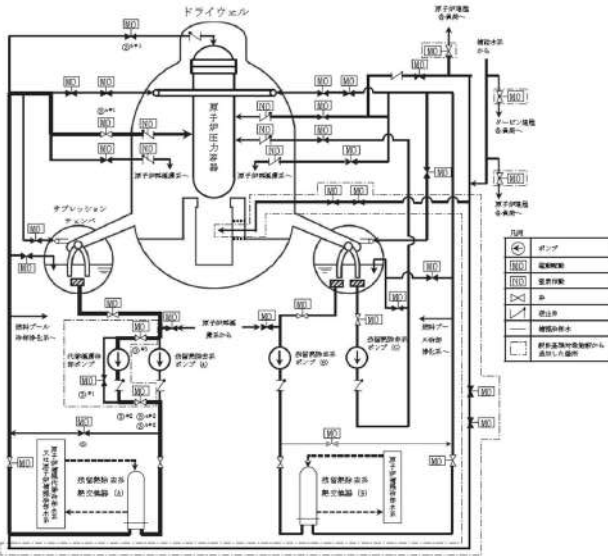
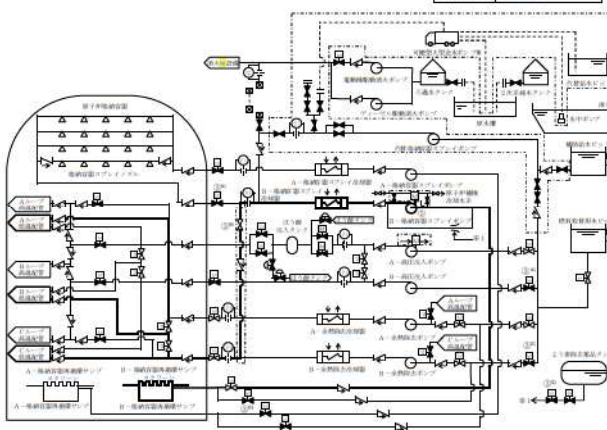
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第1.4-23 図 低圧炉心スプレイス系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：手動解除までの状況確認に必要な追加時間 ※2：機器の動作時間及び動作中に余裕をあるなどの時間</p>	<p style="text-align: center;">第1.4.15 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：機器の動作時間及び動作中に余裕をあるなどの時間 ※2：手動解除までの状況確認に必要な追加時間 ※3：原水槽からの機器動作確認に必要となる時間 ※4：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※5：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※6：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※7：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※8：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※9：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※10：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※11：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※12：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※13：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※14：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※15：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※16：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※17：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※18：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※19：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※20：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※21：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※22：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※23：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※24：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※25：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※26：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※27：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※28：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※29：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※30：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※31：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※32：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※33：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※34：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※35：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※36：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※37：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※38：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※39：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※40：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※41：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※42：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※43：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※44：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※45：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※46：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※47：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※48：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※49：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※50：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※51：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※52：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※53：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※54：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※55：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※56：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※57：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※58：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※59：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※60：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※61：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※62：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※63：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※64：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※65：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※66：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※67：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※68：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※69：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※70：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※71：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※72：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※73：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※74：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※75：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※76：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※77：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※78：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※79：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※80：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※81：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※82：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※83：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※84：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※85：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※86：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※87：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※88：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※89：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※90：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※91：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※92：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※93：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※94：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※95：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※96：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※97：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※98：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※99：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間 ※100：可搬型大型送水ポンプ車の運転開始までの時間</p>	<p style="text-align: center;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
 <p>凡例 ① 格納容器スプレイポンプ ② 格納容器スプレイポンプ ③ 格納容器スプレイポンプ ④ 格納容器スプレイポンプ ⑤ 格納容器スプレイポンプ ⑥ 格納容器スプレイポンプ</p> <p>図 14.15 図 A格納容器スプレイポンプ（RHR系3-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 概略図</p>	 <p>第 1.4-26 図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="761 957 1344 1181"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>② #1</td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>③ #1 ⑤ #2 ⑥ #2</td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>③ #2</td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-26 図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	② #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁	③ #1 ⑤ #2 ⑥ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	③ #2	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ #1	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	 <p>凡例 ① 格納容器スプレイポンプ ② 格納容器スプレイポンプ ③ 格納容器スプレイポンプ ④ 格納容器スプレイポンプ ⑤ 格納容器スプレイポンプ ⑥ 格納容器スプレイポンプ</p> <p>図 14.17 図 B格納容器スプレイポンプ（RHR-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 1021 1971 1181"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>② #1</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口C/A外側隔離弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>③ #1</td> <td>上り蒸発器蒸気タンク注入Bライン止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④ #1</td> <td>B-熱除去ポンプRHR側入口弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>④ #1</td> <td>B-熱除去ポンプ再循環センズ側入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④ #1</td> <td>B-高圧注入ポンプ燃料取水用ホット側入口弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>④ #1</td> <td>B-熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② #1	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/A外側隔離弁	全開→全開	③ #1	上り蒸発器蒸気タンク注入Bライン止め弁	全開→全開	④ #1	B-熱除去ポンプRHR側入口弁	全開確認	④ #1	B-熱除去ポンプ再循環センズ側入口弁	全開→全開	④ #1	B-高圧注入ポンプ燃料取水用ホット側入口弁	全開確認	④ #1	B-熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	全開→全開	⑤	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																								
② #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																								
③ #1 ⑤ #2 ⑥ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																								
③ #2	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																								
⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																								
⑤ #1	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁																																								
⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁																																								
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																							
② #1	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/A外側隔離弁	全開→全開																																							
③ #1	上り蒸発器蒸気タンク注入Bライン止め弁	全開→全開																																							
④ #1	B-熱除去ポンプRHR側入口弁	全開確認																																							
④ #1	B-熱除去ポンプ再循環センズ側入口弁	全開→全開																																							
④ #1	B-高圧注入ポンプ燃料取水用ホット側入口弁	全開確認																																							
④ #1	B-熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	全開→全開																																							
⑤	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																							

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		経過時間(分)											備考
手順の項目	要員(数)	5	10	15	20	25	30	35	40	45			
A格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSSS連絡ライン使用)による代替再循環運転	運転員等(中央制御室)												
	運転員等(現場)												
※：現場移動時間には防落装置着脱時間を含む。 第1.4.10図 A格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSSS連絡ライン使用)による代替再循環運転 タイムチャート													

残留熱除去系(A) 注入配管使用の場合		経過時間(分)											備考					
手順の項目	要員(数)	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70			
代替再循環冷却系による残存熱除去系(A) 注入配管使用の場合	運転員(中央制御室) A																	
	運転員(中央制御室) B																	
※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間に見込まれた時間 ※3：機器の操作時間に見込まれた時間																		

残留熱除去系へッドスプレイ配管使用の場合		経過時間(分)											備考					
手順の項目	要員(数)	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70			
代替再循環冷却系による残存熱除去系(A) ヘッドスプレイ配管使用の場合	運転員(中央制御室) A																	
	運転員(中央制御室) B																	
※1：機器の操作時間及び動作時間に見込まれた時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込まれた時間 ※3：機器の操作時間に見込まれた時間																		

第1.4-27図 代替再循環冷却系による残存熱除去系への冷却 タイムチャート

第1.4.18図 B一格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSSS連絡ライン使用)による代替再循環運転 タイムチャート

【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

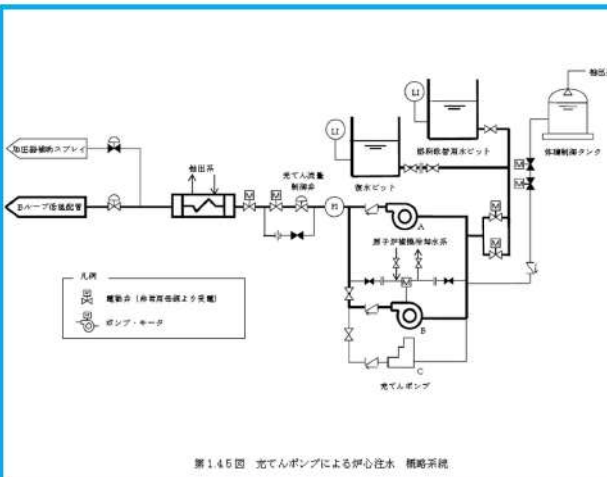
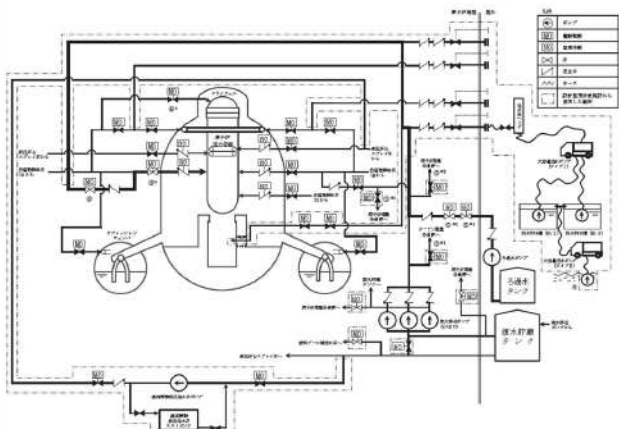
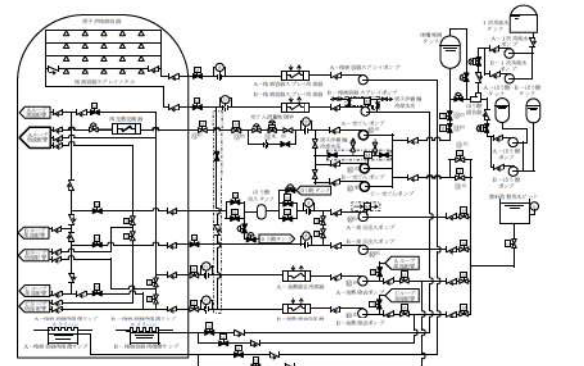
大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<p>第 1.4-29 図 低圧代替注水系（可変型）による既存炉心冷却の冷却 タイムチャート</p>		
	<p>第 1.4-30 図 低圧代替注水系（可変型）による既存炉心冷却の冷却 タイムチャート</p>		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p>【比較のため、第1.4.5図を再掲】</p>  <p>第1.4.5図 充てんポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-31図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="750 869 1355 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③#1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#2</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#3</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#1</td> <td>FW 系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#2</td> <td>FW 系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#</td> <td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-31図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③#1	T/B 緊急時隔離弁	③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁	③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤#1	FW 系連絡第一弁	⑤#2	FW 系連絡第二弁	⑥#	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑥#	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑧	RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.20図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（燃料取替用水ビットを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水）概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1444 1029 1937 1284"> <tbody> <tr><td>②#</td><td>充てんポンプ入口燃料取替用水ビット吸入弁A</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②#</td><td>充てんポンプ入口燃料取替用水ビット吸入弁B</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>③#</td><td>作積器スクリーン出口第1止め弁</td><td>全閉確認</td></tr> <tr><td>③#</td><td>作積器スクリーン出口第2止め弁</td><td>全閉確認</td></tr> <tr><td>④#</td><td>充てん流量調節弁</td><td>調整値→全閉</td></tr> <tr><td>④#</td><td>充てんラインのV形閉止弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>④#</td><td>充てんラインのV形隔離弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>④#</td><td>充てん流量調節弁</td><td>全閉→調整値</td></tr> <tr><td>④#</td><td>A-充てんポンプ</td><td>起動→停止</td></tr> <tr><td>④#</td><td>B-充てんポンプ</td><td>起動→停止</td></tr> <tr><td>④#</td><td>C-充てんポンプ</td><td>起動→停止</td></tr> <tr><td>④#</td><td>A-高圧注入ポンプ</td><td>起動→停止</td></tr> <tr><td>④#</td><td>B-高圧注入ポンプ</td><td>起動→停止</td></tr> <tr><td>④#</td><td>A-余熱除去ポンプ</td><td>起動→停止</td></tr> <tr><td>④#</td><td>B-余熱除去ポンプ</td><td>起動→停止</td></tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.20図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（燃料取替用水ビットを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水）概要図 (2/2)</p>	②#	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット吸入弁A	全開確認	②#	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット吸入弁B	全開確認	③#	作積器スクリーン出口第1止め弁	全閉確認	③#	作積器スクリーン出口第2止め弁	全閉確認	④#	充てん流量調節弁	調整値→全閉	④#	充てんラインのV形閉止弁	全閉→全開	④#	充てんラインのV形隔離弁	全閉→全開	④#	充てん流量調節弁	全閉→調整値	④#	A-充てんポンプ	起動→停止	④#	B-充てんポンプ	起動→停止	④#	C-充てんポンプ	起動→停止	④#	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	④#	B-高圧注入ポンプ	起動→停止	④#	A-余熱除去ポンプ	起動→停止	④#	B-余熱除去ポンプ	起動→停止	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																																	
③#1	T/B 緊急時隔離弁																																																																	
③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁																																																																	
③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																																	
⑤#1	FW 系連絡第一弁																																																																	
⑤#2	FW 系連絡第二弁																																																																	
⑥#	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																																																	
⑥#	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁																																																																	
⑧	RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																	
②#	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット吸入弁A	全開確認																																																																
②#	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット吸入弁B	全開確認																																																																
③#	作積器スクリーン出口第1止め弁	全閉確認																																																																
③#	作積器スクリーン出口第2止め弁	全閉確認																																																																
④#	充てん流量調節弁	調整値→全閉																																																																
④#	充てんラインのV形閉止弁	全閉→全開																																																																
④#	充てんラインのV形隔離弁	全閉→全開																																																																
④#	充てん流量調節弁	全閉→調整値																																																																
④#	A-充てんポンプ	起動→停止																																																																
④#	B-充てんポンプ	起動→停止																																																																
④#	C-充てんポンプ	起動→停止																																																																
④#	A-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																
④#	B-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																
④#	A-余熱除去ポンプ	起動→停止																																																																
④#	B-余熱除去ポンプ	起動→停止																																																																